

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書 (E248) G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 屋根材に接触する部分へ使用するシーリング材は、弊社指定のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。
指定のシーリング材は下記になります。
 - ・信越化学工業（株）「シーラント72」
 - ・GE東芝シリコーン（株）「トスシール380」
 - ・東レ・ダウコーニング・シリコーン（株）「SE960」

＜施工上のご注意＞

**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・ $\phi 4$ ネジ： $2.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
 - ・ $\phi 5$ ネジ： $3.0\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($30 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

<基礎工事についてのご注意>

注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<仕上げ材（タイル）施工のご注意>

警告

- モルタルにてタイル張りする「モルタル張り工法」は絶対に行なわないでください。はく離や脱落してケガに至るおそれがあります。またヒビ割れが発生することにより、躯体内部に雨水が浸入して躯体を劣化させるおそれがあります。

注意

- 本工事は、専用乾式下地に専用タイルを専用接着剤で張付ける「接着剤張り工法」を採用しています。この工法以外では仕上げ材施工を行なわないでください。
- 取付説明書の順序通りに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、はく離や脱落してケガに至る場合があります。

ポイント

- 正しく施工していただくため、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工にあたっては、必ず使用する材料に付属する注意書きや取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

1	施工の前の重要確認事項	4
	1. 柱・フレームの施工状態の確認	4
	2. 施工条件	5
	3. 下地ボードの取扱いについて	11
2	梱包明細表	12
3	納まりパターン	15
4	基本寸法と各部の名称	16
	1. 基本寸法	16
	2. 基礎寸法	19
5	配線工事	20
6	取付け前の準備	21
	1. 部材の加工・部品の取付け	21
7	Gフレームへの取付け	30
	1. 柱、巾木の取付け	30
	2. 下地ボードの配置確認	40
	3. 下地ボードの取付け	40
	4. 笠木の取付け	49
8	仕上げの施工：タイル仕上げ	51
	1. 梱包明細表	51
	2. 施工フロー	53
	3. 施工面の確認	54
	4. ジョイントテープの貼付け	55
	5. ガイド定規取付位置の墨出し	56
	6. ガイド定規の取付け	57
	7. タイルの割付確認	57
	8. タイルの張付け	58
	9. 目地詰め	63
	10. 点検・仕上げ	64
9	仕上げの施工：塗り仕上げ	65
10	門扉の吊込み	67
11	カバーの取付け	68

1 施工前の重要確認事項 ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1. 柱・フレーム施工状態の確認

1-1 柱の確認

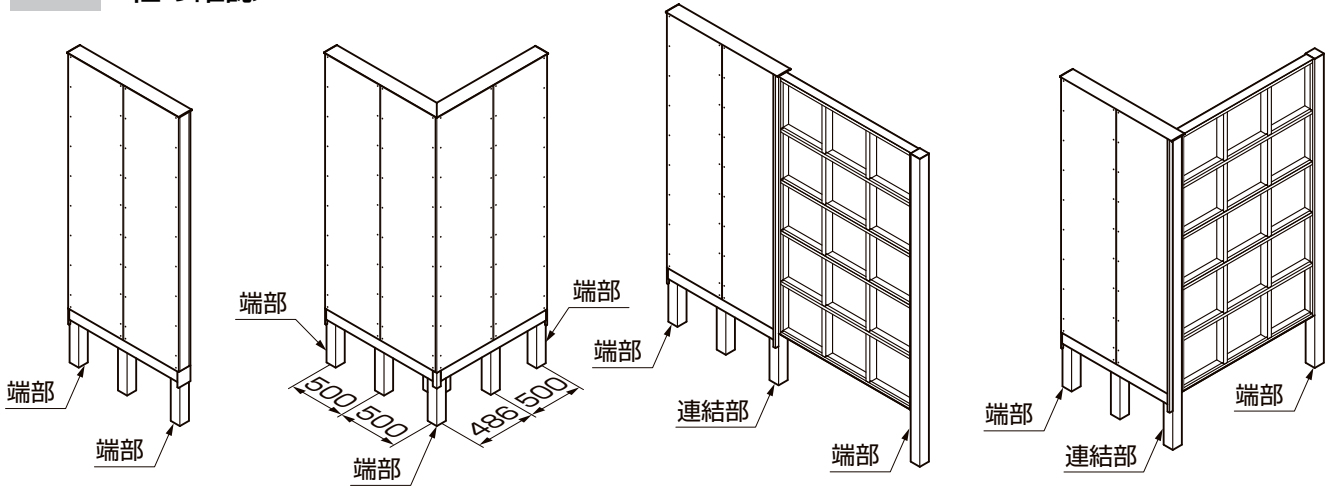


図1-1 標準仕様の場合

図1-2 L字仕様の場合
※柱ピッチにご注意ください。

図1-3(※1) 標準仕様 スクリーン取付の場合

図1-4(※1) L字仕様 スクリーン取付の場合

表1-1

		H24				H29			
		柱		サブ柱		柱		サブ柱	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間	端部	中間
フリーウォール	W05	○	※1	-	-	○	※1	-	-
	W10	○	※1	-	-	○	※1	-	-
	W20	○	※1	-	-	○	※1	-	-
	W30	○	※1	-	-	○	※1	-	-

ポイント

●※1は取付スクリーンによって異なります。
「Gフレーム 取付説明書(E248) 1 施工前の重要確認事項 1. 設計上・施工上の条件について 1-11 柱強度区分」に従って柱補強材を取付けてください。

1-2 フレームの施工寸法の確認

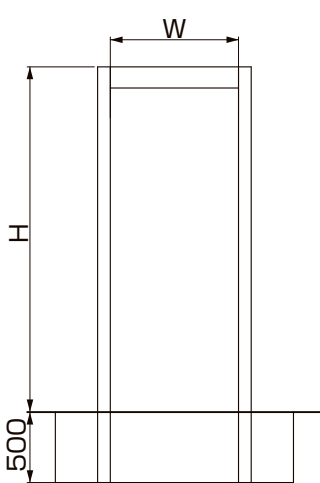


図1-5 標準仕様の場合

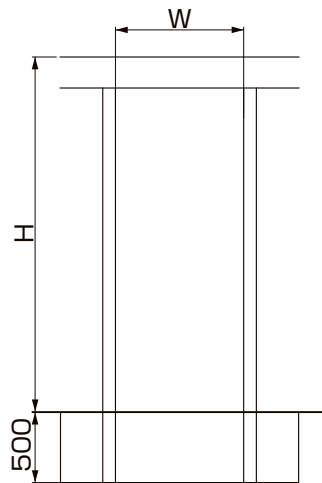


図1-6 カールーフに取付ける場合

表1-2

		H
H24	標準	2450
	カールーフ	2520
H29	標準	2905
	カールーフ	2975

表1-3

	W
W05	410
W10	910
W20	1910
W30	2910

※L字仕様の場合、2本のフレームのうち1本のWはW-14となります。

ポイント

●フレーム施工寸法を確認してください。

1-3 基礎について

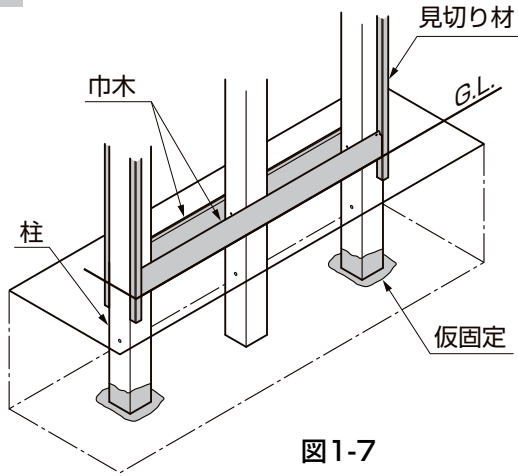


図1-7

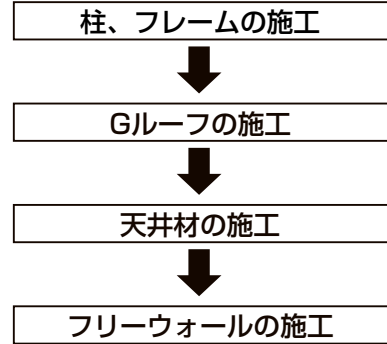


表1-4 施工の流れ

ポイント

●柱の基礎打設前であることを確認してください。基礎打設後の場合、見切り材、巾木、柱の取付けができません。

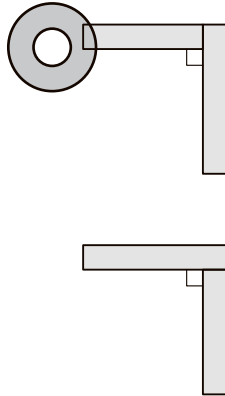
2. 施工条件

2-1 フリーウォール共通

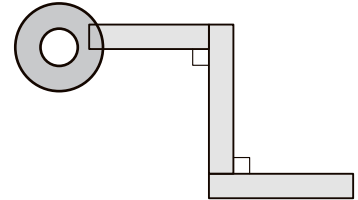
(1) 直線連結 ※W30まで



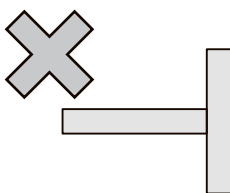
(2) L字連結 ※90°のみ



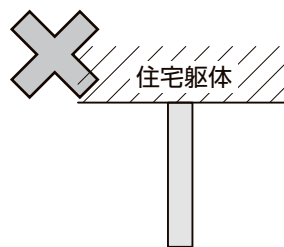
(3) Z字連結 ※90°のみ



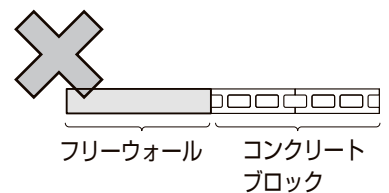
(4) T字連結



(5) 住宅接続



(6) コンクリートブロック積接続



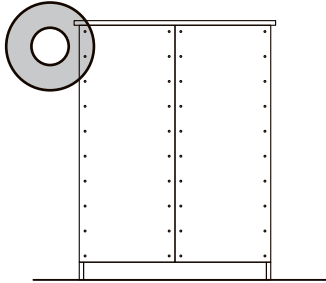
ポイント

●その他RC造、木軸などの構造への接続もできません。

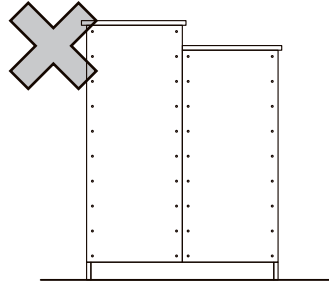
2. (つづき)

2-1 つづき

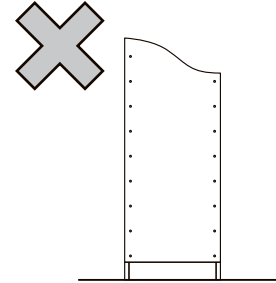
(7) 同一高さ施工



(8) 高さ段違い施工



(9) 曲線カット施工

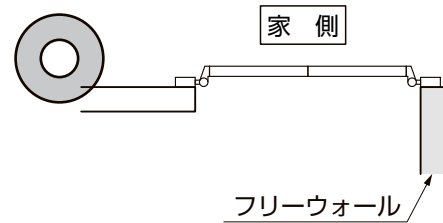


2-2 門扉納まり

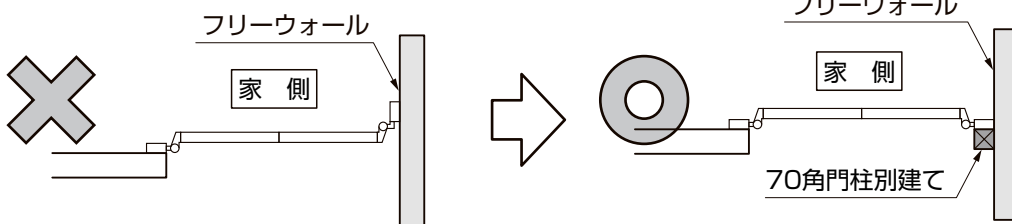
(1) 基本納まり



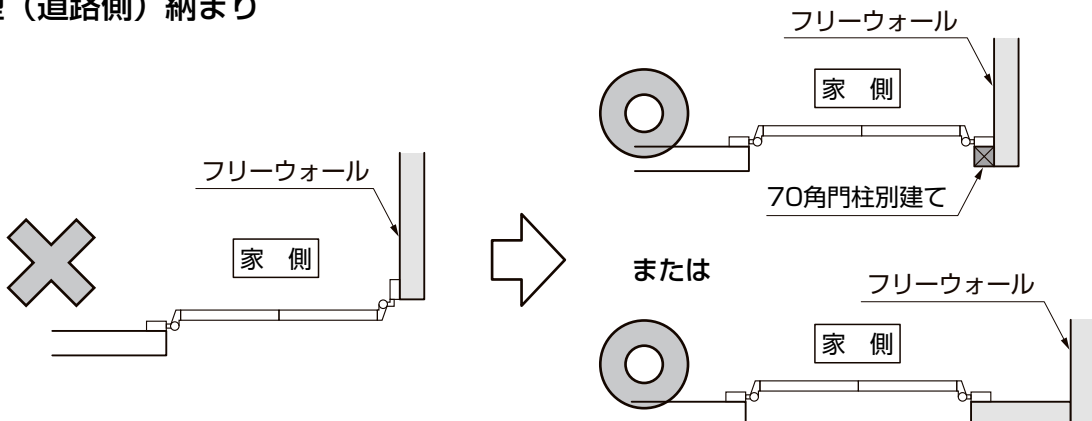
(2) I型 (家側) 納まり



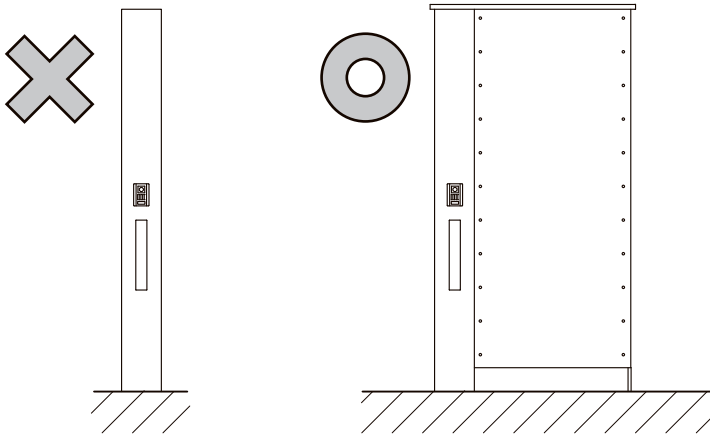
(3) T型納まり



(4) I型 (道路側) 納まり



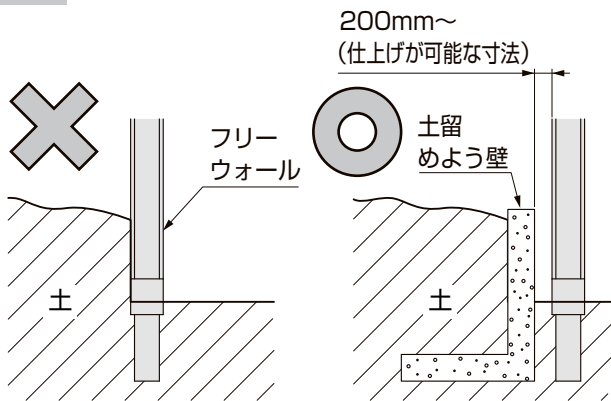
2-3 150角機能門柱の設置



ポイント

- 150角機能門柱の単独施工はできません。必ずフリーウォールと接続してください。

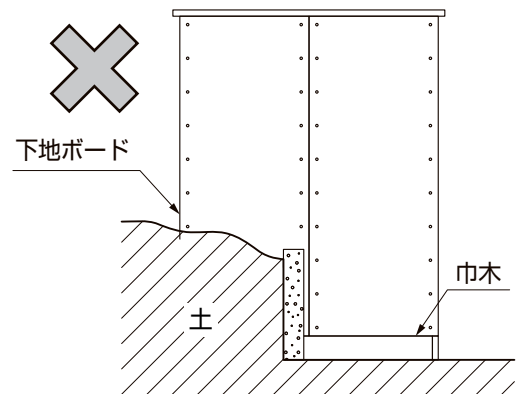
2-4 土留め施工



ポイント

- フリーウォールは土留めとしての使用はできません。別途土留めよう壁を設置してください。

2-5 埋め込み

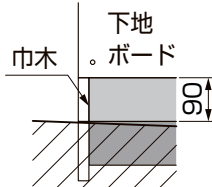


ポイント

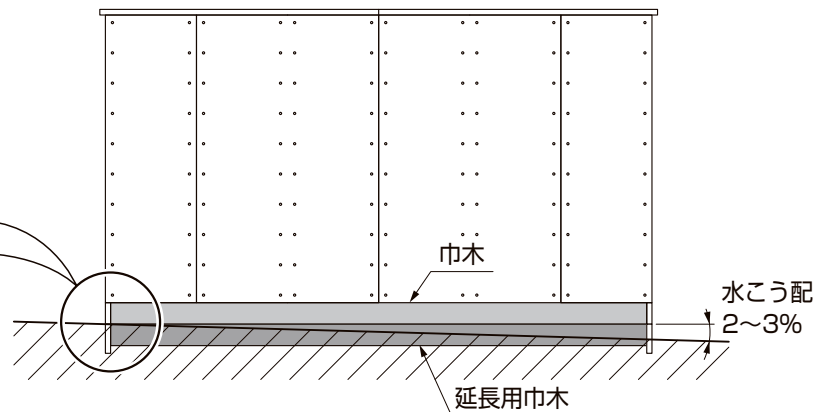
- 下地ボード、巾木部分は埋め込みはできません。

2-6 水こう配

ポイント



- 巾木の埋め込みはできません。下地ボードの不具合につながります。

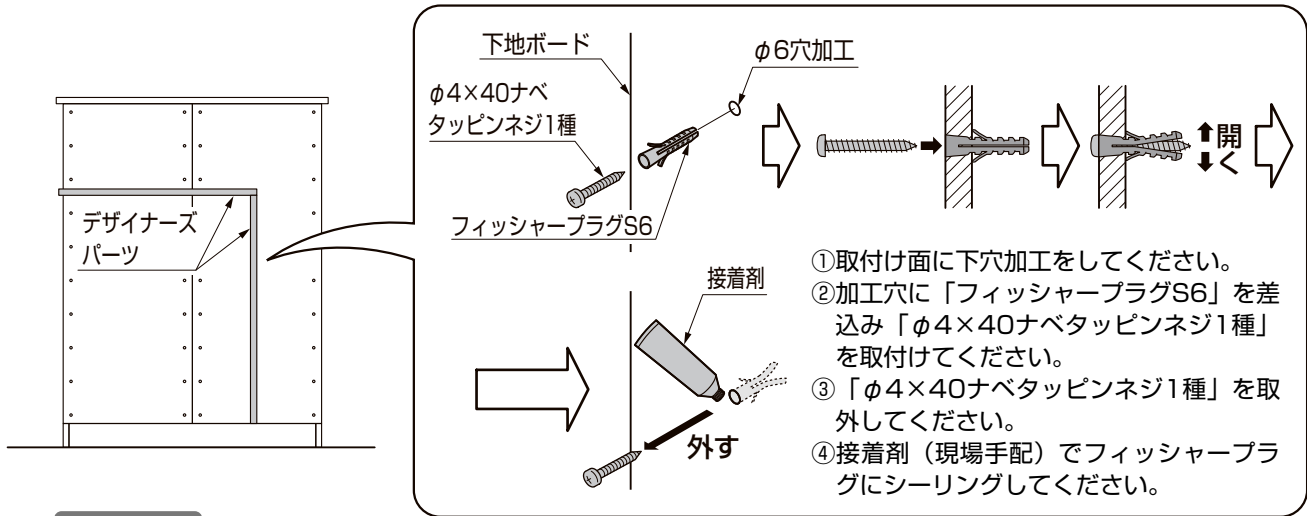


ポイント

- 延長用巾木は最大3000mmのフリーウォール本体に対して、土間水こう配2~3%に対応できます。

2. (つづき)

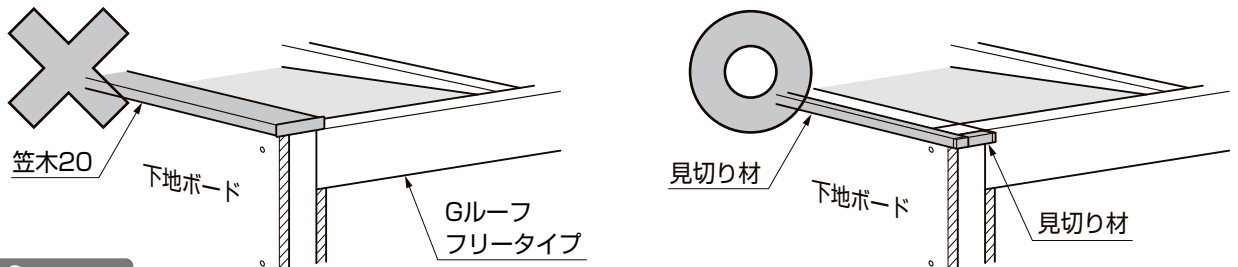
2-7 デザイナーズパーツの取付け



ポイント

- デザイナーズパーツ壁付け部材の取付けが可能です。
- 取付けには「サイン・照明取付材セット」（フィッシャープラグ入り）が必要です。1.5mにつき4本（1セット分）を使用してください。

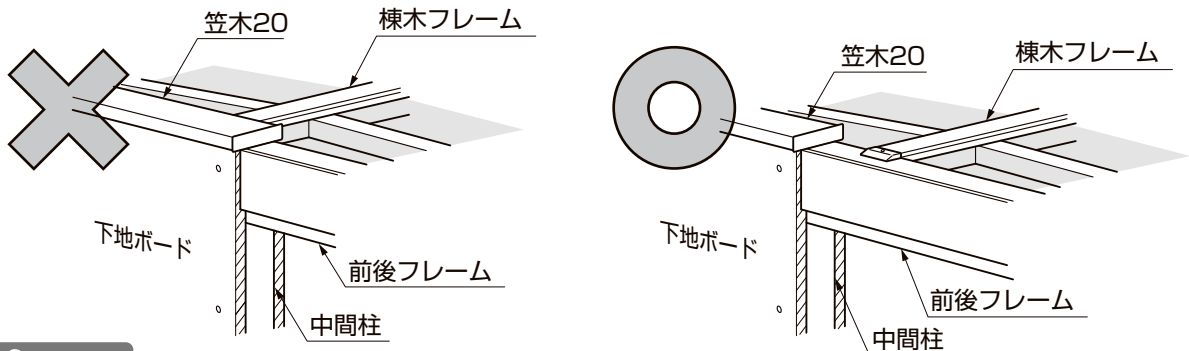
2-8 Gルーフ フリータイプに取付け



ポイント

- フリーウォールとGルーフ フリータイプを組み合わせる場合「笠木20」の取付けはできません。見切り材を使用してください。

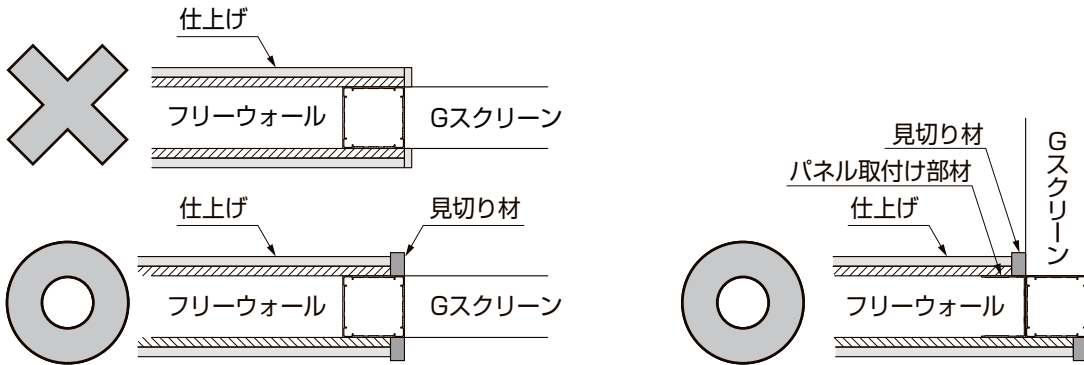
2-9 Gルーフ カールーフタイプに取付け



ポイント

- フリーウォールをGルーフ カールーフタイプの前後フレームに取付ける場合、棟木フレーム部分には取付できません。

2-10 Gスクリーンの取付け



ポイント

- Gスクリーン取付けの場合は、見切り材20（塗り用）または見切り材30（タイル用）を使用してください。

2-11 調整金具の取付け

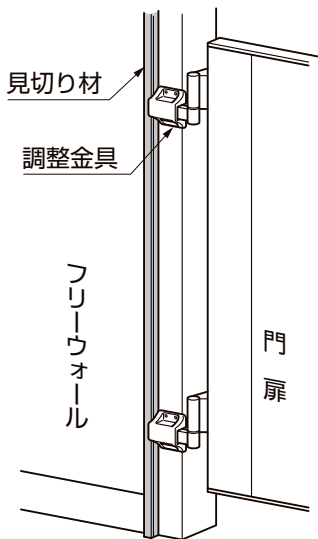


図2-1 見切り材納まり

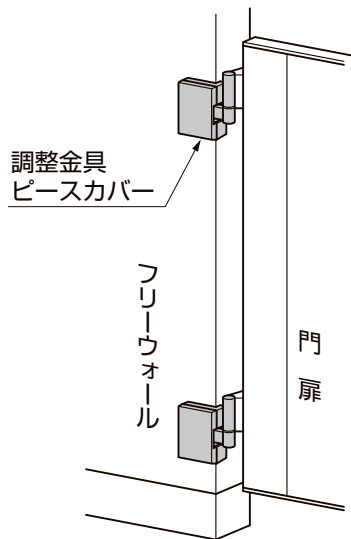


図2-2 調整金具ピースカバー納まり

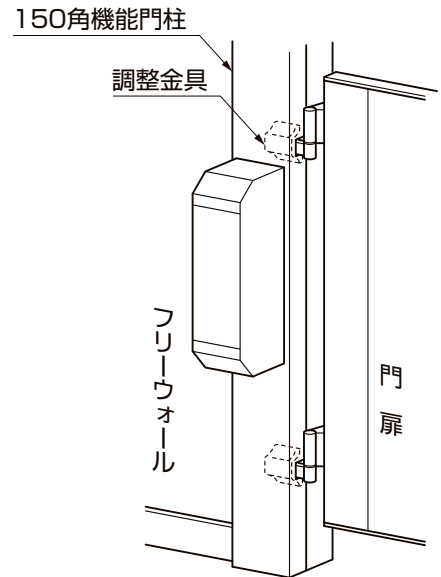
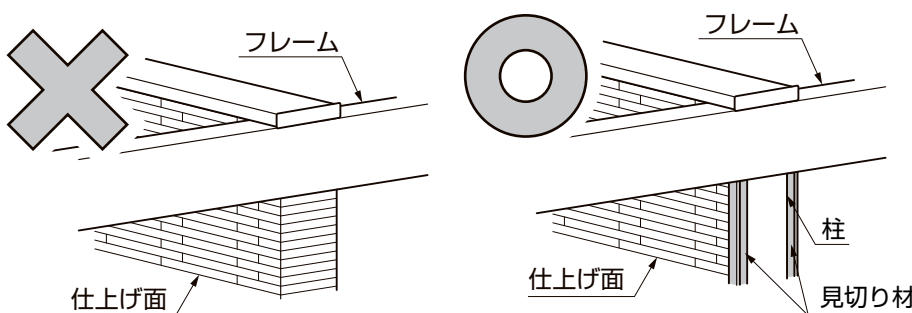


図2-3 150角機能門柱納まり

ポイント

- 調整金具Hを使った納まりは上記3種類の納まりから選択できます。
- 調整金具Oを使用の場合は、見切り材納まりのみ可能です。

2-12 フレーム直交納まり



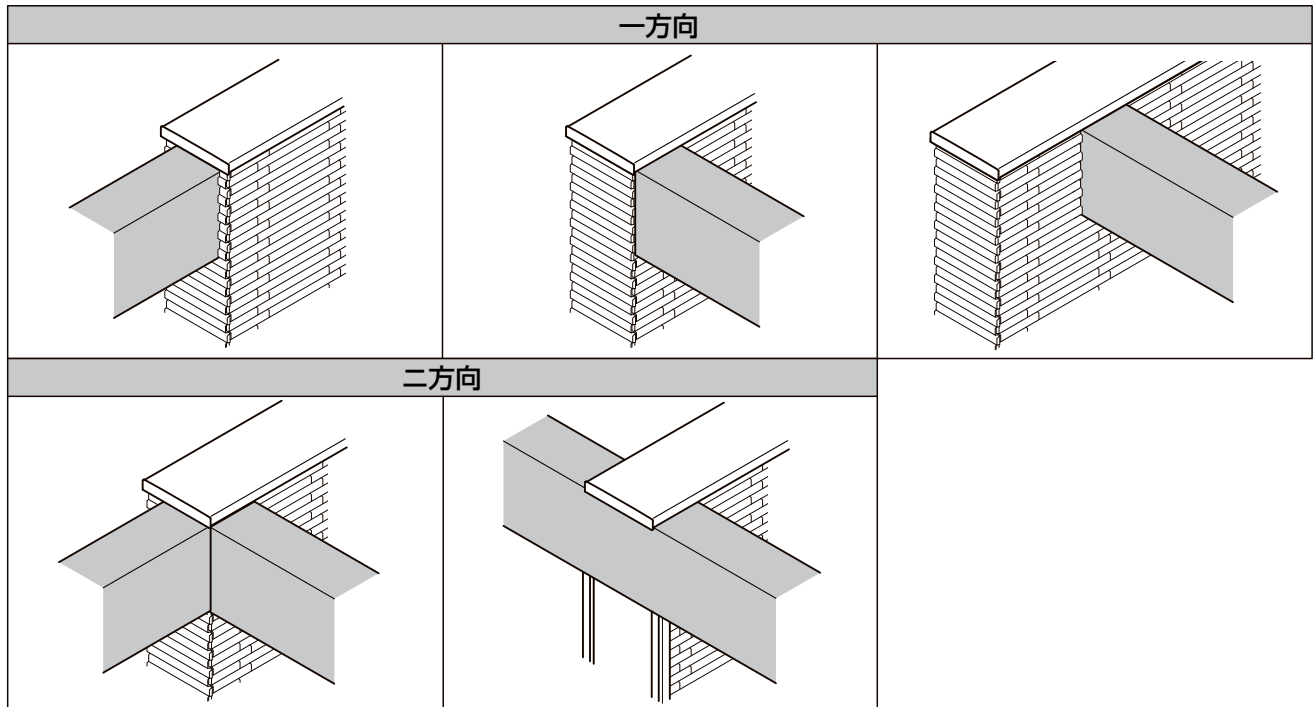
ポイント

- フリーウォールとフレームが直交して接続される場合、フレーム接続側小口は見切り材納まりになります。

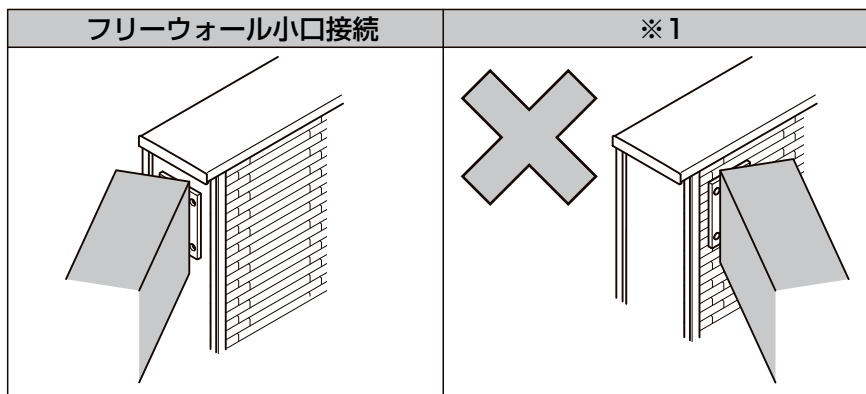
2. (つづき)

1
重要確認事項
施工前の

2-13 フリーウォールとフレームの接続 ※下図にしたい施工してください。



2-14 角度調整部材による施工



ポイント

- 角度調整部材を取付けたフレームへのフレームデザインカバーの取付けはできません。
- 角度調整部材はフリーウォール小口以外への取付けはできません。(※1)

3. 下地ボードの取扱いについて

3-1 保管のしかた

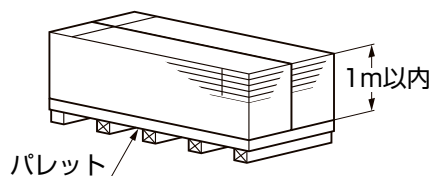


図3-1 パレット積みの場合

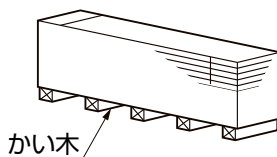


図3-2 パレット積みでない場合

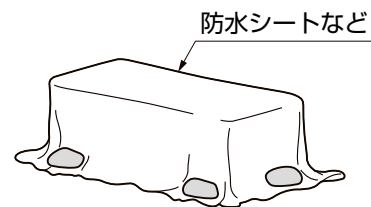
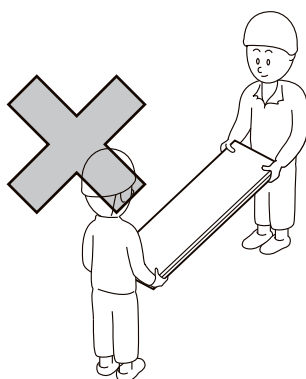
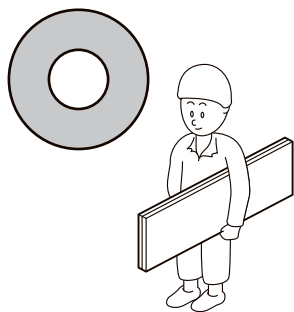


図3-3 屋外保管する場合

ポイント

- 必ずパレットの上に置き、屋内で保管してください。やむを得ずパレットの上に置けない場合には、角材を5本以上をかい木にし、不陸のないよう水平に置いてください。
- 施工現場でやむを得ず屋外に保管する場合は、防水シート、その他適当なものでおおい、雨や飛沫のかからないように保護してください。
- 積み重ねの高さは1メートル以内にしてください。

3-2 運びかた

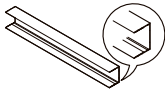



注意


- 開梱後、板の持ち運びは木端立てにして運んでください。
- 水平に持つことや、板の両端を持って吊るすような運び方は避けてください。
- PPバンドを持って運ぶことは絶対に避けてください。

2 梱包明細表

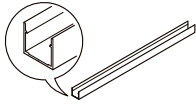
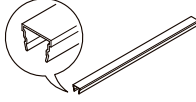


【1】パネル取付部材セット

名 称	略 図	員 数		
		H15	H24	H29
パネル取付部材		1	1	1
[1-1] φ4×16ナベドリルネジ		8	12	14



【2】取付ネジセット

名 称	略 図	員数
取付説明書<C445>	—	1
取扱説明書<UB013>	—	1
[2-1] φ3.8×25ステンレスフレキネジ		150

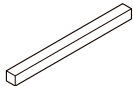
【3】見切り材セット

名 称	略 図	員 数	
		D20	D30
見切り材		1	1
見切りカバー材		1	1
見切り材キャップ		2	2
[3-1] φ4×12トラス タッピンネジ3種		10	10

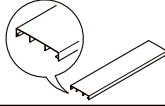
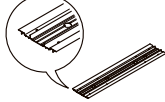


【4】見切り材キャップセット

名 称	略 図	員 数	
		D20	D30
見切り材キャップ		10	10
[4-1] φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		10	10

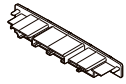
【5】バックアップ材セット

名 称	略 図	員数
バックアップ材		10

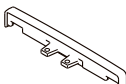

【6】笠木20セット

名 称	略 図	員 数		
		W05	W10	W20
笠木20		1	1	1
笠木ベース		1	1	1
[6-1] φ4×16ナベ ドリルネジ		4	8	14
[6-2] φ4×15ナベ タッピンネジ2種		4	8	14

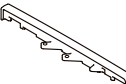
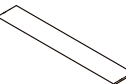

【7】笠木20端部キャップセット

名 称	略 図	員数
笠木20 端部キャップ		2


【8】笠木20連結キャップセット

名 称	略 図	員数
笠木20 連結キャップ		1
[8-1] φ4×16ナベドリルネジ		2


【9】笠木20コーナーキャップセット

名 称	略 図	員数
笠木20 コーナーキャップ		1
Lアングル ※フリーウォールでは 使用しません		1
[9-1] φ4×16ナベドリルネジ		12

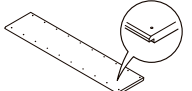
【10】下地ボードW05単体

名 称	略 図	員数
下地ボード		1

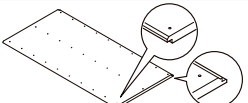
【11】下地ボードW05端部A

名 称	略 図	員数
下地ボード		1

【12】 下地ボードW05端部B

名 称	略 図	員数
下地ボード		1



【13】 下地ボードW10中間

名 称	略 図	員数
下地ボード		1

【14】 巾木セット

名 称	略 図	員 数		
		W05	W10	W20
巾木		2	2	2
通気キャップ		1	2	4
【14-1】 φ4×16 特サラドリルネジ		4	6	10
【14-2】 φ4×13 ナベドリルネジ		4	6	10

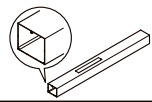
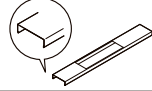



【15】 端部巾木セット

名 称	略 図	員数
巾木 端部用		1
【15-1】 φ4×13ナベドリルネジ		1





【16】 コーナー巾木セット

名 称	略 図	員数
巾木 コーナー用		1
【16-1】 φ4×30ナベドリルネジ		2

【17】 150角機能門柱セット

名 称	略 図	員 数	
		門柱機能あり	門柱機能なし
150角機能門柱		1	1
150角柱カバー		1	1
切欠きカバー		2	-
【17-1】 M5×20十字穴付六角ボルト (PW+SW)		4	4
【17-2】 M5六角ナット		2	2

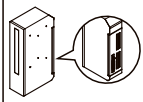
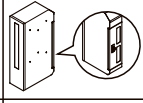
【18】 調整金具セット

名 称	略 図	員 数	
		H	O
調整金具本体		上下各1	上下各1
シャフト用ワッシャー		2	2
【18-1】 M5×12トラス小ネジ		8	-
【18-2】 M5×20十字穴付六角ボルト (SW)		-	8


【19】 調整金具施工治具

名 称	略 図	員数
調整金具施工治具		1
【19-1】 φ5×12トラスタッピン ネジ3種 D=10		8

【20】 スリム縦型ポスト

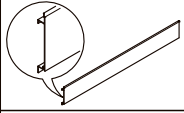

名 称	略 図	員 数	
		プッシュ 錠付き	錠なし
ポスト本体 プッシュ錠付き		1	-
ポスト本体 錠なし		-	1
取付説明書<A460>	-	1	1
取扱説明書<UA172>	-	1	1

【21】 小口シーラー (VKS Y2) (※)

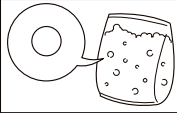
名 称	略 図	員数
小口シーラー (VKS Y2)		1

※下地ボードを現場切断した場合は、かならず切断面に塗付してください。

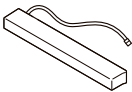
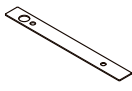

【22】 延長用巾木セット

名 称	略 図	員数
巾木延長部材		1
【22-1】 φ4×13ナベドリルネジ		5




【23】 結露防止剤

名 称	略 図	員数
結露防止剤 (発泡ビーズ)		約460g











【24】表札灯セット

名 称	略 図	員 数
表札灯		1
表札灯パッキン		1
【24-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2

【25】調整金具ピースカバーセット











名 称	略 図	員数
調整金具ピースカバー		2
調整金具ピースカバー受け		2
【25-1】φ4×13ナベドリルネジ		8

【26】サイン(ガラスサイン・鋳物サイン・ステンレスサイン)


名 称	略 図	員 数			
		ガラスサイン	鋳物サイン	ステンレスサイン	ガラスサイン(特注)
ガラスサイン		1	-	-	1
鋳物サイン		-	1	-	-
ステンレスサイン		-	-	1	-
ネームシール		2 (※)	1	1	-
【26-1】化粧ネジ M4用		4	-	-	4
【26-2】M4×20 ナベ (SW+PW)		4	-	-	4
【26-3】ゴムスペーサー L=6		4	-	-	4
【26-4】M4ゴムワッシャー		4	-	-	4
【26-5】φ4×6トラスタッピンネジ(D=8) 3種		-	2	-	-
【26-6】M4六角ナット		-	-	4	-

※黒文字と白文字の2種類同梱しています

【27】サイン(江戸硝子サイン・備前焼サイン)

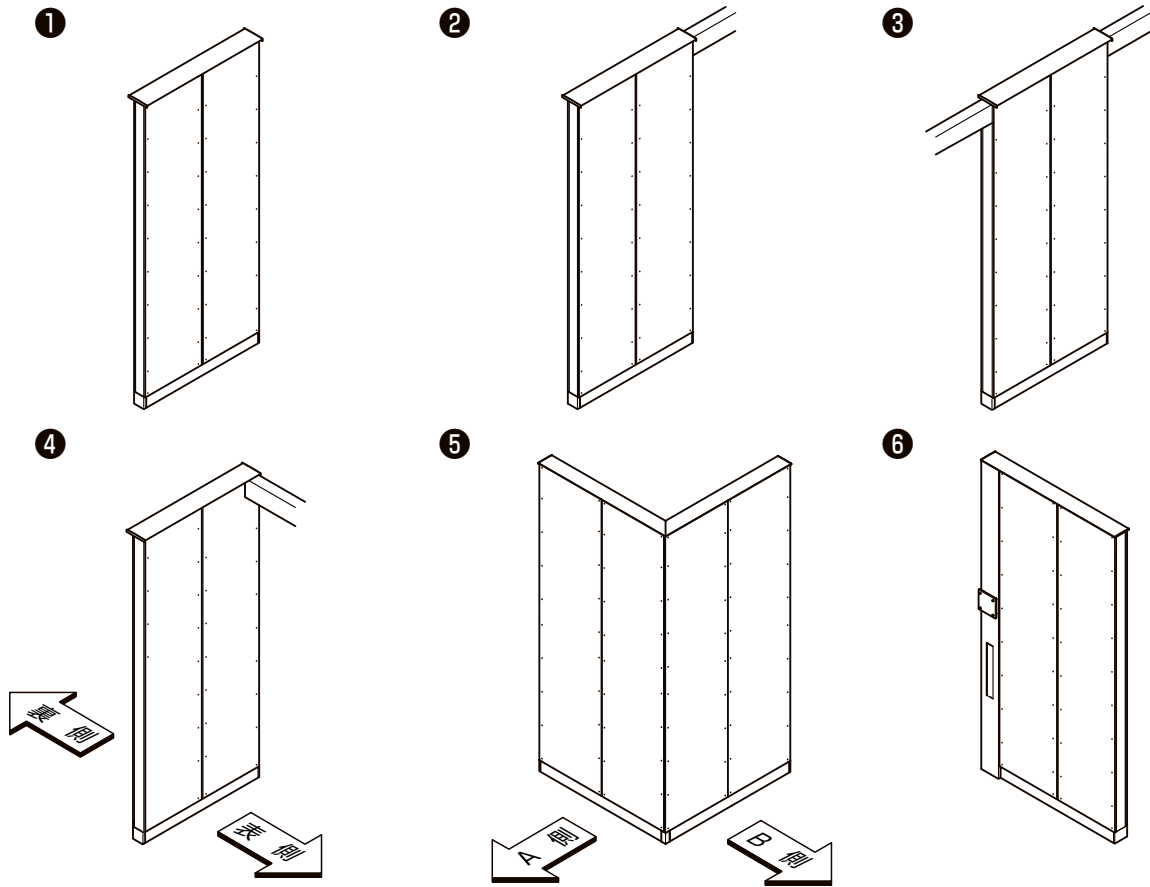
名 称	略 図	員 数	
		江戸硝子サイン(特注)	備前焼サイン(特注)
江戸硝子サイン 150角		1	-
備前焼サイン 145角		-	1
【27-1】化粧ネジ M4用		-	4
【27-2】化粧ネジ M6用		4	-
【27-3】M6高ナット L=15		4	-
【27-4】M6ゴムワッシャー		8	-
【27-5】M4全ネジ L=25		-	4
【27-6】M6全ネジ L=40		4	-
【27-7】M4六角ナット		-	4
【27-8】M6六角ナット		4	-

【28】下地ボード用切断刃セット

名 称	略 図	員数
下地ボード用切断刃		1

3 納まりパターン

※フリーウォールの「柱」は、Gフレームの柱、中間柱を使用します。
納まりに合った柱施工がされている事を確認してください。



① 単独納まり	② フレーム上乗せ納まり (端部)	③ フレーム上乗せ納まり (中間)
<p>笠木</p> <p>柱 中間柱 柱</p>	<p>笠木</p> <p>柱 中間柱</p>	<p>笠木</p> <p>中間柱</p>
④ フレーム接続納まり (片側)	⑤ L字仕様 ※柱ピッチにご注意ください。(P.17参照)	⑥ 150角機能門柱付き仕様
<p>表側 笠木 裏側</p> <p>柱 中間柱 柱 柱 中間柱 柱</p>	<p>A側 笠木 B側</p> <p>パネル取付部材</p> <p>柱 中間柱 柱 柱 中間柱 柱</p> <p>500 500 ※486 500</p>	<p>笠木 中間柱</p> <p>パネル取付部材 柱</p> <p>150角機能柱</p>

4 基本寸法と各部の名称

1. 基本寸法

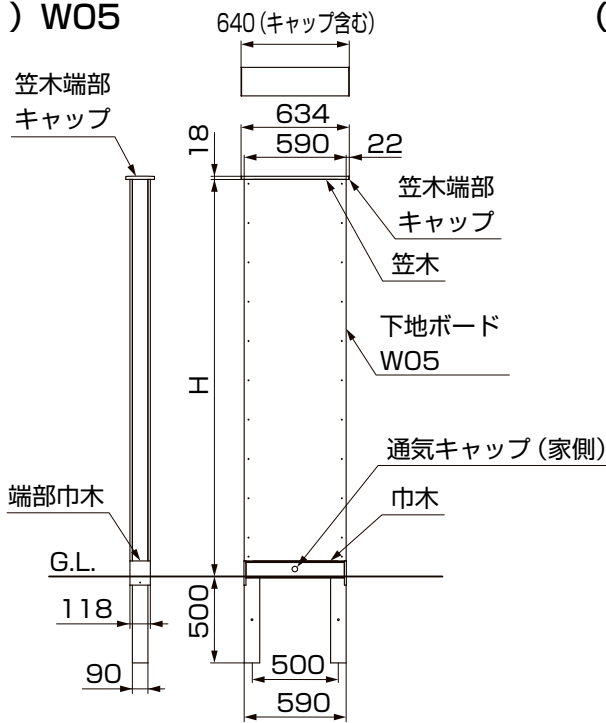
1-1 標準仕様

※H寸法は右表を参照してください。

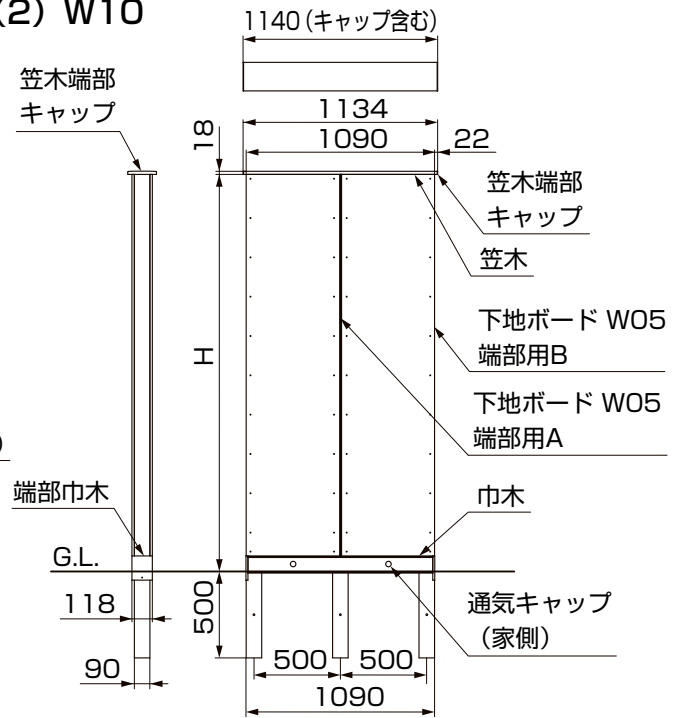
表3-1

	納まりパターン	H	ボードカット
H24	単独納まり	2450	有
	カールーフ接続	2520	無
H29	単独納まり	2905	有
	カールーフ接続	2975	無

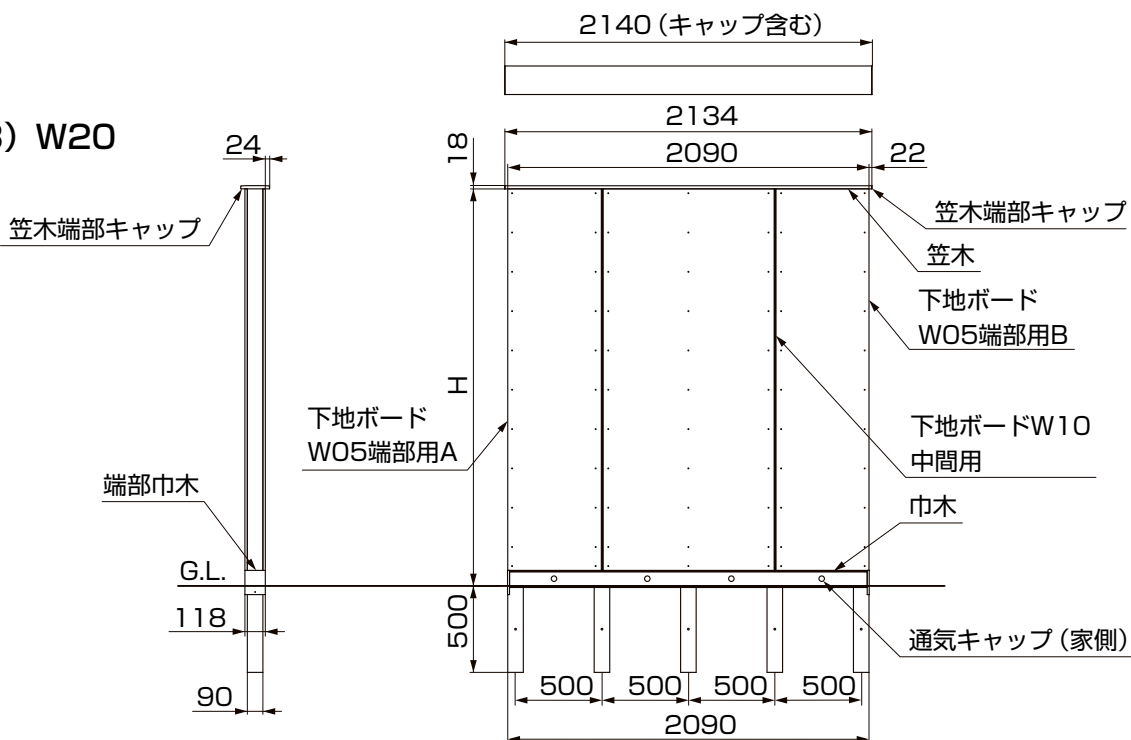
(1) W05



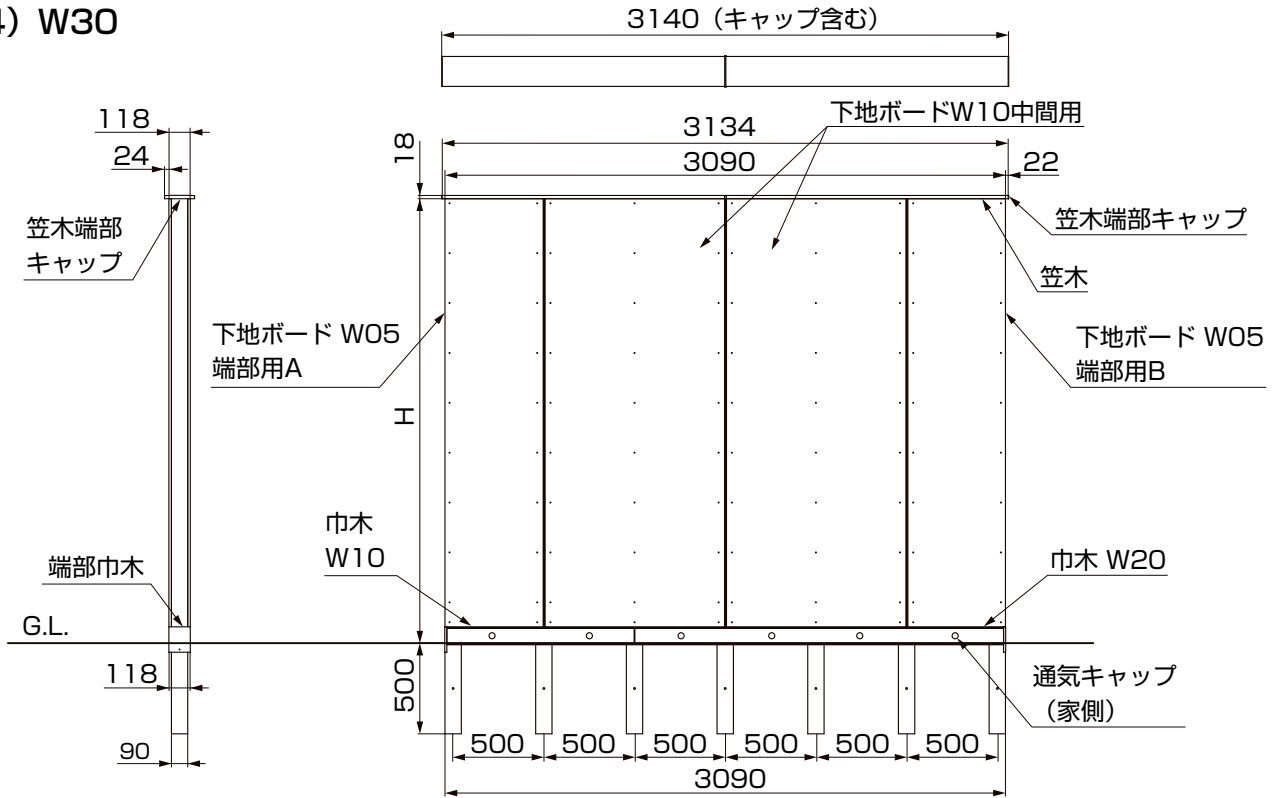
(2) W10



(3) W20



(4) W30



1-2 L字仕様

※図はW10を示します。

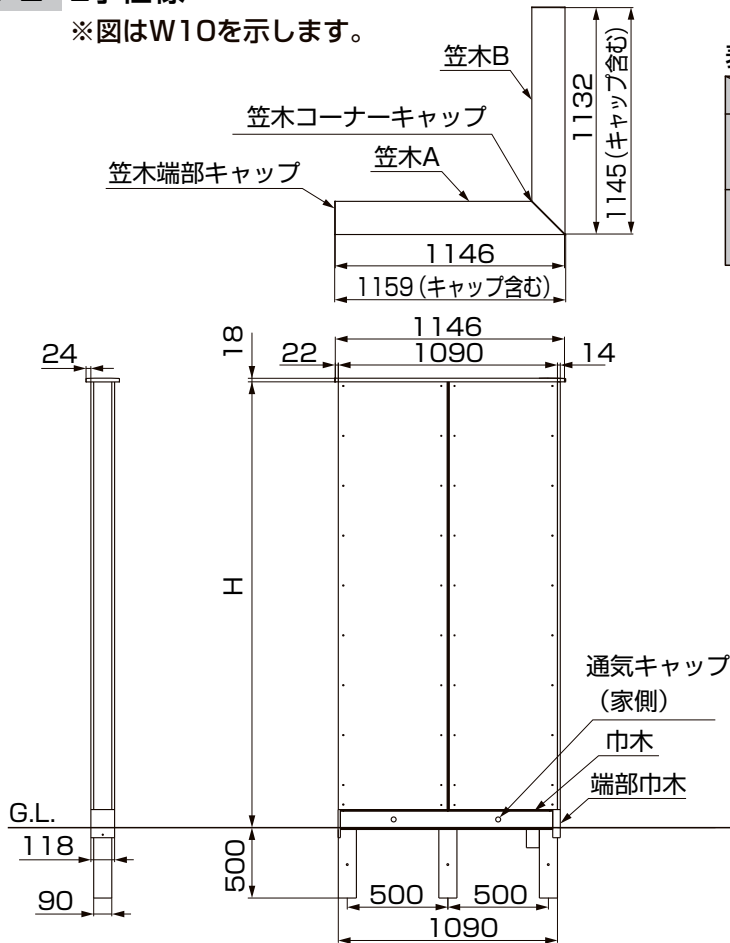
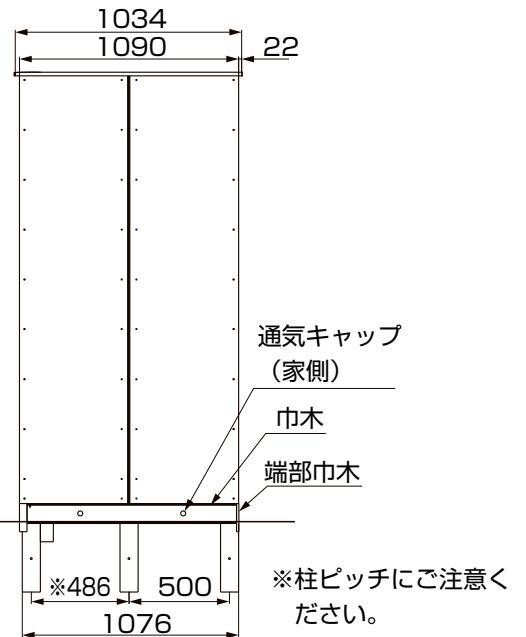


表3-2

	納まりパターン	H	ボードカット
H24	単独納まり	2450	有
	カールフ接続	2520	無
H29	単独納まり	2905	有
	カールフ接続	2975	無



1. (つづき)

1-3 150角機能柱仕様

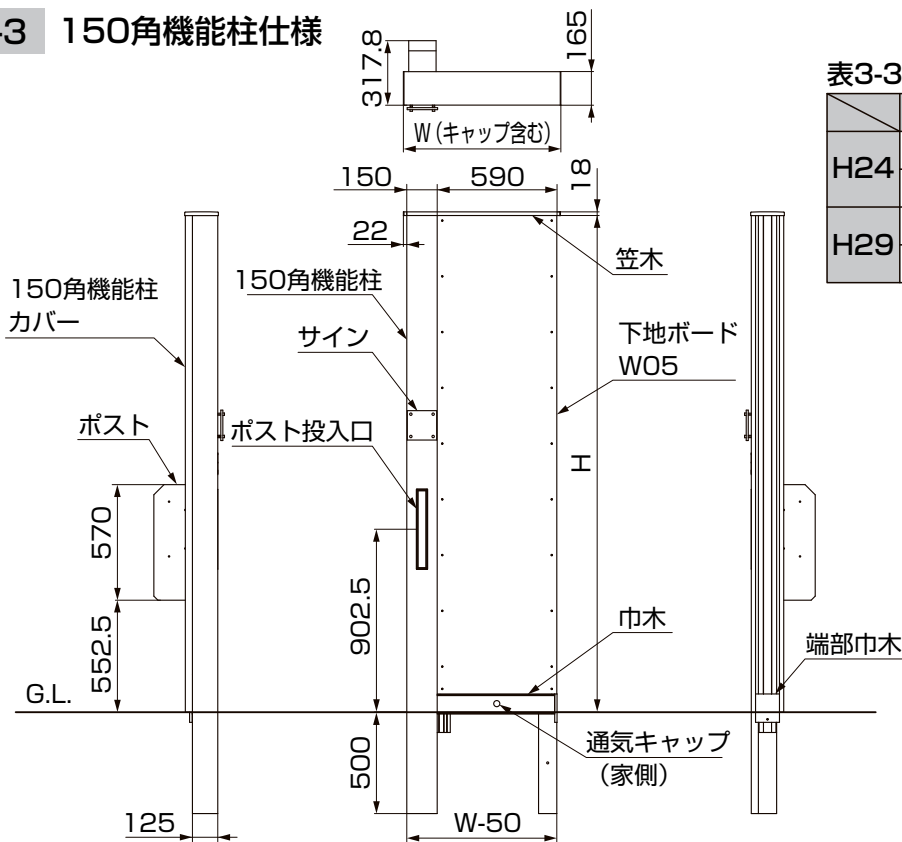


表3-3

	納まりパターン	H	ボードカット
H24	単独納まり	2450	有
	カールフ接続	2520	無
H29	単独納まり	2905	有
	カールフ接続	2975	無

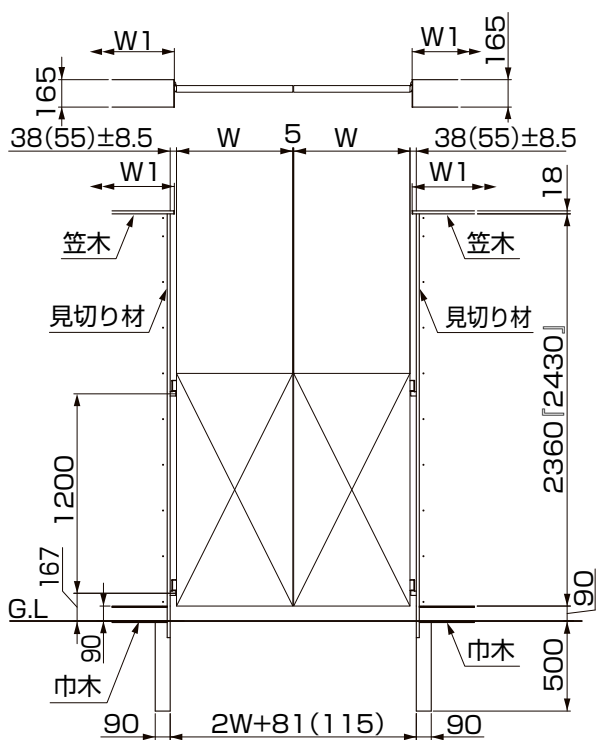
表3-4

	W
W05	790
W10	1290
W20	2290
W30	3290

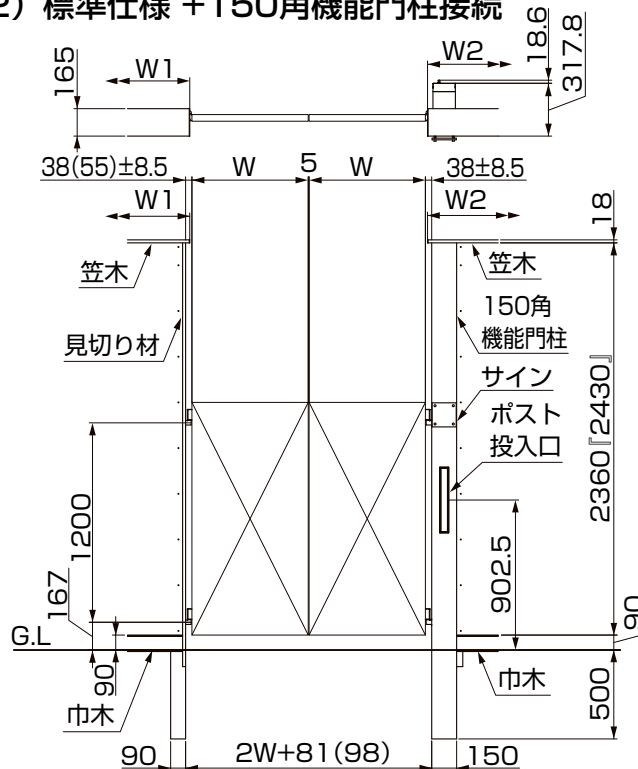
1-4 門扉納まり

※本図は単独納まり、見切り材納まりの場合です。
 ※『 』内寸法はGルーフカールフタイプに接続する場合です。
 ※()内寸法は調整金具ピースカバー納まりの場合です。
 ※W1は標準仕様のW寸法、W2は150角機能門柱仕様のW寸法になります。

(1) 標準仕様+標準仕様



(2) 標準仕様+150角機能門柱接続



2. 基礎寸法

2-1 フレーム取付けの場合

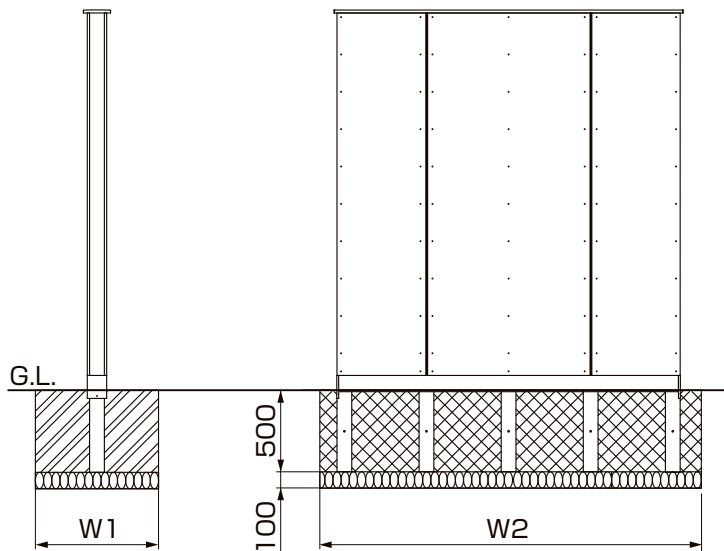


図2-1

表2-1

	W1	W2
W05	400	800
W10	500	1300
W20	500	2300
W30	500	3500

2-2 スクリーン取付けの場合

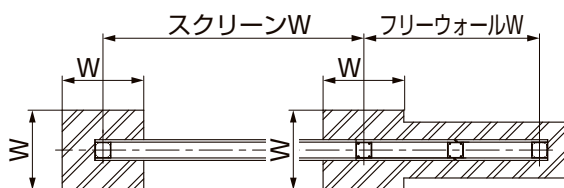


図2-2 片側にスクリーンを取付けた場合

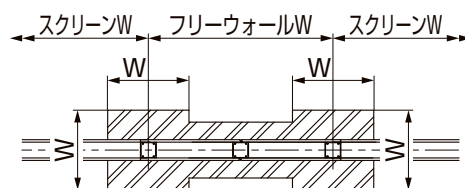


図2-3 両側にスクリーンを取付けた場合

ポイント

- 埋込み深さは、全て500mmです。
- スクリーン取付け側の基礎寸法Wは柱のスクリーン取付け時基礎サイズと同じ寸法になります。
「Gフレーム取付説明書」(E248)を参照してください。
- 門扉取付け時等も同様に柱の基礎寸法が変わる場合は、「Gフレーム取付説明書」(E248)を参照してください。

2. (つづき)

2-3 カールーフ接続の場合

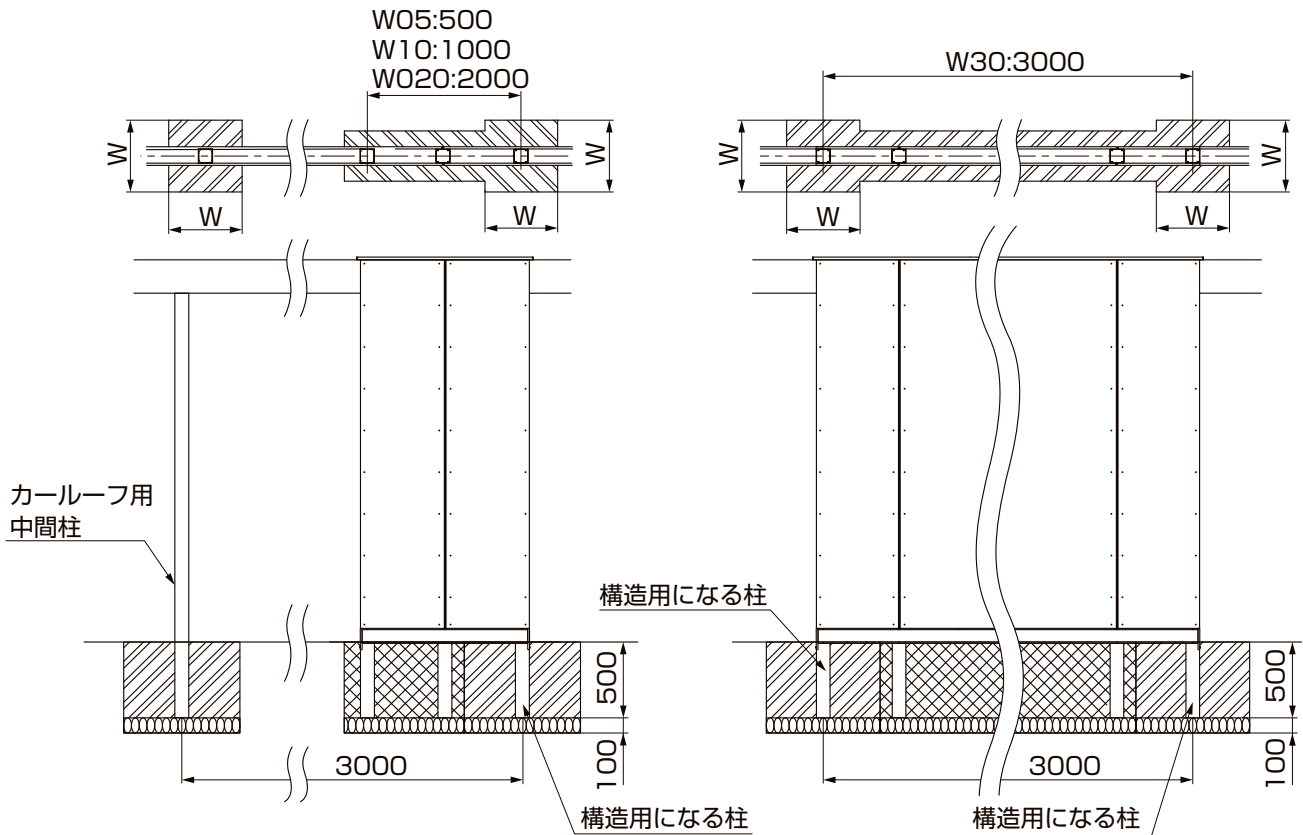


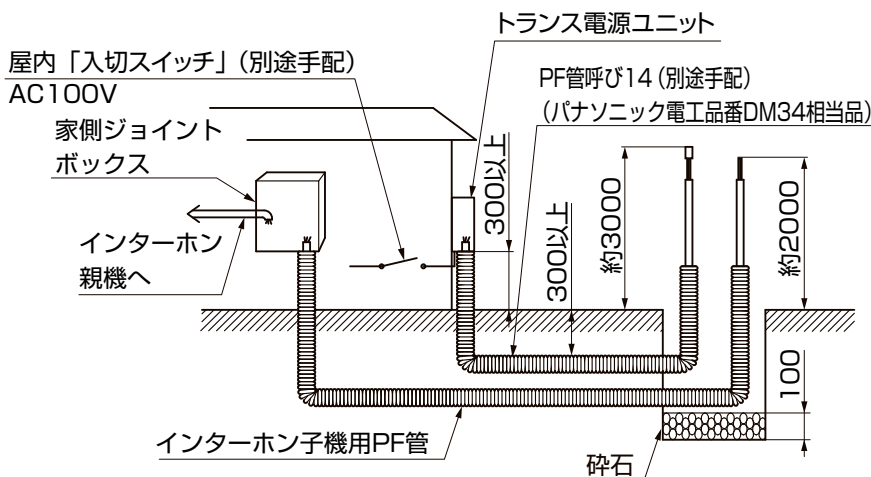
図2-4 W05~W20の場合

図2-5 W30の場合

ポイント

- カールーフの構造用になる柱位置は、カールーフの基礎サイズと同じになります。(28・18型にW10を取付けた場合は除く)
「Gルーフ カールーフタイプ取付説明書」(E399)を参照してください。

5 配線工事



- ①基礎穴を掘り、砕石を敷いてください。

ポイント

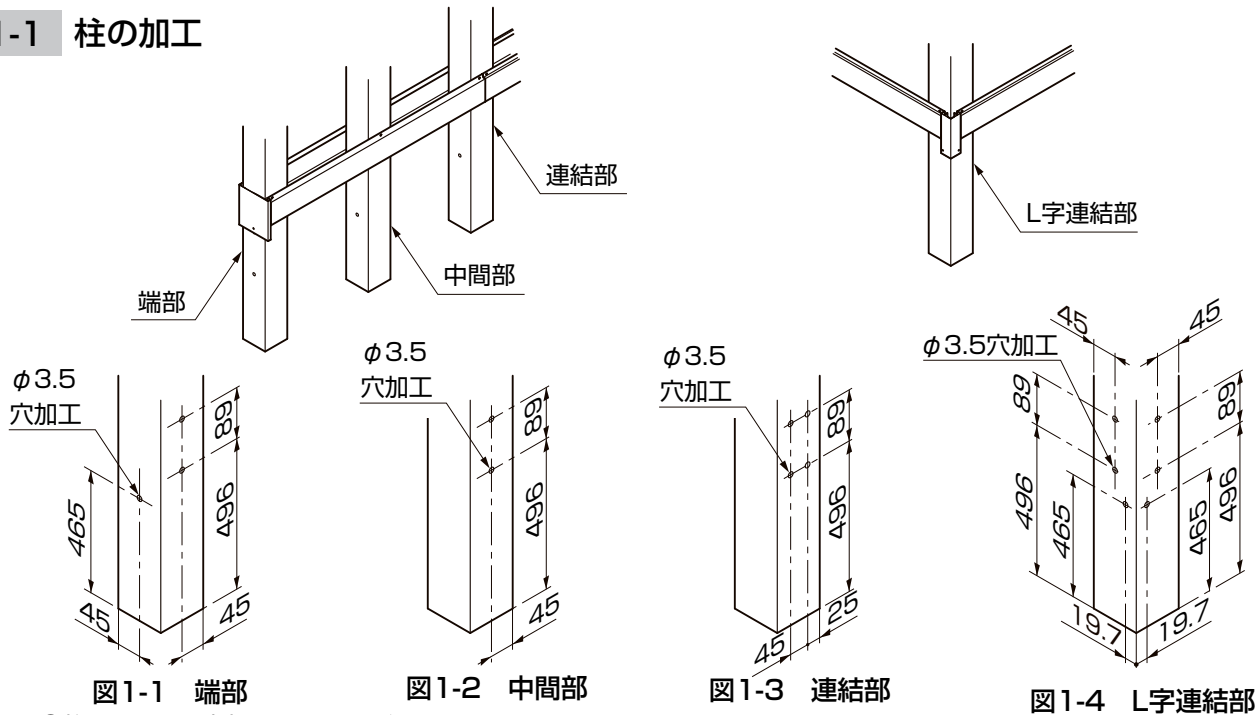
- 配管はG.L.より100mm程度立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

- ②照明およびインターホン子機用の配線配管をしてください。

6 取付け前の準備

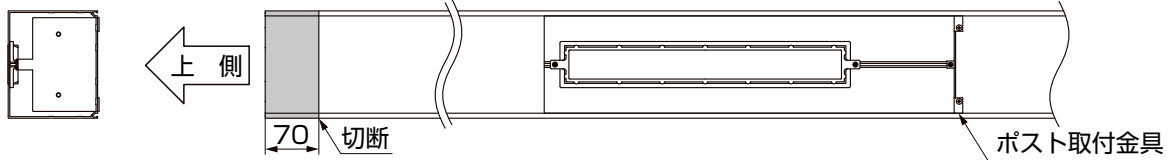
1.部材の加工・部品の取付け

1-1 柱の加工



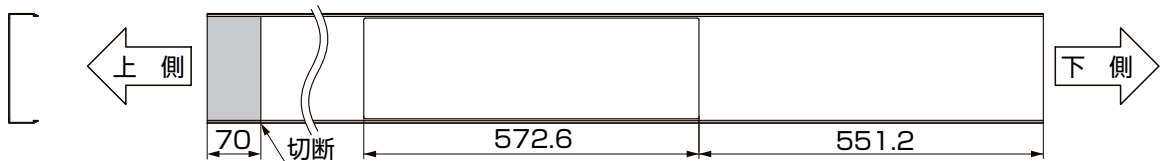
①柱にφ3.5の穴加工をしてください。

1-2 150角機能門柱の加工 ※Gルーフ カールーフタイプに接続する場合は必要ありません。



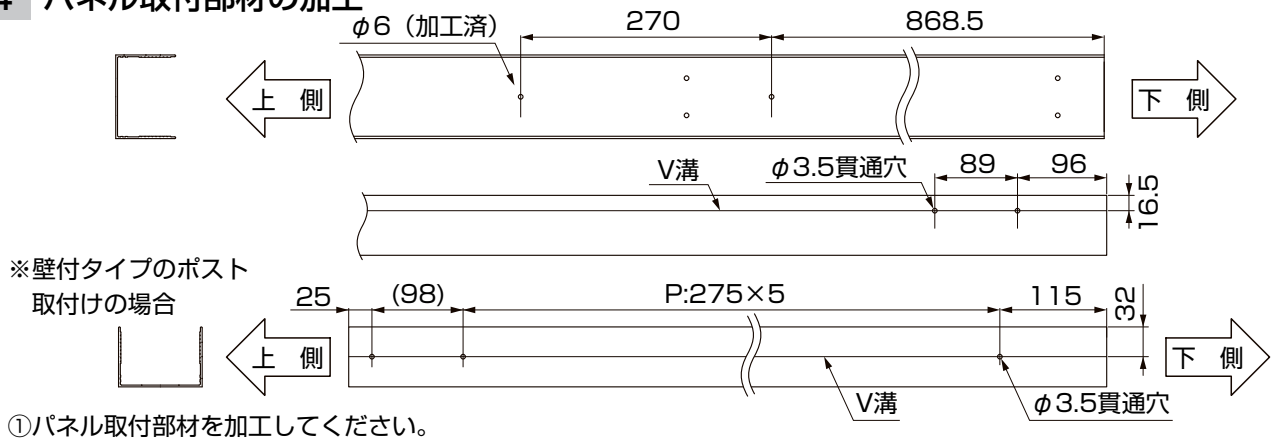
①150角機能門柱を加工してください。

1-3 150角機能門柱カバーの加工 ※Gルーフ カールーフタイプに接続する場合は必要ありません。



①150角機能門柱カバーを加工してください。

1-4 パネル取付部材の加工



①パネル取付部材を加工してください。

1. (つづき)

1-5 巾木の加工 (基本の加工)

(1) W05~W20

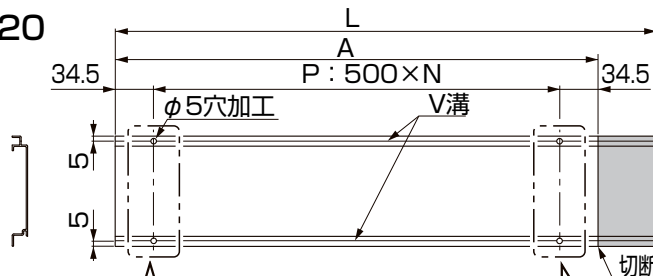


表1-1

	L	A	N
W05	579	569	1
W10	1079	1069	2
W20	2079	2069	4

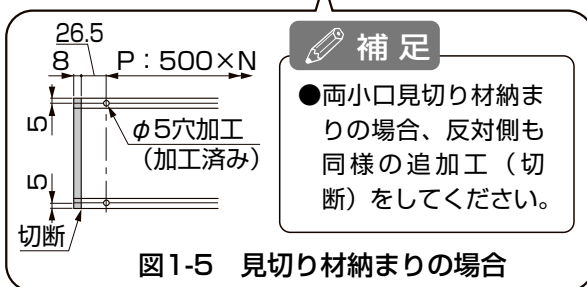


図1-5 見切り材納まりの場合

補足
●両小口見切り材納まりの場合、反対側も同様の追加工（切断）をしてください。

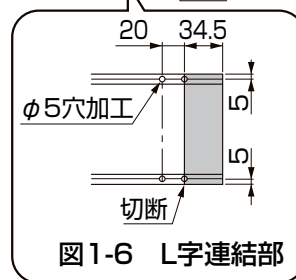


図1-6 L字連結部

補足
●見切り材納まりの場合は、図1-5を参照し、「小口側」に追加工（切断）をしてください。

(2) W30

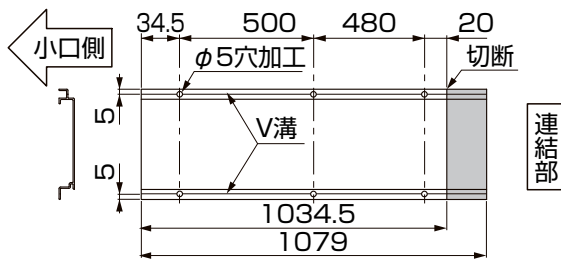


図1-7 W10用

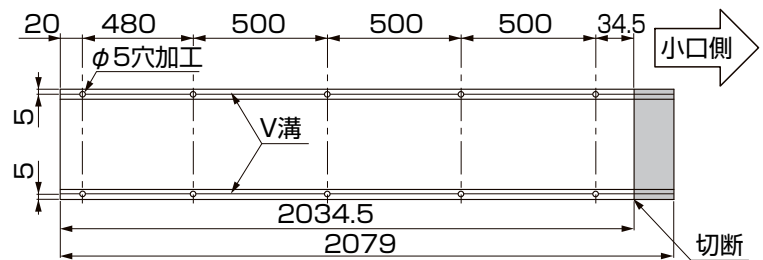
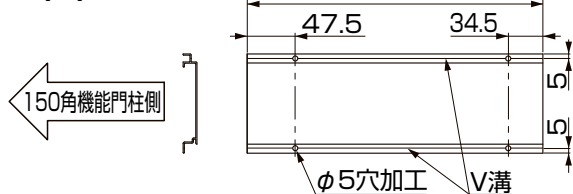


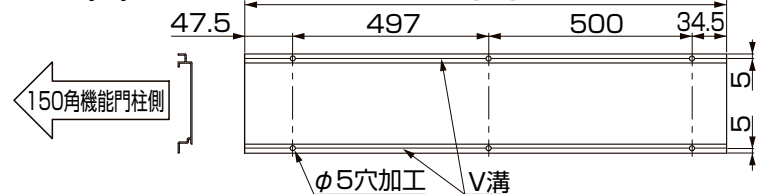
図1-8 W20用

1-6 巾木の加工 (150角機能門柱の場合)

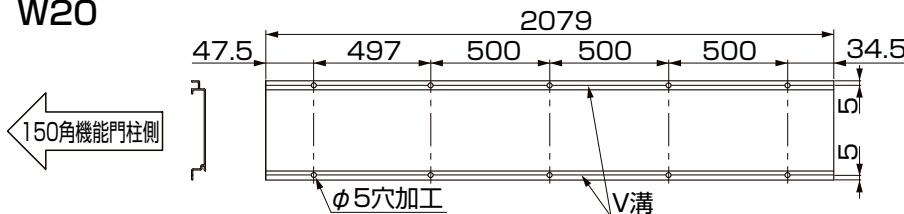
(1) W05



(2) W10



(3) W20



(4) W30

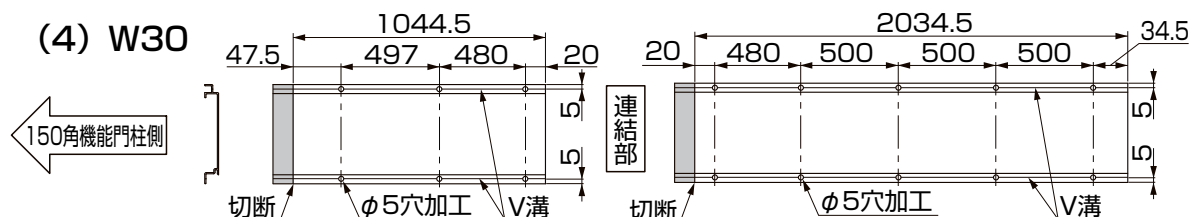


図1-9 W10用

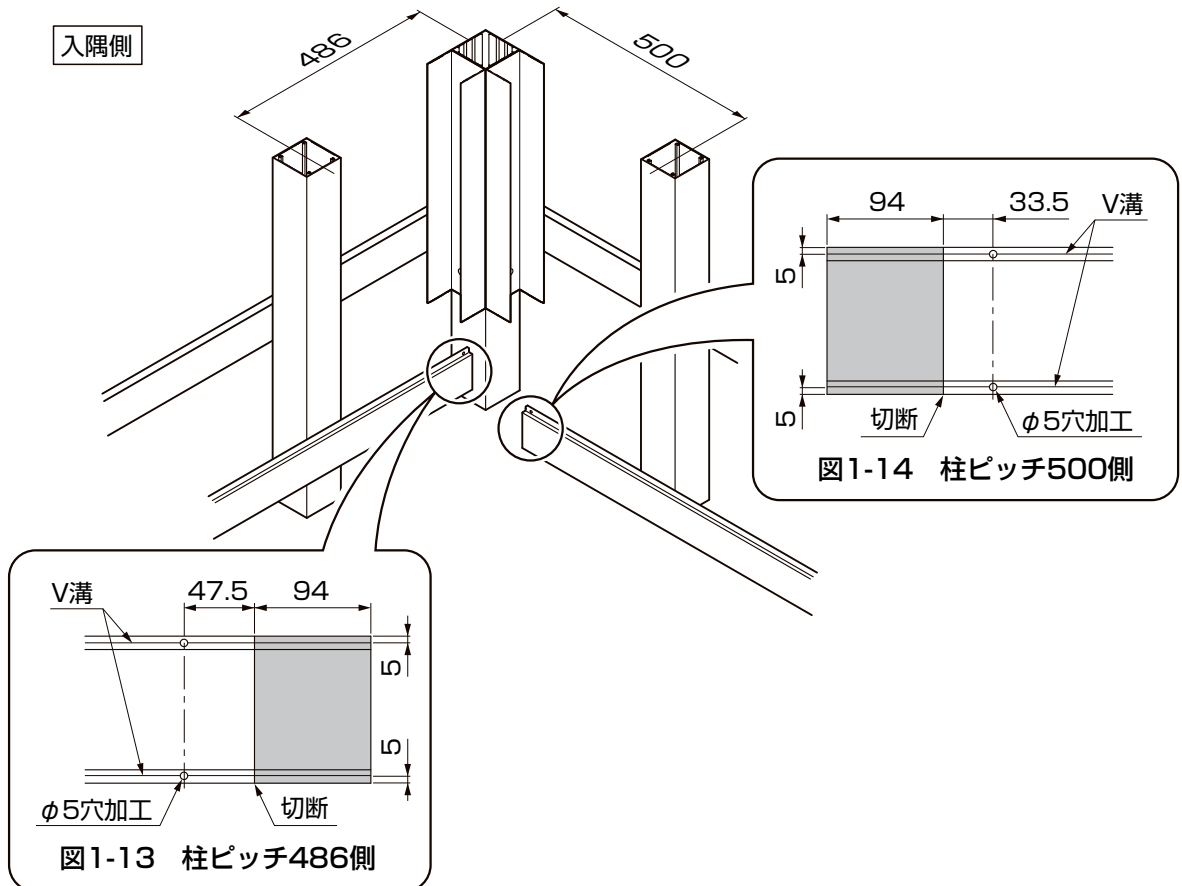
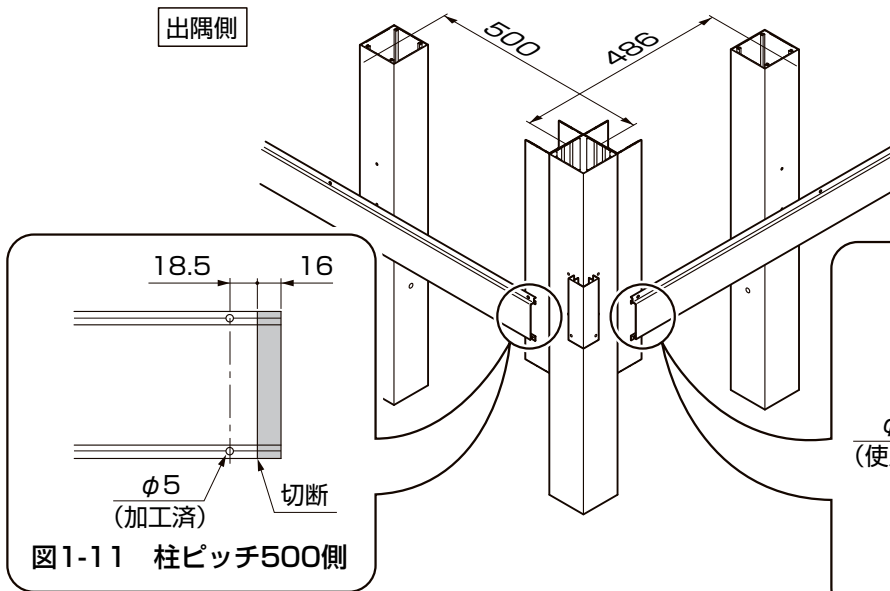
図1-10 W20用

①巾木を加工してください。

1-7 巾木の加工 (L字仕様の場合)

ポイント

- 「1-5 巾木の加工 (基本の加工)」 に加工を追加してください。

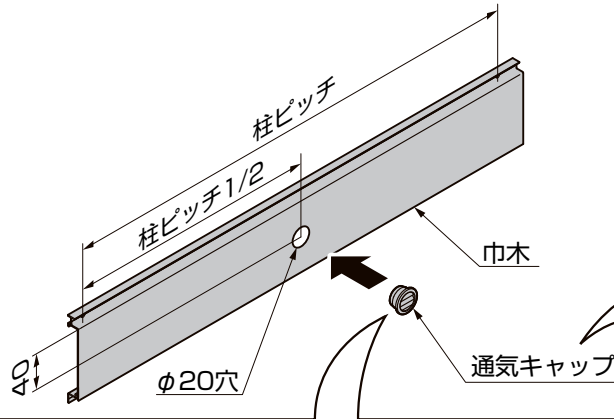


①巾木を加工してください。

1. (つづき)

1-8 通気キャップの取付け

※家側に取付ける巾木のみ
 ※全ての柱間の巾木中央に取付けます。



⚠ 注意

●通気穴を加工しないと、結露などで下地ボードがダメージを受け、タイルや塗材がはく離するおそれがあります。

[通気キャップの取付け位置]

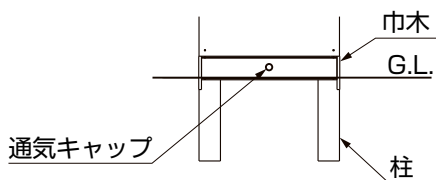


図1-15 W05の場合

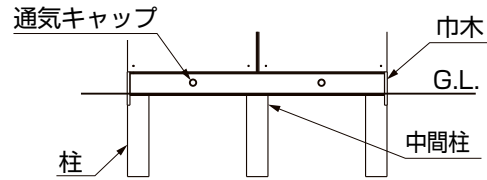


図1-16 W10の場合

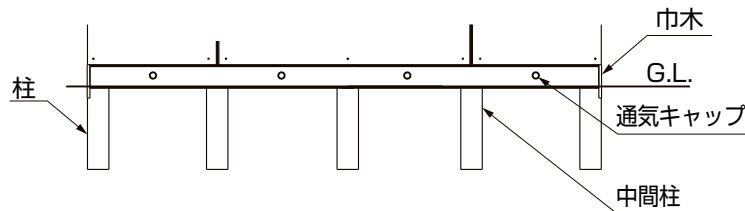


図1-17 W20の場合

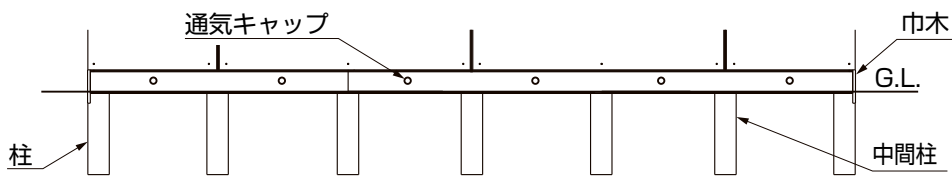


図1-18 W30の場合

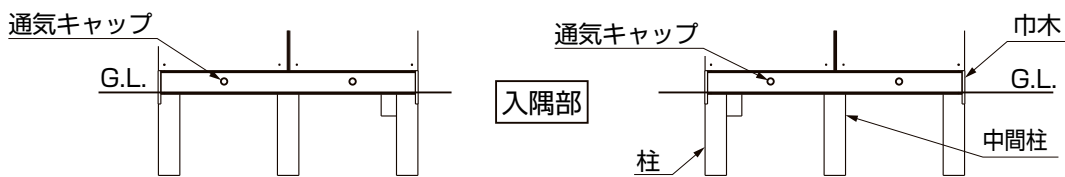


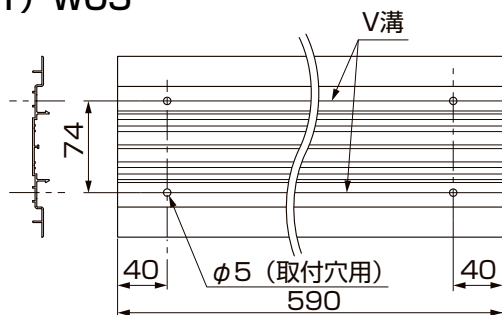
図1-19 L字仕様の場合

①巾木にφ20の穴加工をし、通気キャップをはめてください。

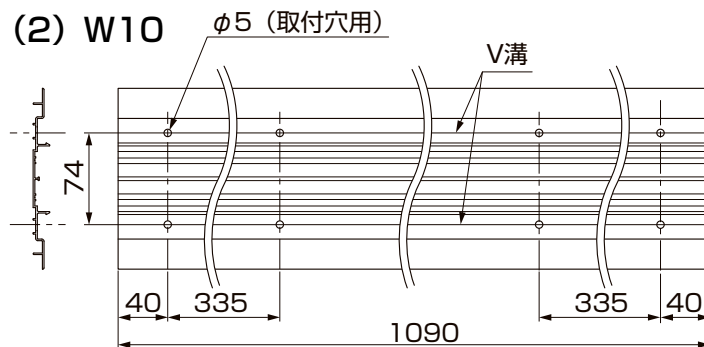
1-9 笠木ベースの加工（基本の加工）

※150角機能門柱付きの場合は、「1-12 笠木ベースの加工（150角機能門柱付きの場合）」を参照してください。

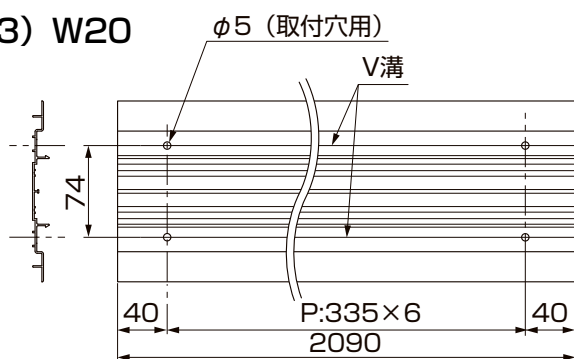
(1) W05



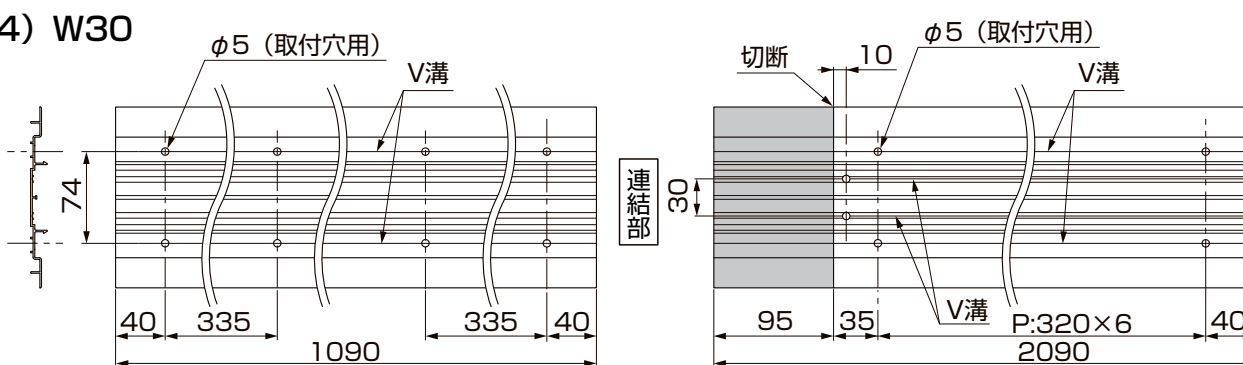
(2) W10



(3) W20



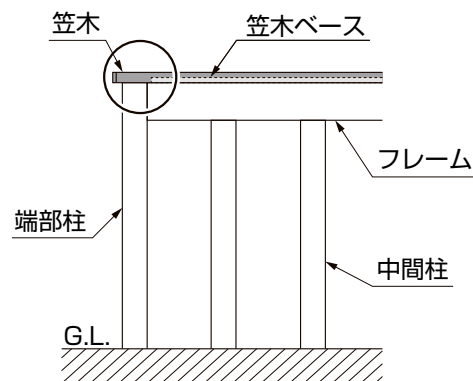
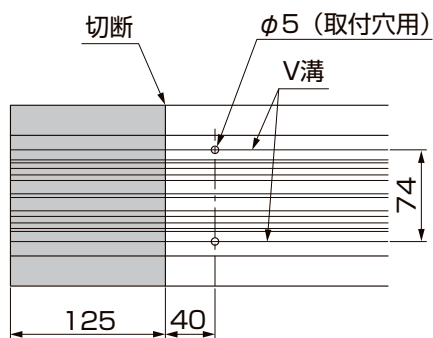
(4) W30



1-10 笠木ベースの加工（端部柱がある場合）

※基本の加工に追加加工をしてください。

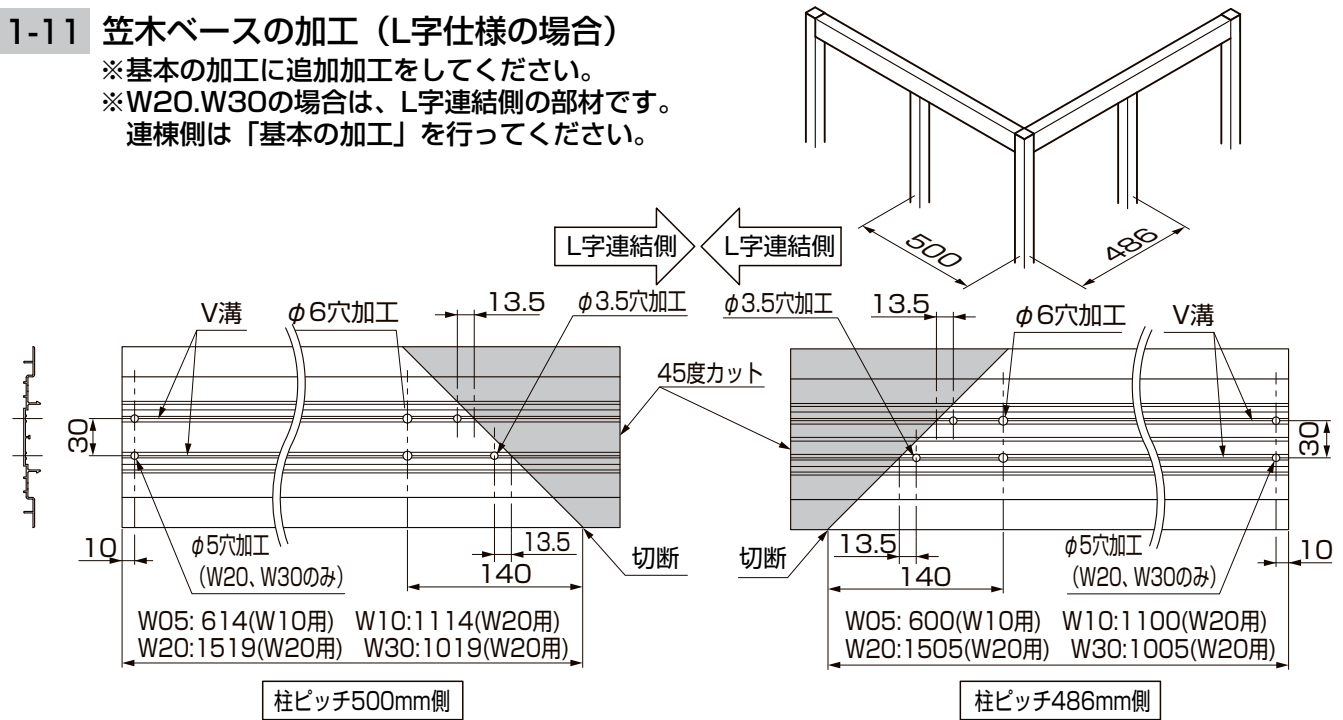
※両端が端部柱の場合は反対側にも加工を追加してください。



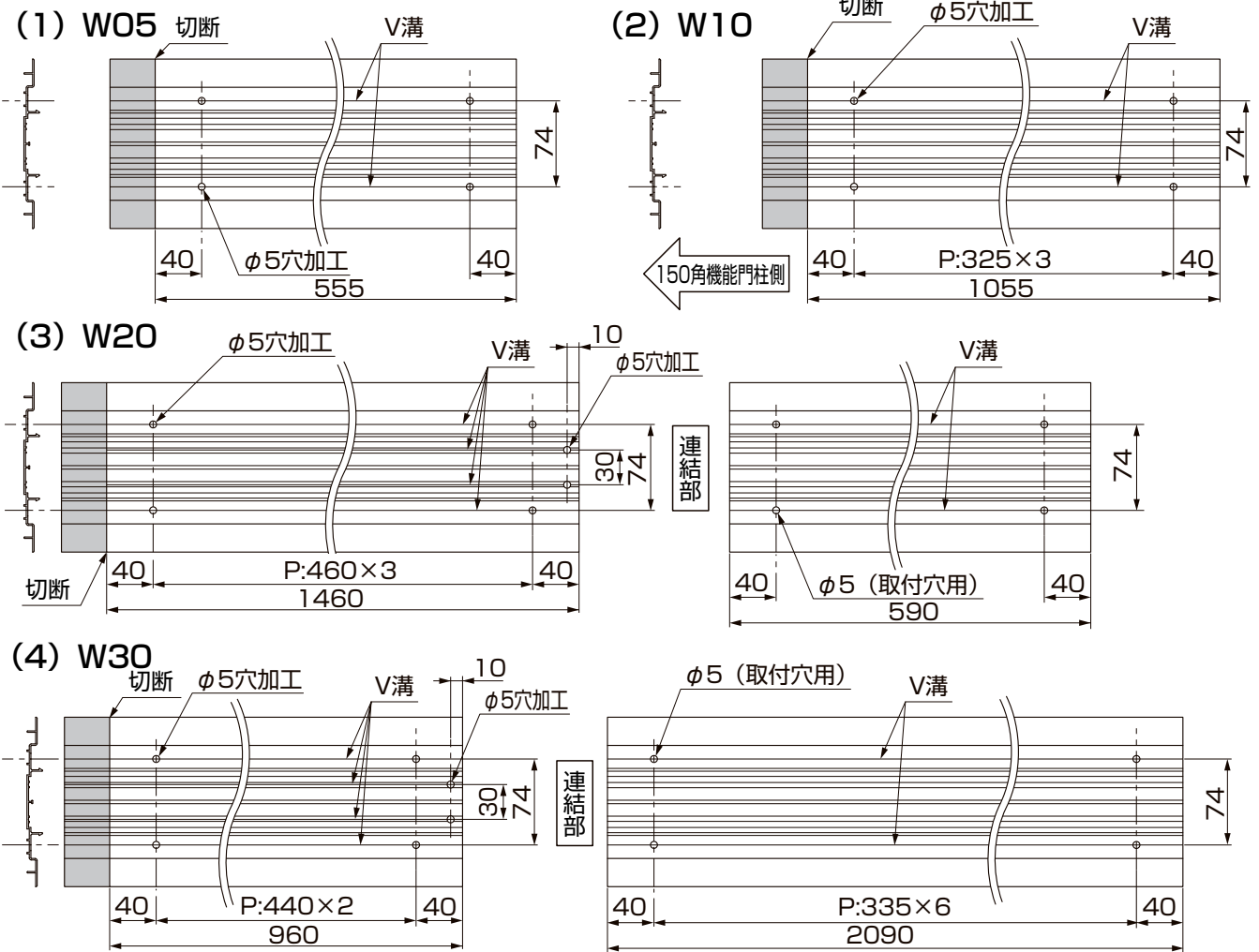
1. (つづき)

1-11 笠木ベースの加工 (L字仕様の場合)

※基本の加工に追加加工をしてください。
 ※W20.W30の場合は、L字連結側の部材です。
 連棟側は「基本の加工」を行ってください。



1-12 笠木ベースの加工 (150角機能門柱付きの場合)



6 取付け前の準備

1-13 笠木の加工（基本の加工）

※W05～W20は必要ありません。

※150角機能門柱付きの場合は、「1-14 笠木の加工（150角機能門柱付きの場合）」を参照してください。

(1) W30

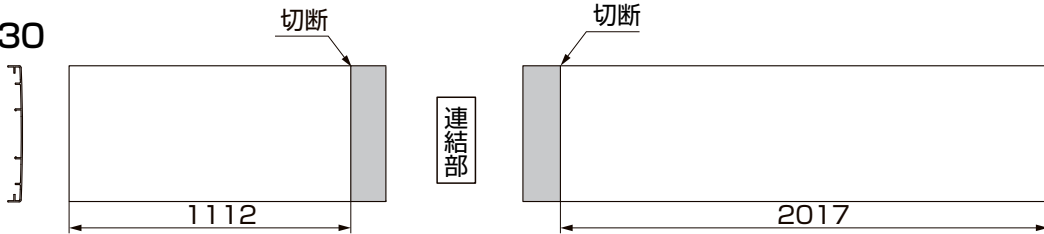
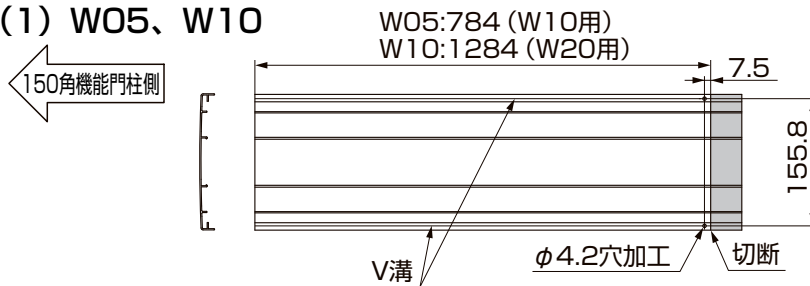


図1-20 W10用

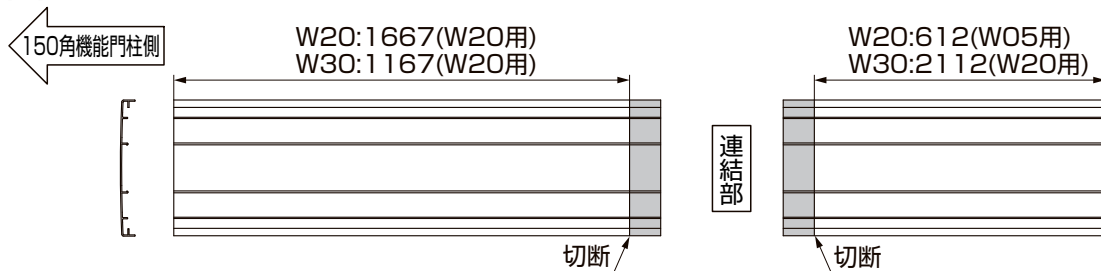
図1-21 W20用

1-14 笠木の加工（150角機能門柱付きの場合）

(1) W05、W10

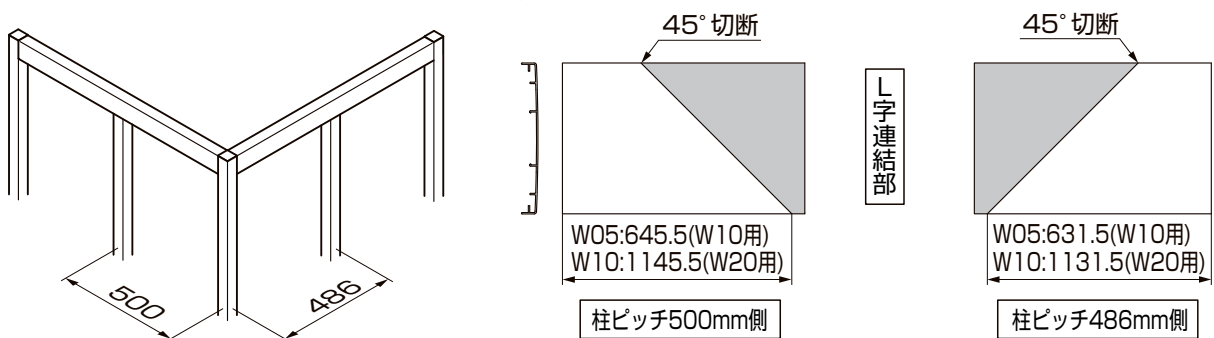


(2) W20、W30

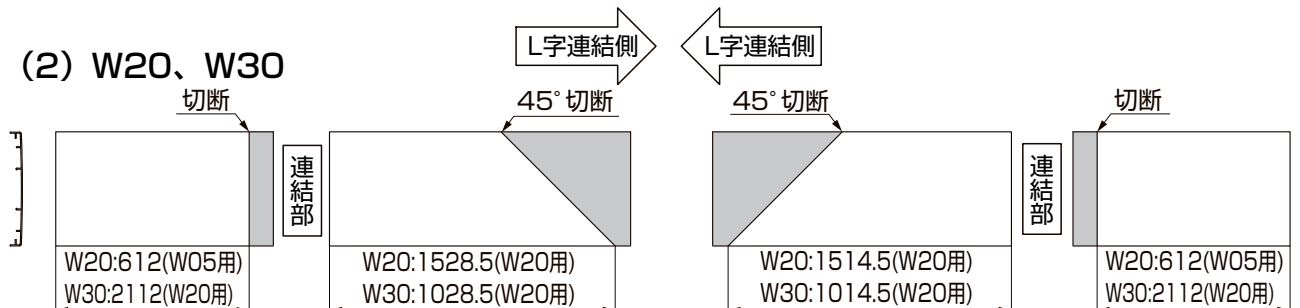


1-15 笠木の加工（L字仕様の場合）

(1) W05、W10



(2) W20、W30



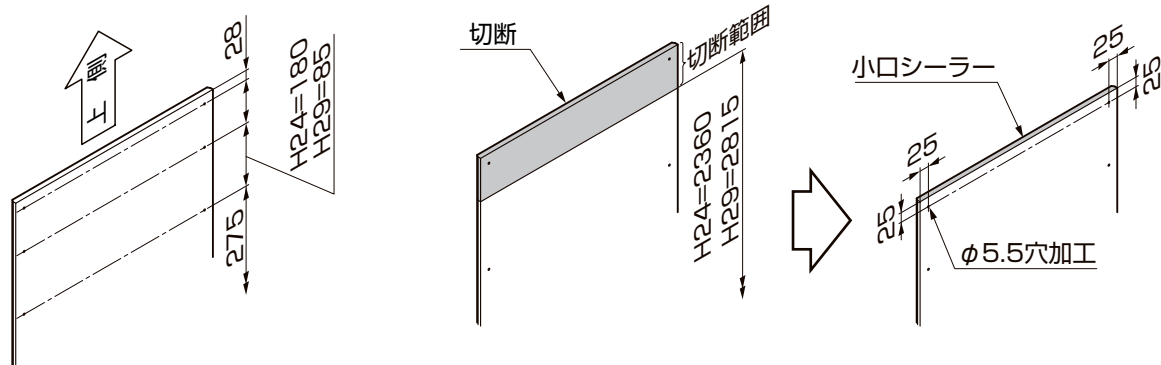
1. (つづき)

1-16 下地ボードの加工

ポイント

- 下地ボードの切断加工をした場合、切断面には必ず小口シーラーを塗付してください。
- Gルーフリータイプに接続する場合はP.43を、カールフタイプに接続する場合はP.46を参照してください。

(1) 基本の加工 ※カールフタイプに接続する場合は不要です。



(2) 見切り材納まりの場合 ※基本の加工に加工追加してください。

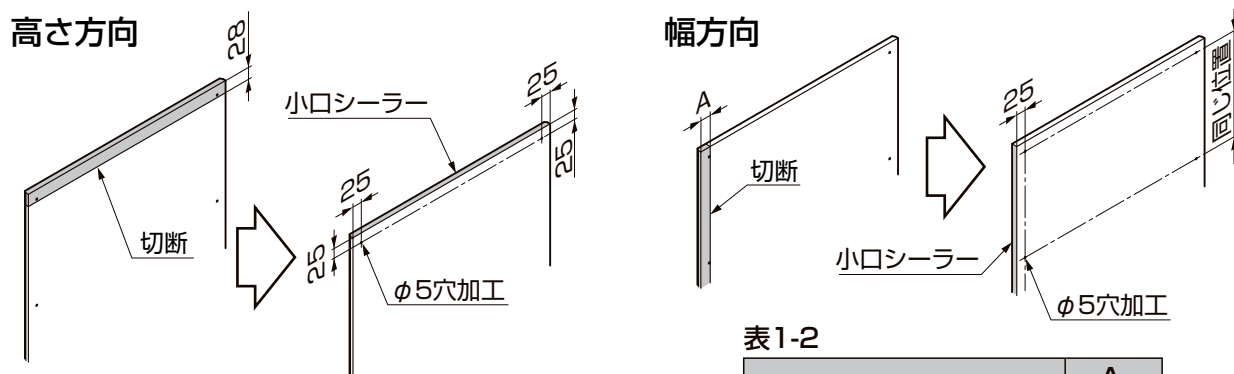
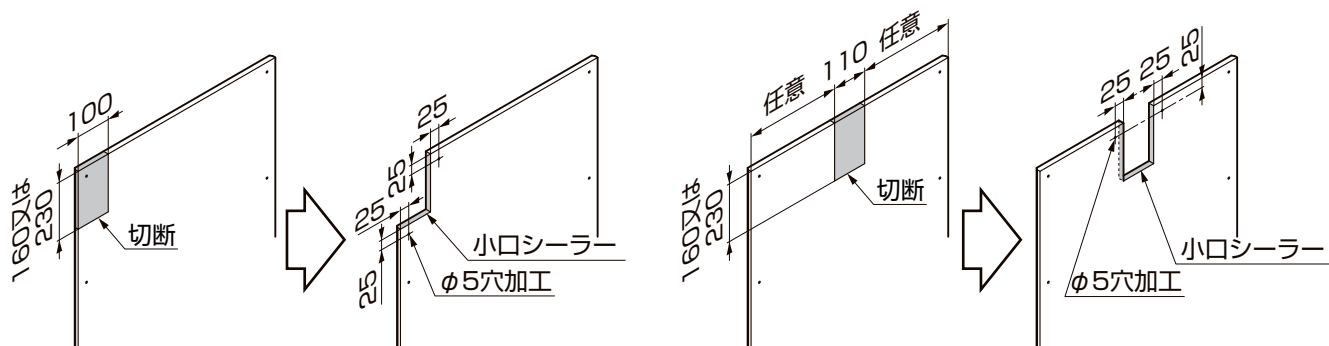


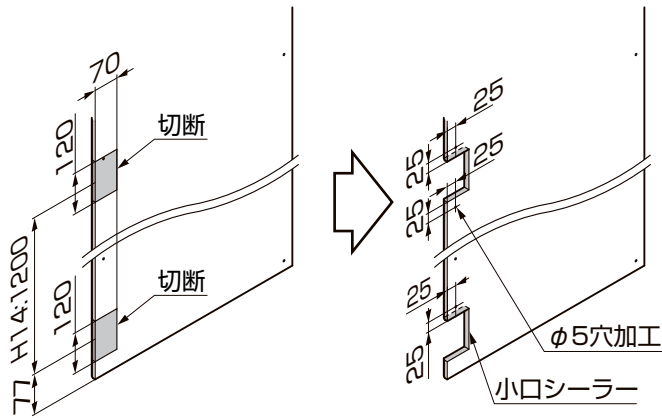
表1-2

	A
単独納まり	28
Gスクリーン接続 (直線)	28
Gスクリーン接続 (L字)	118
門扉納まり (見切り材納まり)	118

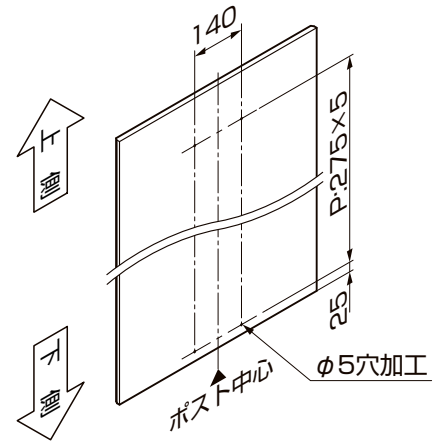
(3) フレーム接続の場合 ※基本の加工に加工追加してください。



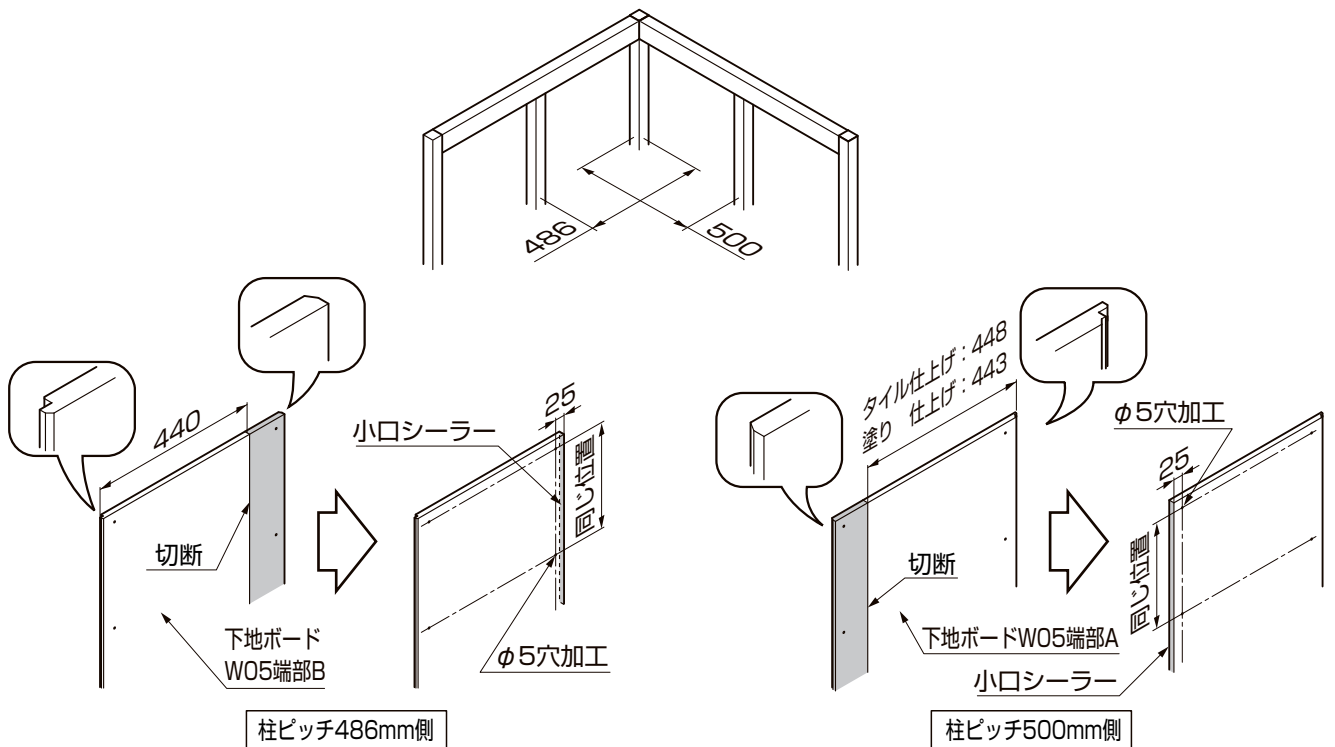
(4) 門扉納まり (調整金具ピースカバー納まり) の場合
 ※基本の加工に加工追加してください。



(5) 壁付タイプのポスト取付けの場合

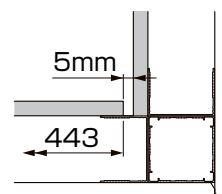


(6) L字仕様の場合 ※基本の加工に加工追加してください。



ポイント

●塗り仕上げの場合、
 連結部内側のボード
 に5mmの目地を
 取ってください。



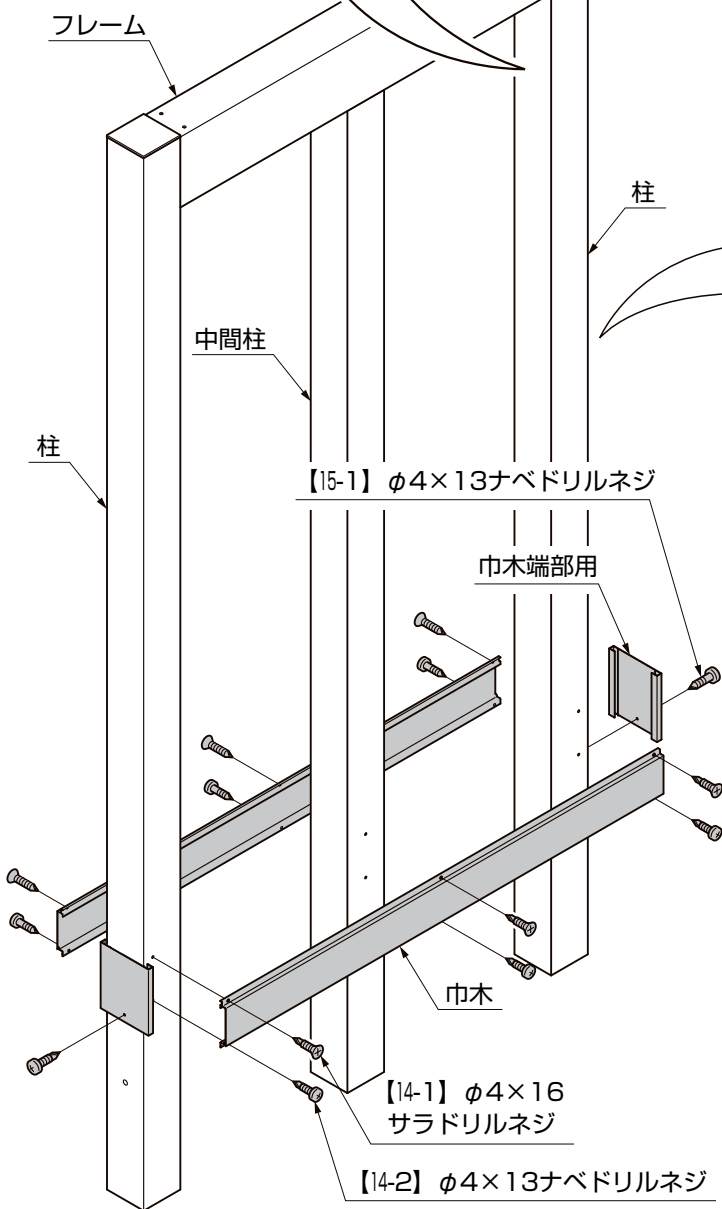
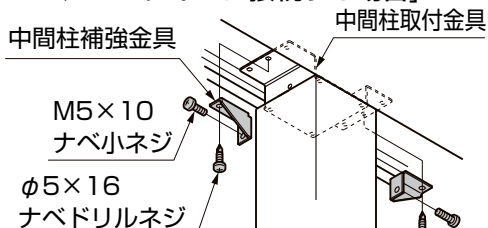
7 Gフレームへの取付け

※柱とフレームの施工は「Gフレーム取付説明書 (E248)」を参照してください。

1. 柱、巾木の取付け

1-1 標準仕様の場合

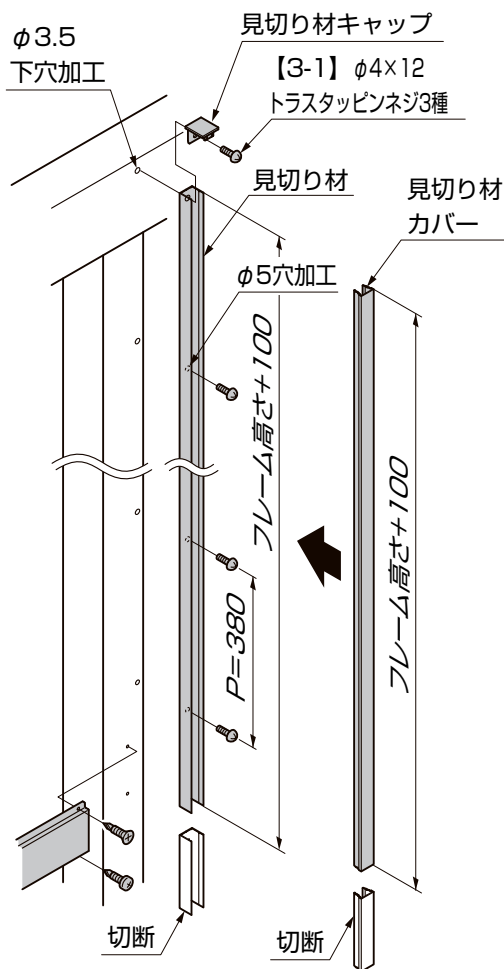
[Gルーフ フリータイプや
カールフタイプに接続する場合]



- ①巾木端部用を柱に【15-1】で取付けてください。
- ②巾木を柱に【14-1】、【14-2】で取付けてください。

ポイント

[見切り材を取付ける場合]



- ①見切り材と見切り材カバーを加工してください。
- ②柱にφ3.5の下穴をあけて見切り材、見切り材キャップを【3-1】で取付けてください。
- ③見切り材カバーを見切り材にはめ込んでください。
- ④巾木を取付けてください。

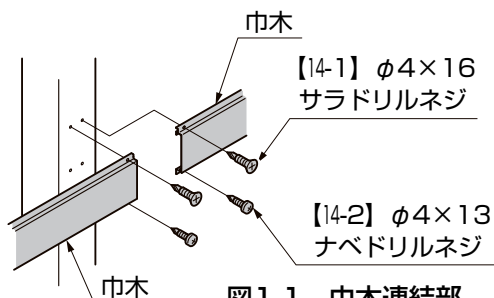
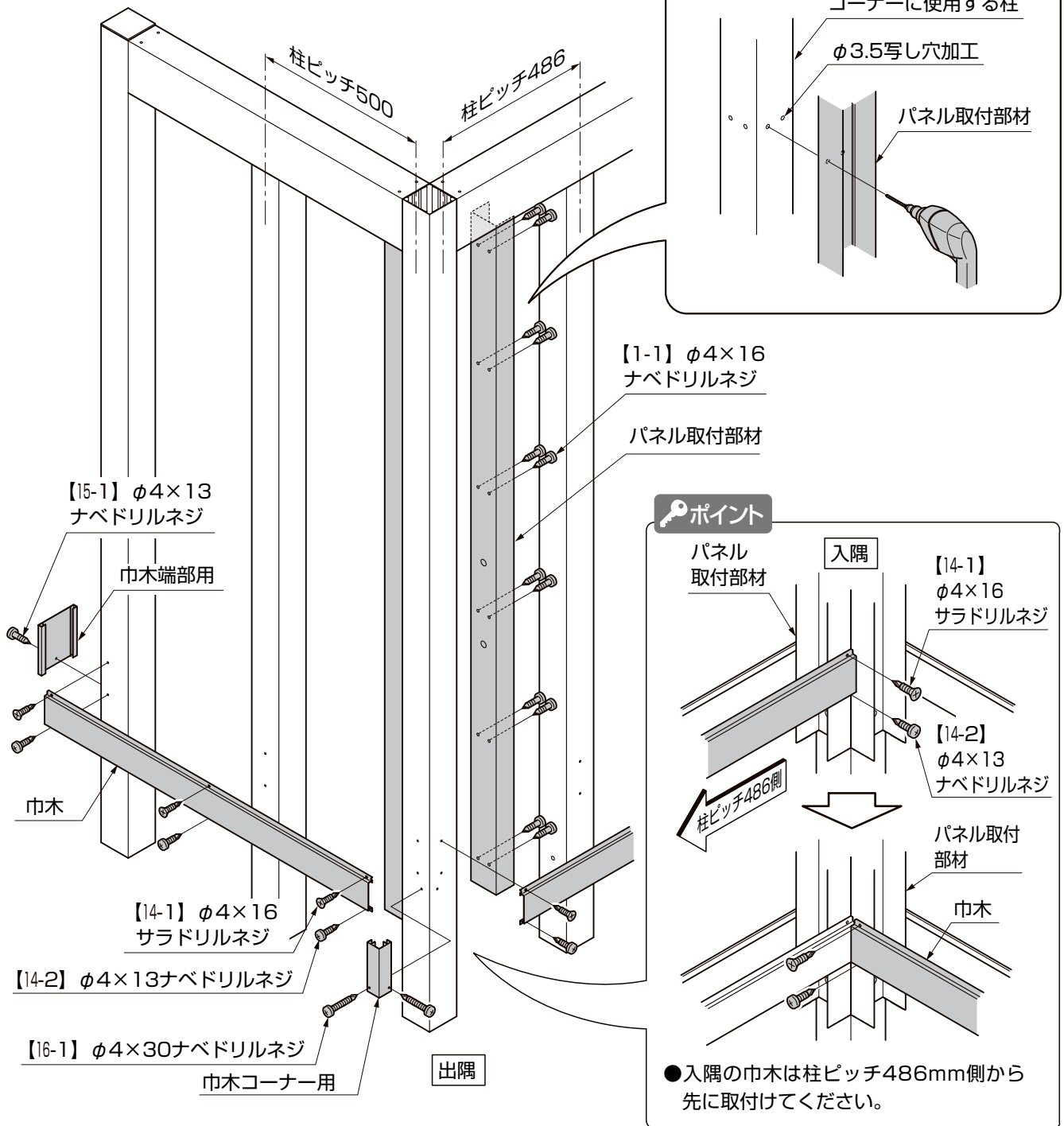


図1-1 巾木連結部

1-2 L字仕様の場合

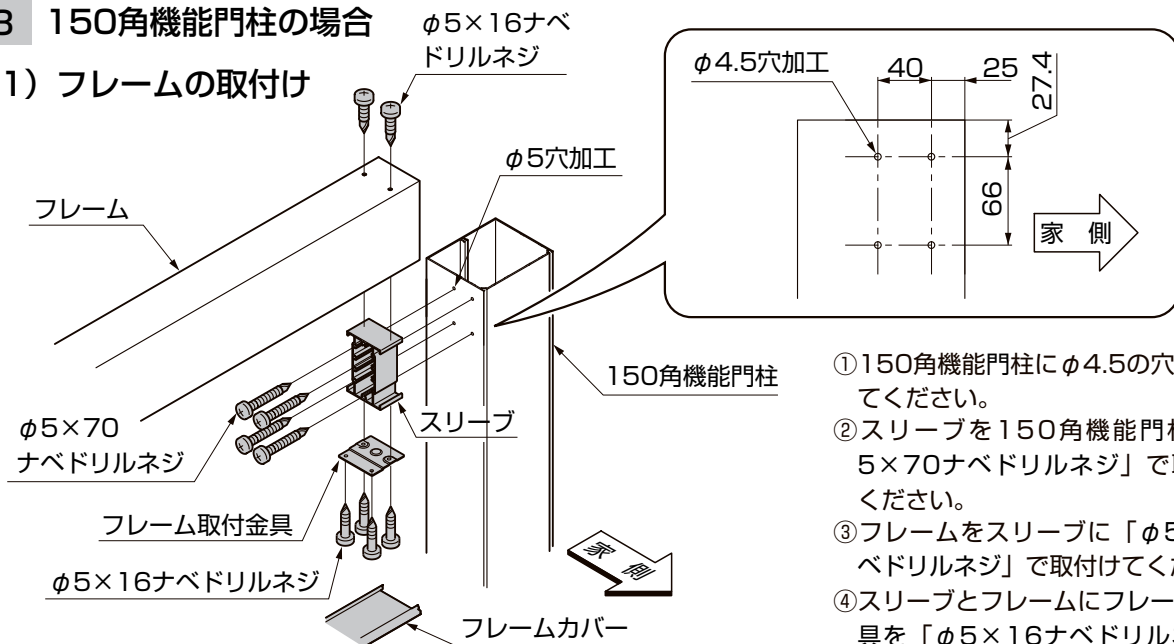


- ① コーナーに使用する柱にパネル取付部材を仮当てし、φ3.5の写し穴加工をしてください。
- ② パネル取付部材をフレームの柱に【1-1】で取付けてください。
- ③ 巾木端部用と巾木コーナー用を柱に【15-1】、【16-1】で取付けてください。
- ④ 出隅側の巾木を柱に【14-1】、【14-2】で取付けてください。
- ⑤ 入隅側の巾木をパネル取付部材に【14-1】、【14-2】で取付けてください。

1. (つづき)

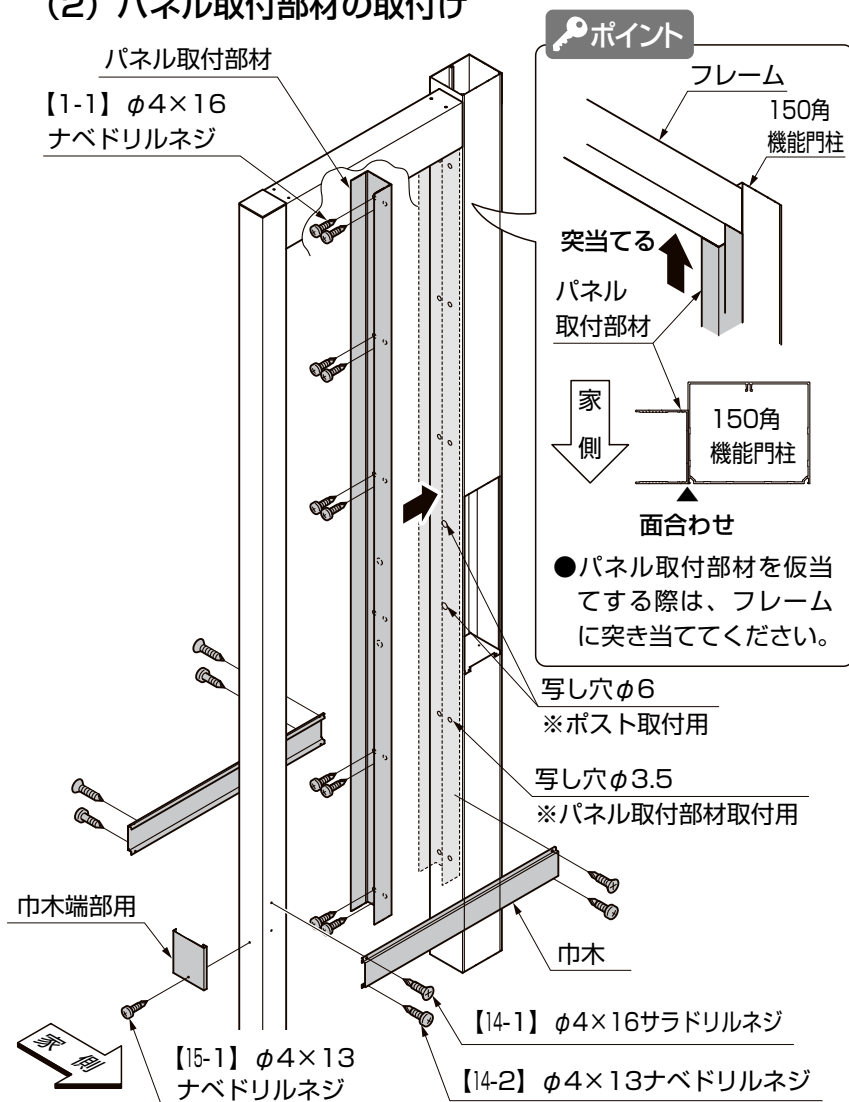
1-3 150角機能門柱の場合

(1) フレームの取付け

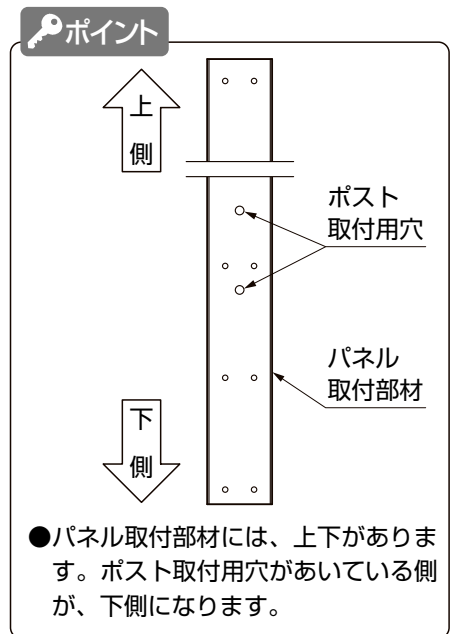


- ① 150角機能門柱にφ4.5の穴加工をしてください。
- ② スリーブを150角機能門柱に「φ5×70ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ③ フレームをスリーブに「φ5×16ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ④ スリーブとフレームにフレーム取付金具を「φ5×16ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ⑤ フレームカバーをフレームにはめこんでください。

(2) パネル取付部材の取付け



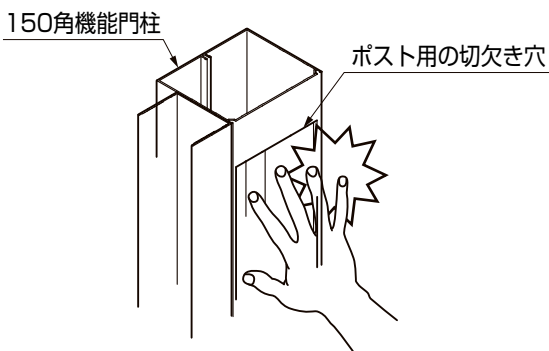
- ① 150角機能門柱にパネル取付部材を仮当てし、φ3.5とφ6の写し穴加工をしてください。



- ② パネル取付部材を150角機能門柱に【1-1】で取付けてください。
- ③ 巾木端部用を柱に【15-1】で取付けてください。
- ④ 巾木をパネル取付部材、柱に【14-1】、【14-2】で取付けてください。

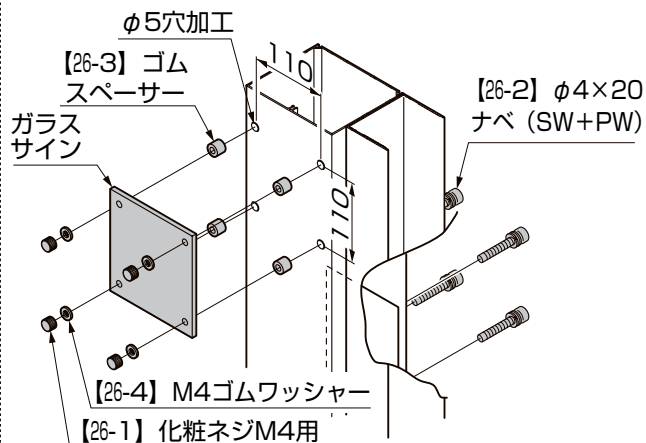
(3) サインの取付け

注意



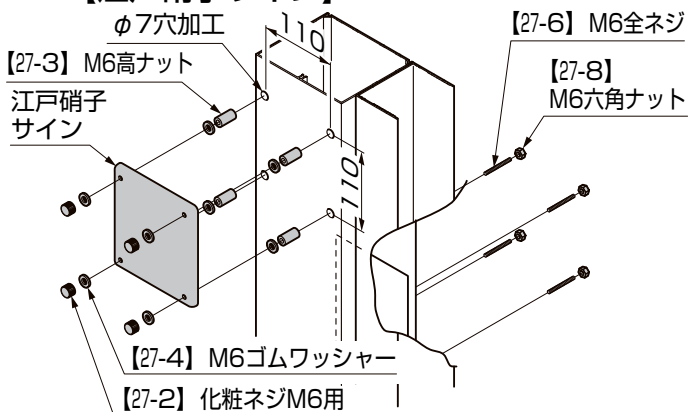
●本作業はポスト用の切欠き穴から、手を入れて作業を行います。ケガをしないように注意してください。

【ガラスサイン】



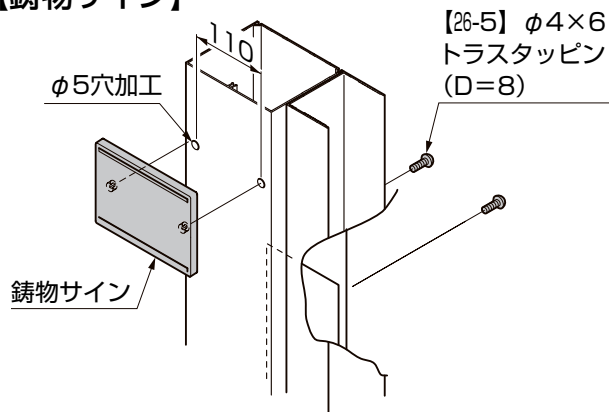
- ①150角機能門柱にφ5の穴加工をしてください。
- ②サインを150角機能門柱に【26-1】、【26-2】、【26-3】、【26-4】で取付けてください。

【江戸硝子サイン】



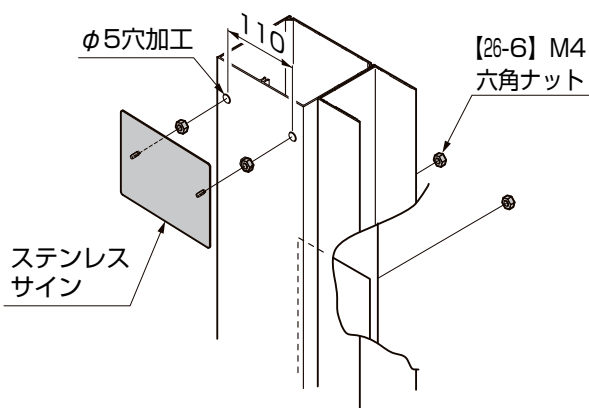
- ①150角機能門柱にφ7の穴加工をしてください。
- ②サインを150角機能門柱に【27-2】、【27-3】、【27-4】、【27-6】、【27-8】で取付けてください。

【鋳物サイン】



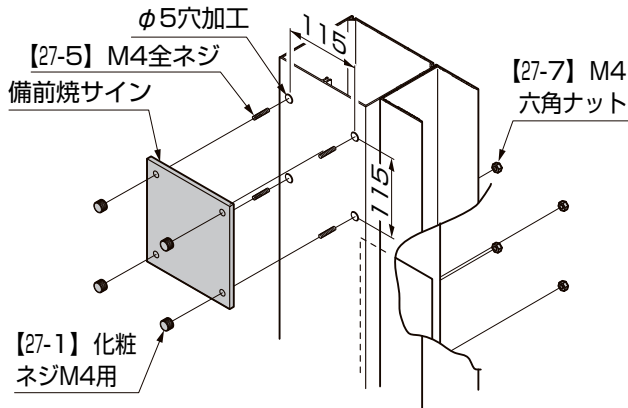
- ①150角機能門柱にφ5の穴加工をしてください。
- ②サインを150角機能門柱に【26-5】で取付けてください。

【ステンレスサイン】



- ①150角機能門柱にφ5の穴加工をしてください。
- ②サインを150角機能門柱に【26-6】で取付けてください。

【備前焼きサイン】



- ①150角機能門柱にφ5の穴加工をしてください。
- ②サインを150角機能門柱に【27-1】、【27-5】、【27-7】で取付けてください。

1. (つづき)

1-3 つづき

(4) 表札灯の取付け



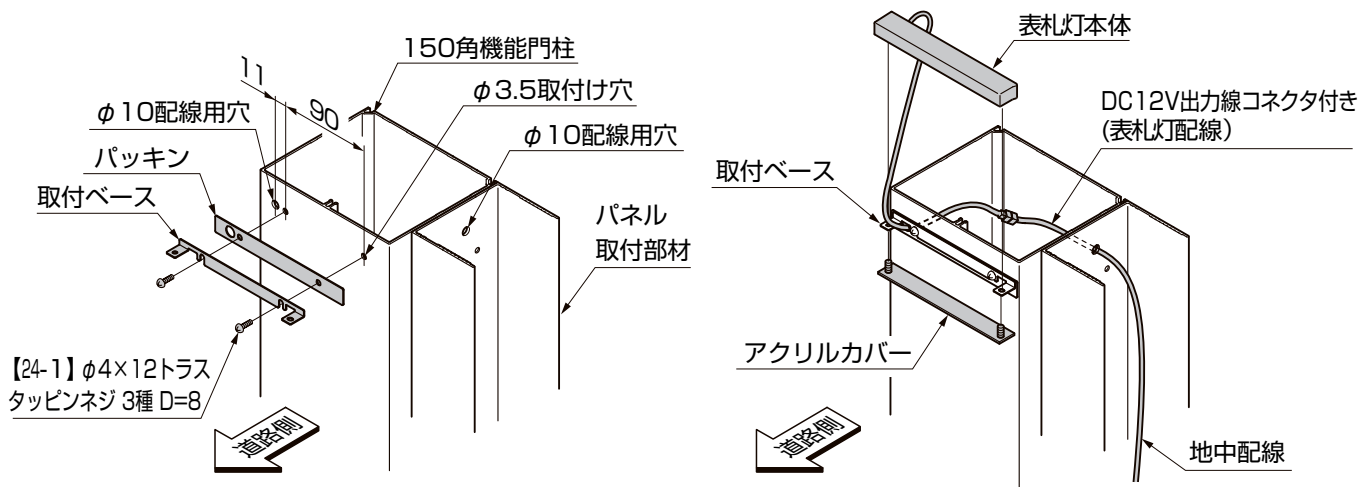
注意

●本作業はポスト用の切欠き穴から、手を入れて作業を行います。ケガをしないように注意してください。



補足

●表札灯本体、取付ベース、アクリルカバーは、仮組付けしてあります。取付けの際に各部品を外してください。



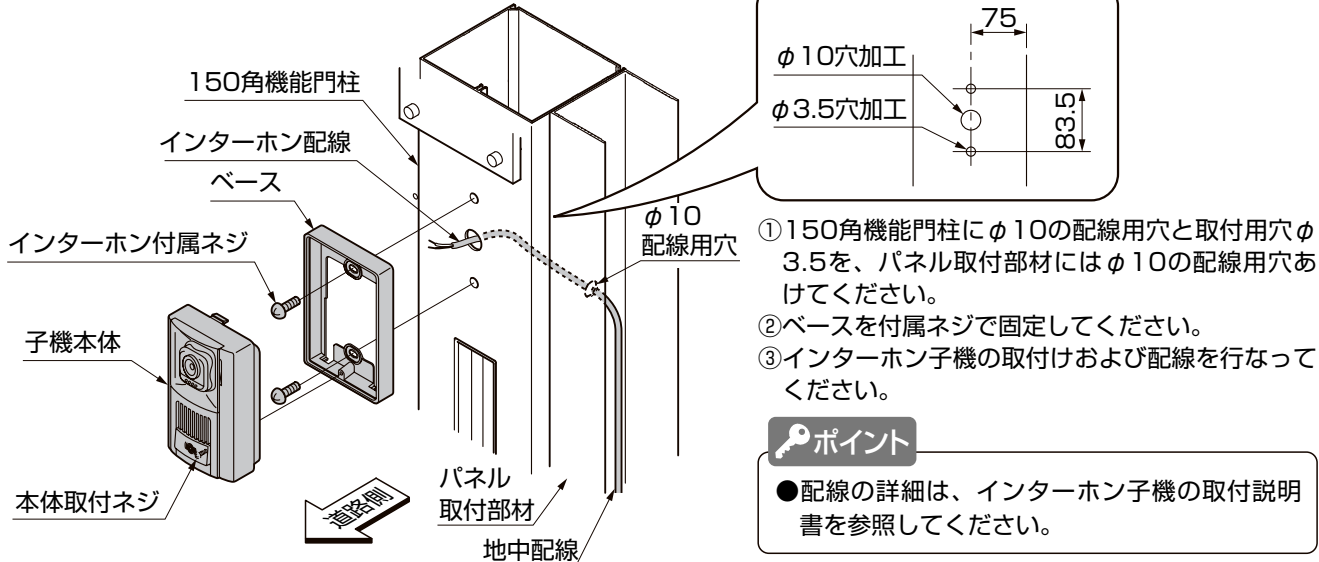
- ① 150角機能門柱にφ3.5の取付け穴とφ10の配線用穴を、パネル取付部材にはφ10の配線用穴を加工します。
- ② パッキンのはく離テープをはがし、150角機能門柱に加工した穴に合わせて貼付けます。
- ③ 表札灯のアクリルカバーを外し、取付ベースを150角機能門柱に【24-1】で固定してください。



ポイント

- アクリルカバーの固定ネジは強く締め付けしないでください。アクリルカバーが破損します。
 - 接続しないコネクタ付き配線は防水テーピング処理を施してください。
- ④ 配線用穴から表札灯本体の配線を通し、地中配線と接続してください。
 - ⑤ 表札灯本体とアクリルカバーを取付ベースにアクリルカバーに付いているネジで共締めしてください。

(5) インターホン (面付) の取付け



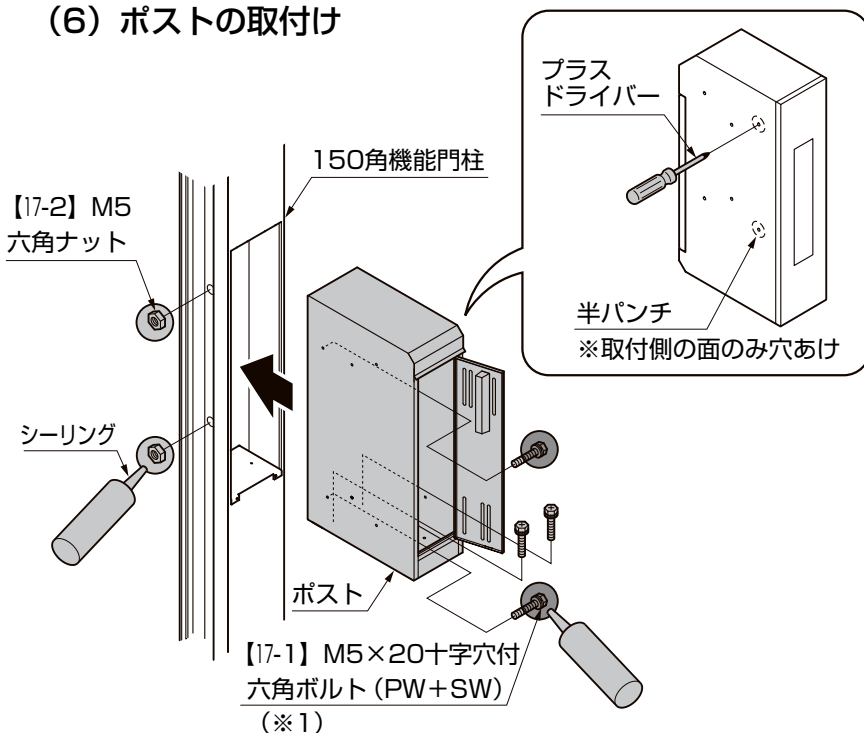
- ① 150角機能門柱にφ10の配線用穴と取付用穴φ3.5を、パネル取付部材にはφ10の配線用穴あけてください。
- ② ベースを付属ネジで固定してください。
- ③ インターホン子機の取付けおよび配線を行なってください。



ポイント

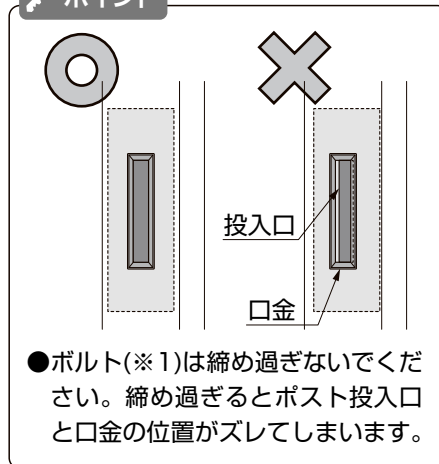
●配線の詳細は、インターホン子機の取付説明書を参照してください。

(6) ポストの取付け



- ①ポストの半パンチにプラスドライバーをあて、ハンマーなどでたたいて穴をあけてください。
- ②ポストを150度機能門柱に【17-1】、【17-2】で取付けてください。

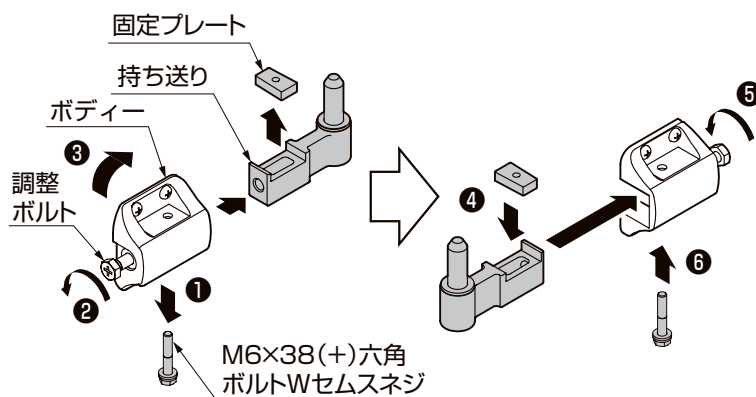
ポイント



- ③指定の箇所にシリングしてください。

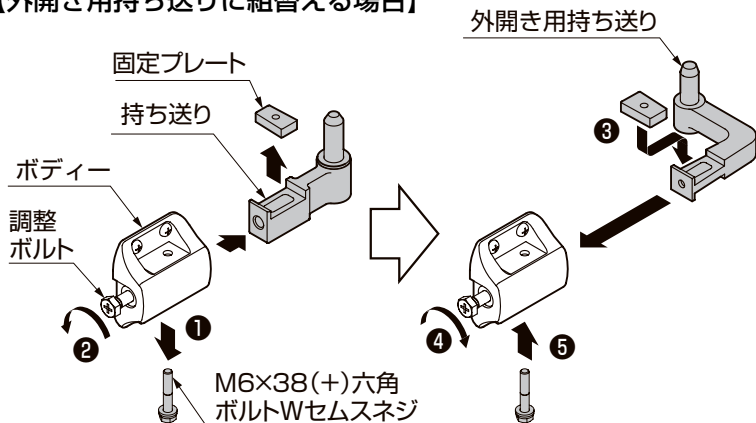
(7) 調整金具の組替え ※調整金具ピースカバーの場合、調整金具切り欠きカバーの取り付けは不要です。組替え手順のみ参照してください。

【片開き、左勝手に組替える場合】



- ①「M6×38 (+) 六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
- ②調整ボルトをゆるめて、持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③ボディの向きを変えてください。
- ④固定プレートを持ち送りに取付け、ボディに挿入してください。
- ⑤調整ボルトを締めてください。
- ⑥持ち送りを調整ボルトと「M6×38 (+) 六角ボルトWセムスネジ」で固定してください。

【外開き用持ち送りに組替える場合】



- ①「M6×38 (+) 六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
- ②調整ボルトをゆるめて、持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③固定プレートを外開き用持ち送りに取付け、ボディに挿入してください。
- ④調整ボルトを締めてください。
- ⑤持ち送りを調整ボルトと「M6×38 (+) 六角ボルトWセムスネジ」で固定してください。

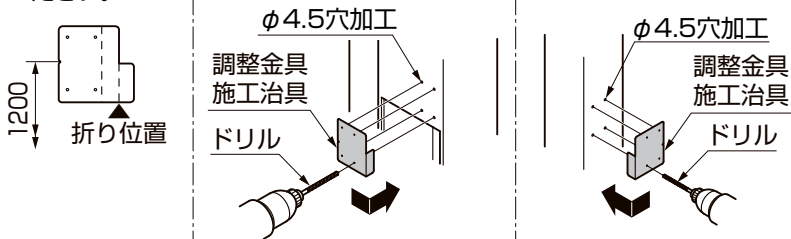
1. (つづき)

1-3 つづき

(8) 調整金具の取付け

ポイント

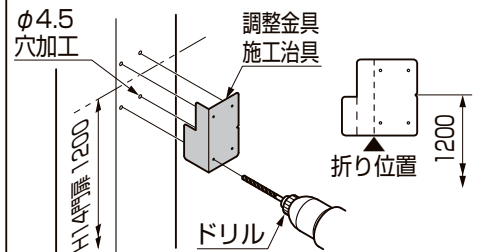
●調整金具施工治具は図の折り位置で折って、柱の角にあてて使用してください。



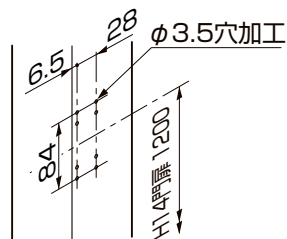
ポイント

【調整金具ピースカバー

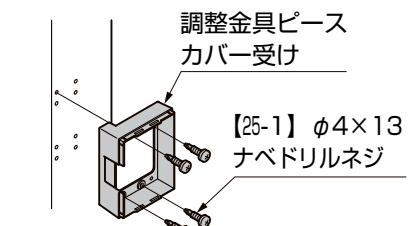
オプションを取付ける場合】



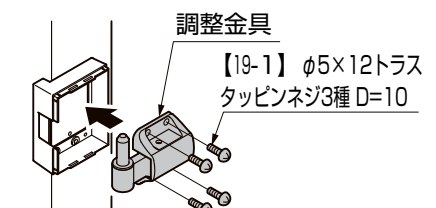
①柱に調整金具施工治具をあてケガキ、ドリルで穴加工してください。



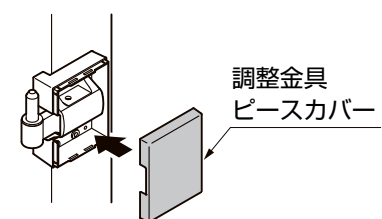
②門柱にφ3.5の穴加工をしてください。



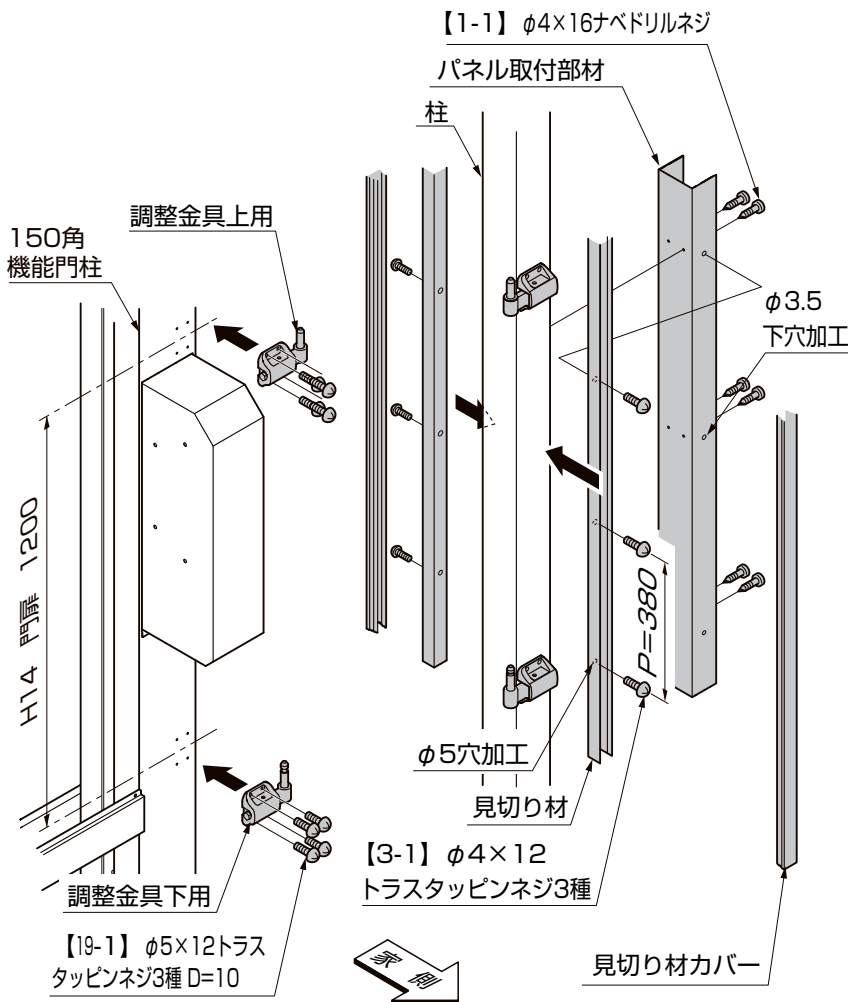
③調整金具ピースカバー受けを柱に【25-1】で取付けてください。



④調整金具を柱に【19-1】で取付けてください。



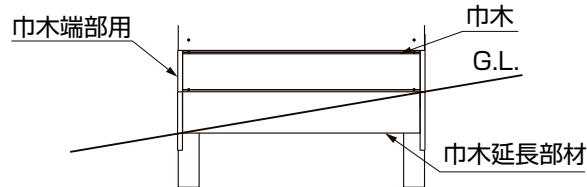
⑤調整金具ピースカバーを調整金具ピースカバー受けにはめ込んでください。



- ①柱に調整金具施工治具をあてケガキ、ドリルで穴加工してください。
- ②調整金具を柱に【19-1】で取付けてください。
- ③パネル取付部材を柱に【1-1】で取付けてください。
- ④見切り材にφ5の穴加工をしてください。
- ⑤パネル取付部材にφ3.5の下穴をあけて見切り材を【3-1】で取付けてください。
- ⑥見切り材カバーを見切り材にはめ込んでください。

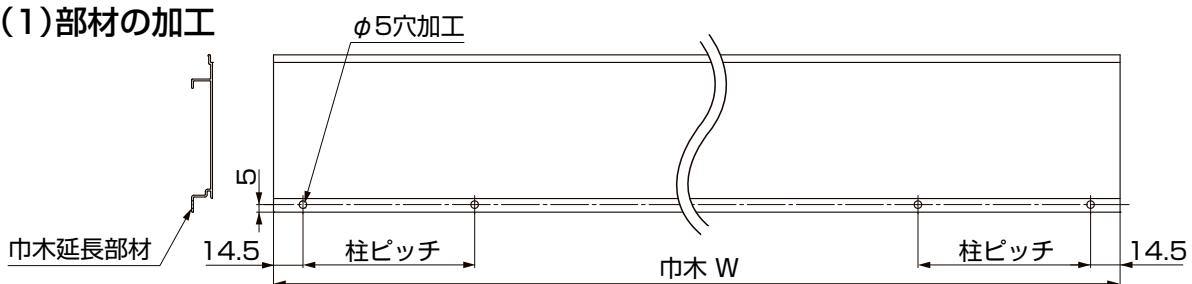
1-4 巾木延長部材の取付け **オプション**

 **補足**



- 巾木延長部材は傾斜地に施工する際に取付ける部品です。
- 150角門柱には取付けできません。

(1) 部材の加工

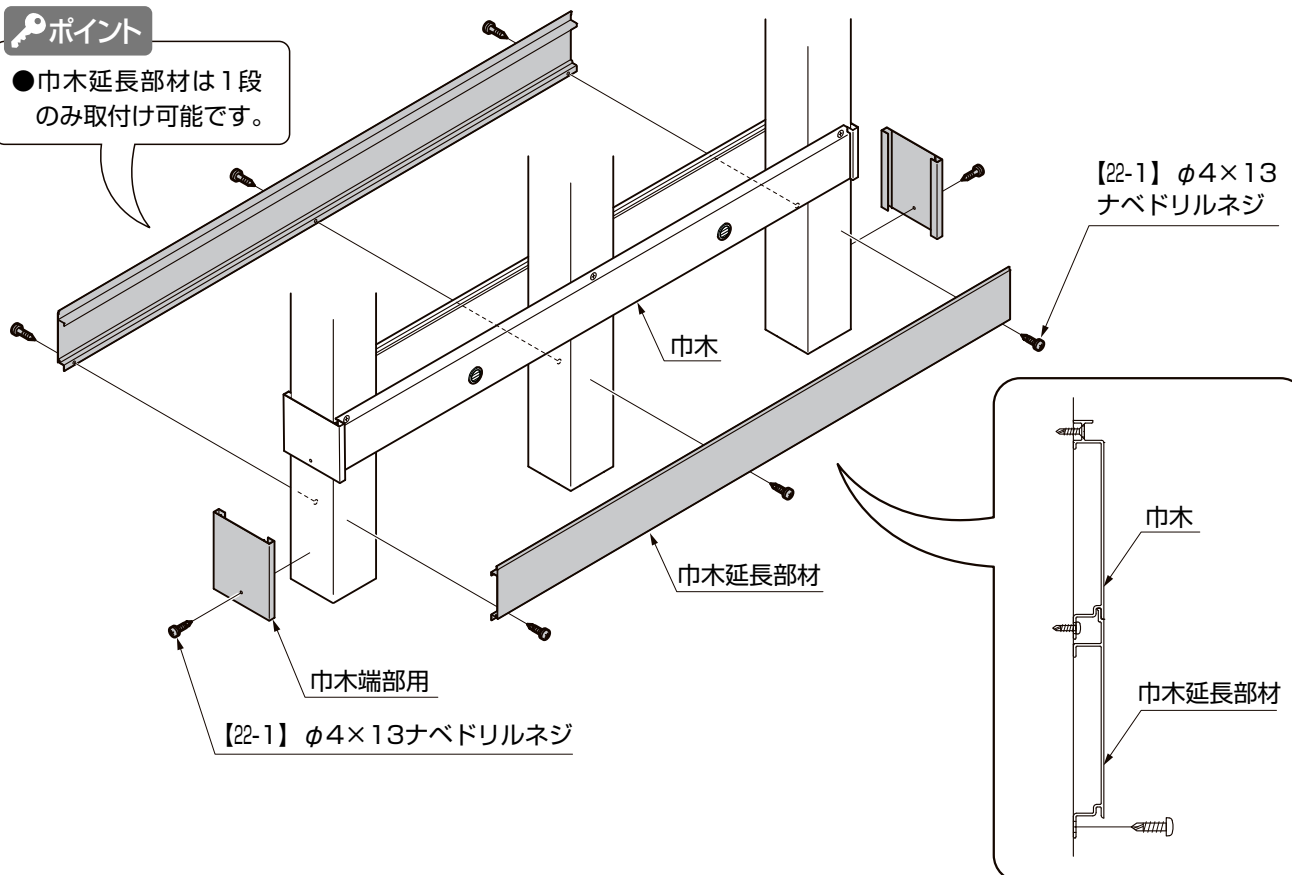


- ①巾木のWサイズに合わせて、巾木延長部材を切断し、φ5の穴加工をしてください。

(2) 巾木延長部材の取付け

 **ポイント**

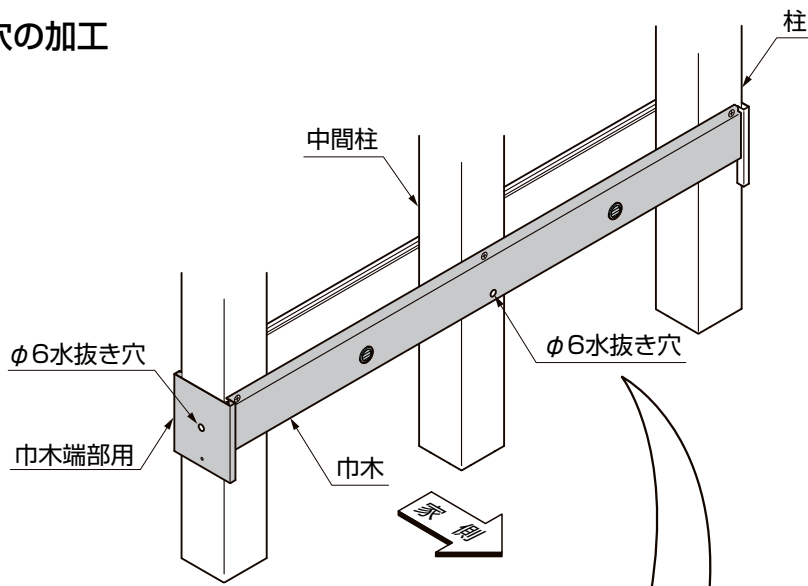
- 巾木延長部材は1段のみ取付け可能です。



- ①巾木延長部材の上側を巾木の下側に差し込み、本体ユニットに【22-1】で取付けてください。

1. (つづき)

1-5 水抜き穴の加工



[水抜き穴の加工位置]

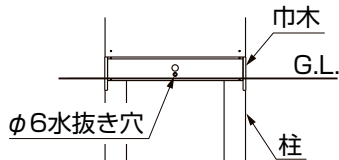


図11-3 W05の場合

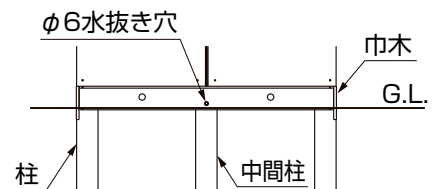


図11-4 W10の場合

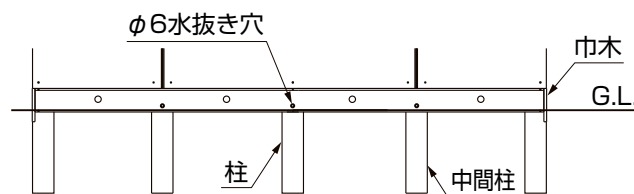


図11-5 W20の場合

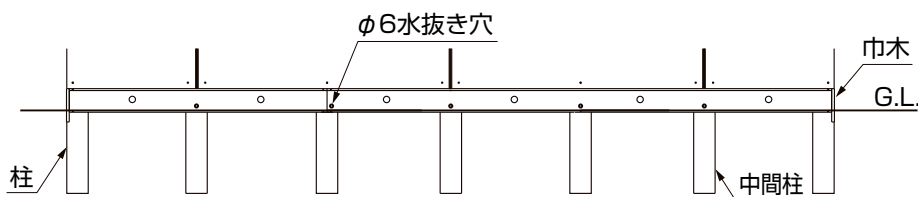


図11-6 W30の場合

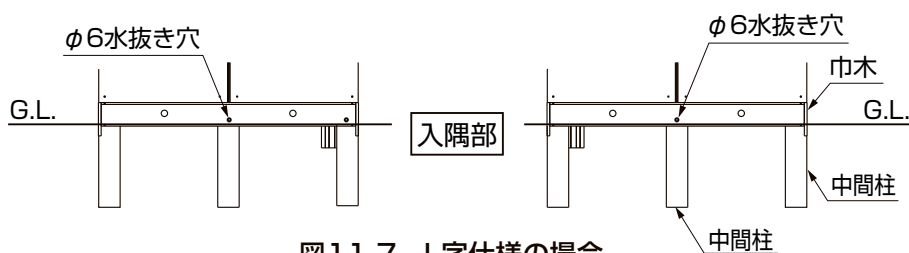
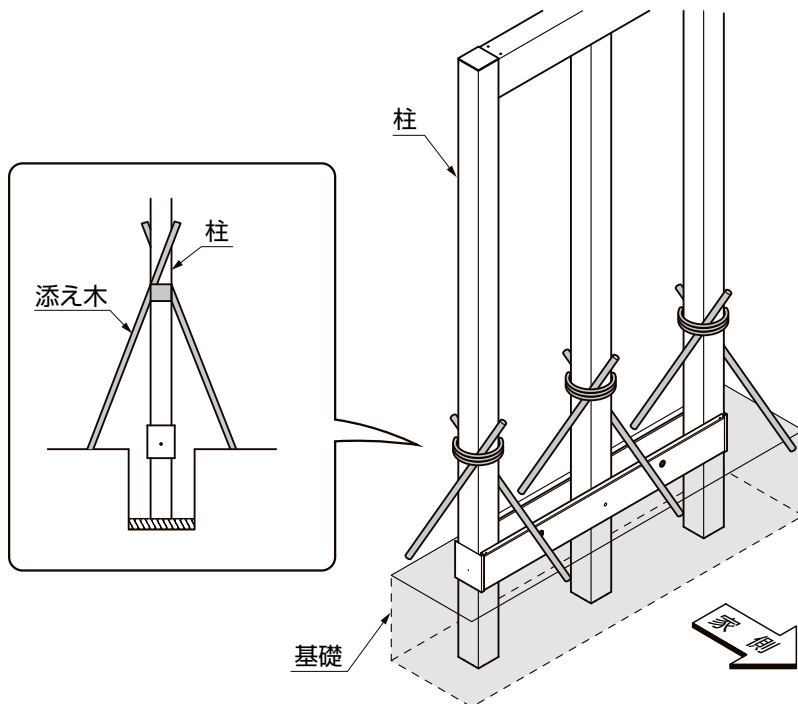


図11-7 L字仕様の場合

①両小口面の巾木端部用と家側の巾木にφ6の水抜き穴をあけてください。水抜き穴加工は、かならず柱まで貫通させてください。

1-6 柱の建込み、基礎の施工

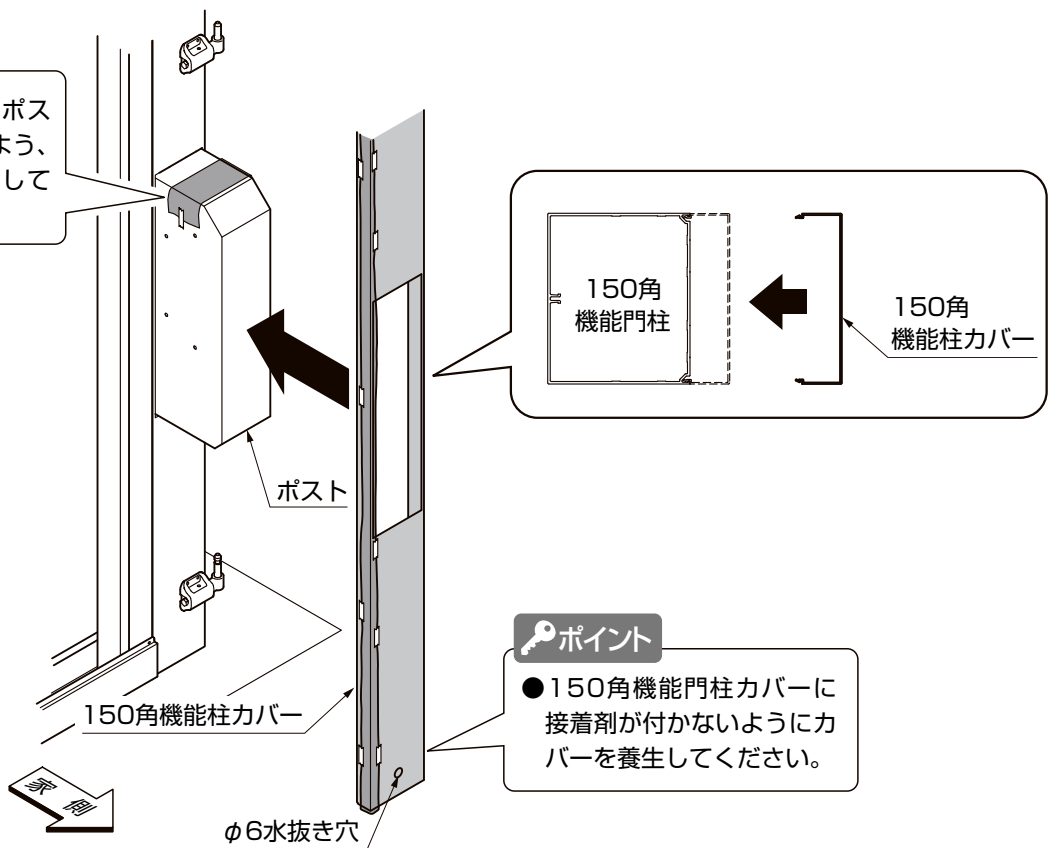


- ①柱を基礎穴に建込み、添え木などで仮固定してください。
- ②基礎を施工してください。

1-7 150角機能柱カバーの取付け

ポイント

- カバー挿入の際、ポストをキズ付けないよう、ポスト上面を養生してください。

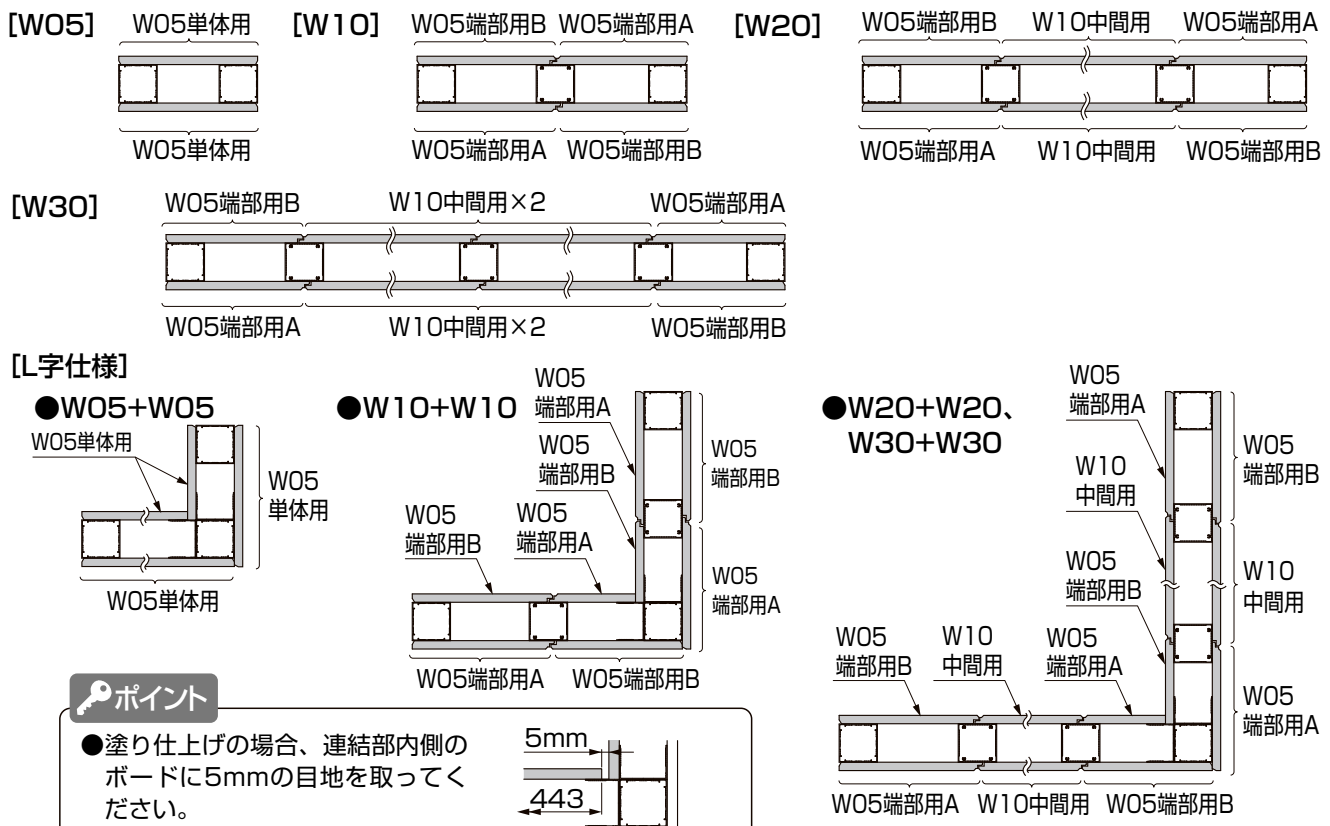


ポイント

- 150角機能門柱カバーに接着剤が付かないようにカバーを養生してください。

- ①150角機能柱カバーのセンターG.L.付近にφ6穴の水抜き穴の加工をしてください。
- ②基礎の養生が完了したら、150角機能柱カバーを150角機能門柱にはめ込んでください。

2. 下地ボードの配置確認



①下地ボードの配置を確認してください。

3. 下地ボードの取付け

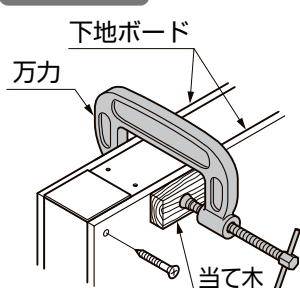
3-1 標準仕様の場合 ※壁付ポストを取付ける場合は 3-3 も参照してください。

ポイント



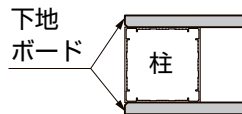
●結露が予測される場所に設置する場合は、柱間に結露防止剤を均等に入れてください。

補足

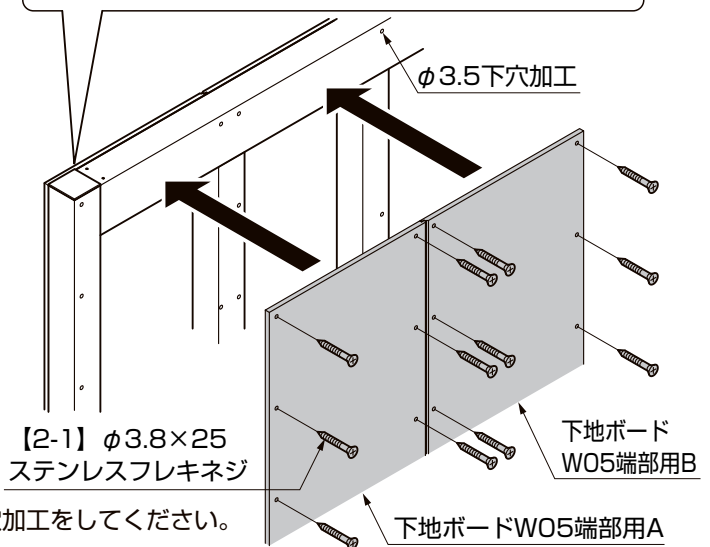


●万力などで下地ボードを仮固定してください。その際、万力を強く締めると下地ボードが割れるおそれがあるのでご注意ください。

ポイント



●柱と下地ボードになるべく段差ができないように取付けてください。

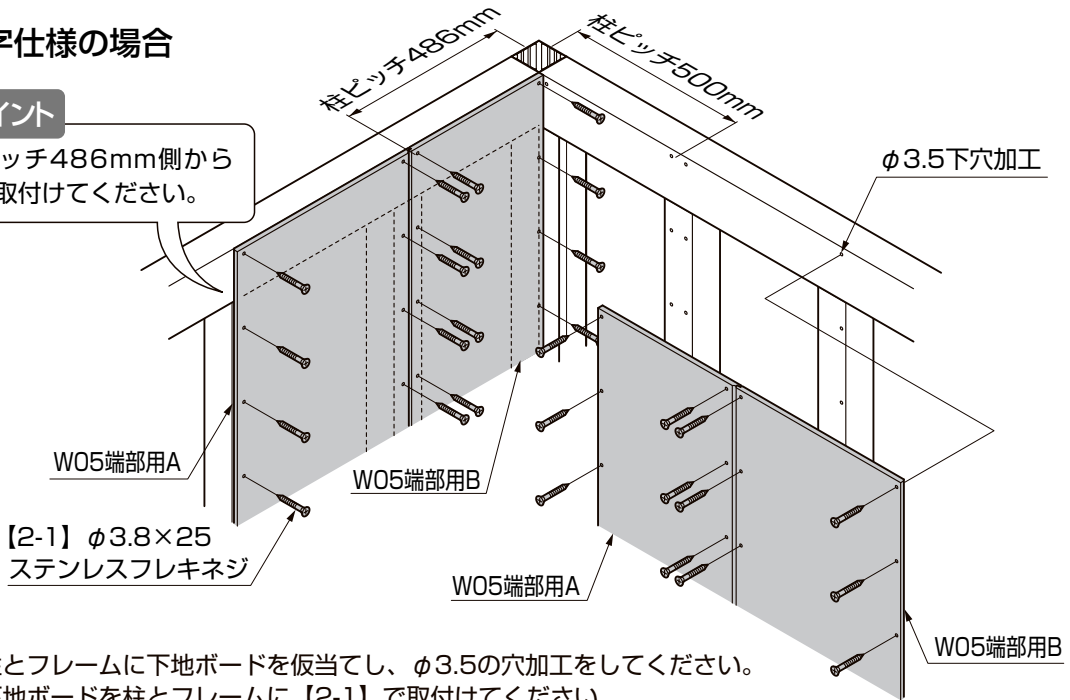


- ①柱とフレームに下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ②下地ボードを柱に [2-1] で取付けてください。

3-2 L字仕様の場合

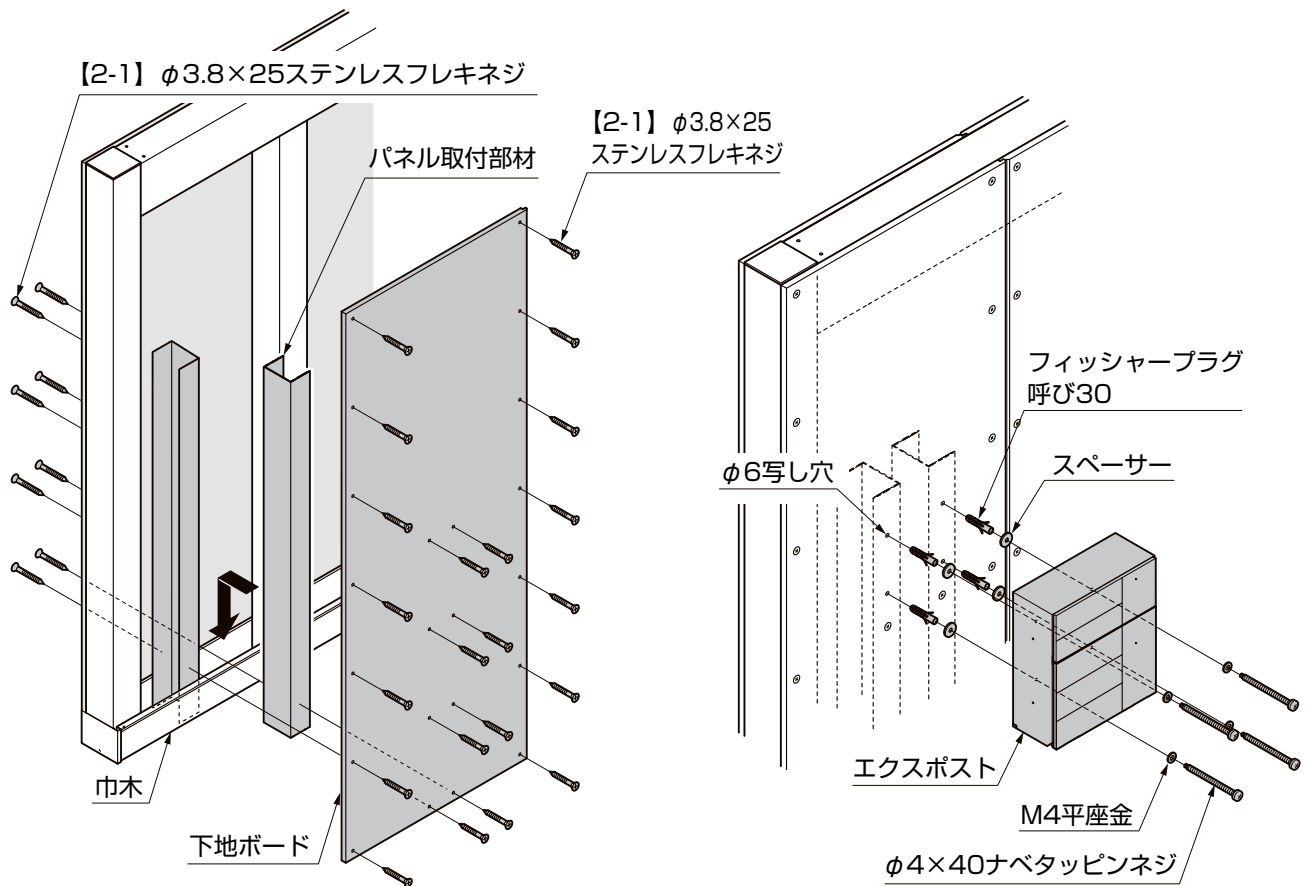
ポイント

- 柱ピッチ486mm側から先に取付けてください。



- ①柱とフレームに下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ②下地ボードを柱とフレームに【2-1】で取付けてください。

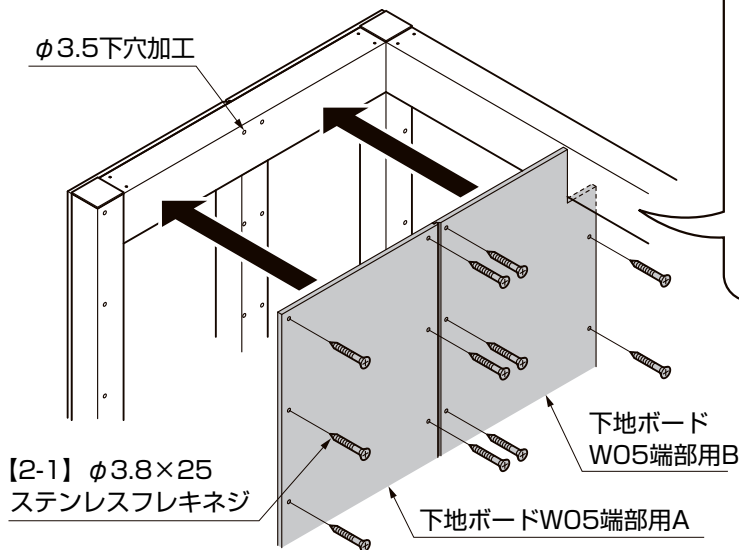
3-3 壁付ポストを取付ける場合



- ①巾木の上にパネル取付部材を差込み【2-1】で取付けてください。
- ②ポストを下地ボードに仮当てし、φ6の穴加工をしてください。
- ③ポストを下地ボードに「M4平座金」と「φ4×40ナベタッピンネジ」で取付けてください。

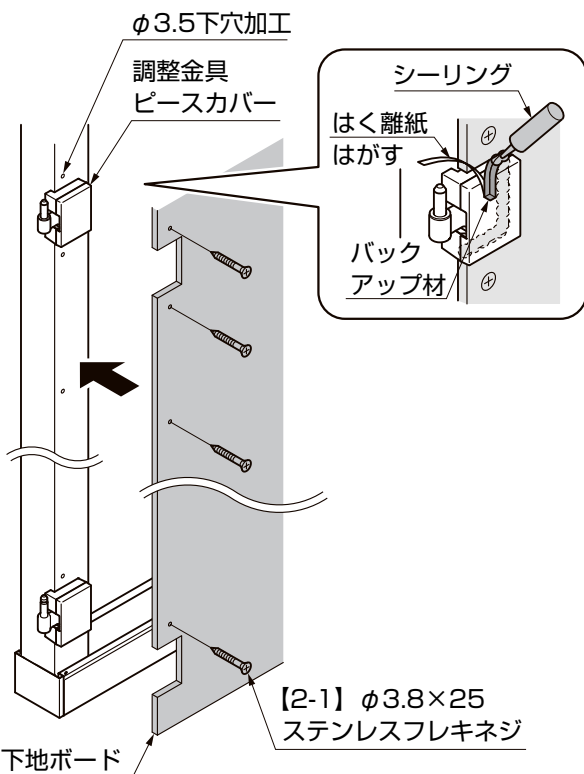
3. (つづき)

3-4 フレーム接続の場合



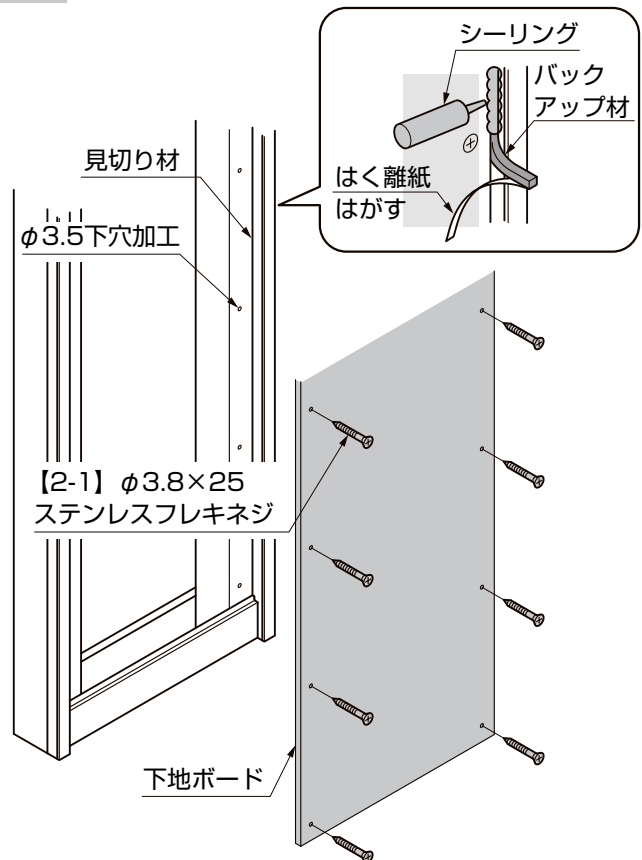
- ① 柱とフレームに下地ボードを仮当てし、 $\phi 3.5$ の穴加工をしてください。
- ② 下地ボードを柱とフレームに【2-1】で取付けてください。
- ③ 下地ボードとフレームのすき間にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

3-5 門扉納まり (調整金具ピースカバー納まり) 場合



- ① 柱とフレームに下地ボードを仮当てし、 $\phi 3.5$ の穴加工をしてください。
- ② 下地ボードを柱とフレームに【2-1】で取付けてください。
- ③ 下地ボードと調整金具ピースカバーのすき間にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

3-6 見切り材納まりの場合



- ① 柱とフレームに下地ボードを仮当てし、 $\phi 3.5$ の穴加工をしてください。
- ② 下地ボードを柱とフレームに【2-1】で取付けてください。
- ③ 下地ボードと見切り材のすき間にバックアップ材を、はく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

3-7 Gルーフ フリータイプに取付ける場合

(1) 見切り材の取付け

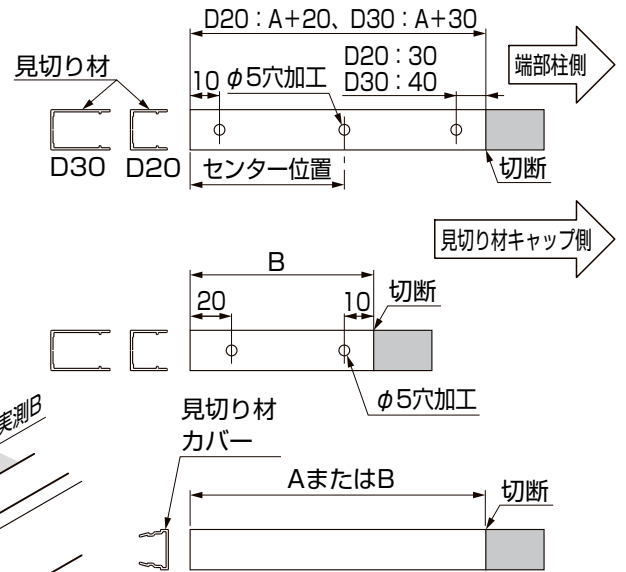
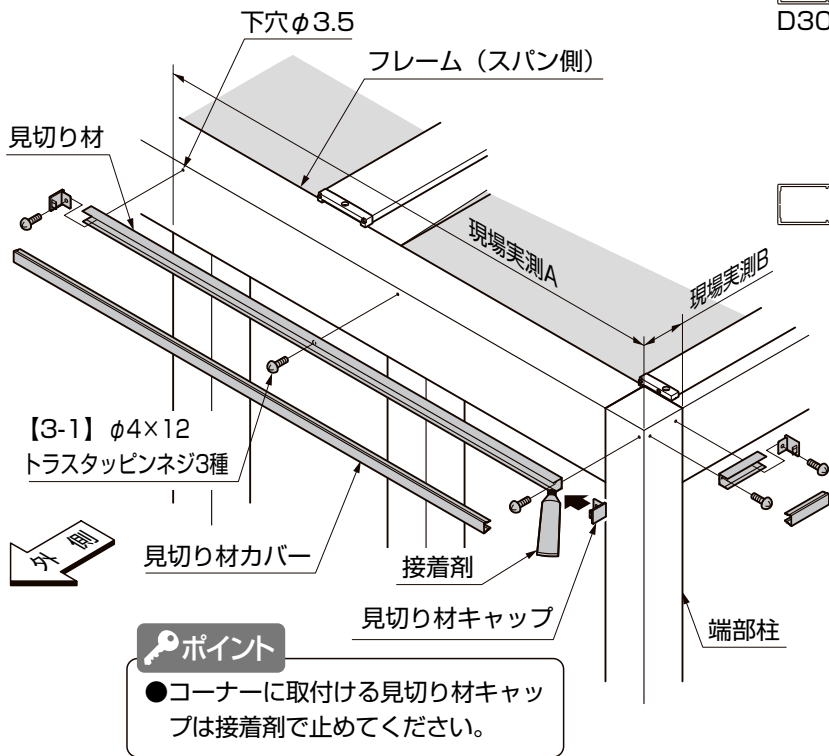
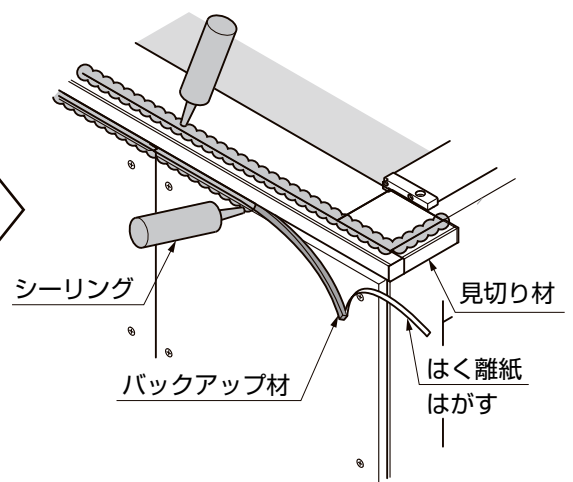
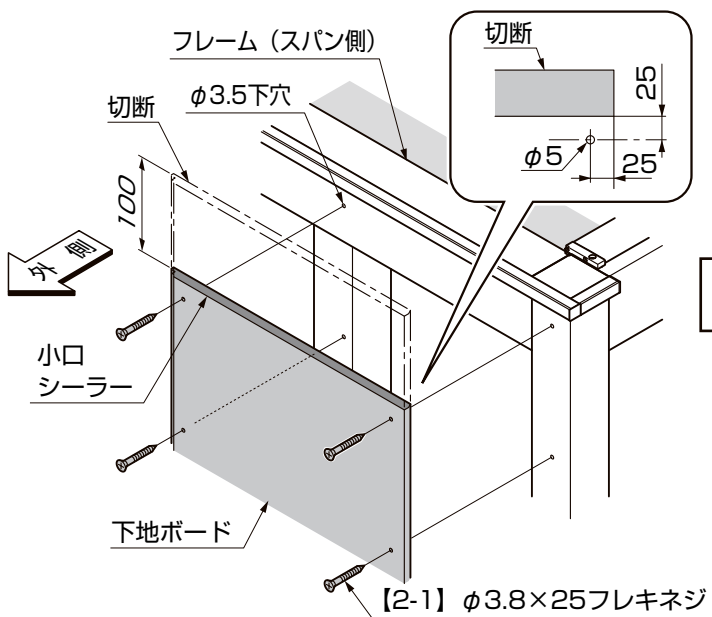


図3-1 加工図

- ①見切り材と見切り材カバーを加工してください。
- ②フレームにφ3.5の下穴をあけ、見切り材、見切り材キャップを【3-1】で取付けてください。
- ③見切り材カバーを見切り材にはめ込んでください。

(2) 下地ボードの取付け：外側



- ①下地ボードを加工してください。
- ②切断面に小口シーラーを塗布してください。
- ③フレームに下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ④下地ボードをフレームに【2-1】で取付けてください。
- ⑤見切り材と下地ボードのすき間にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。
- ⑥見切り材とフレームの継ぎ目をシーリングしてください。

3. (つづき)

3-7 つづき

(3) 下地ボードの取付け：スパン側の屋根下

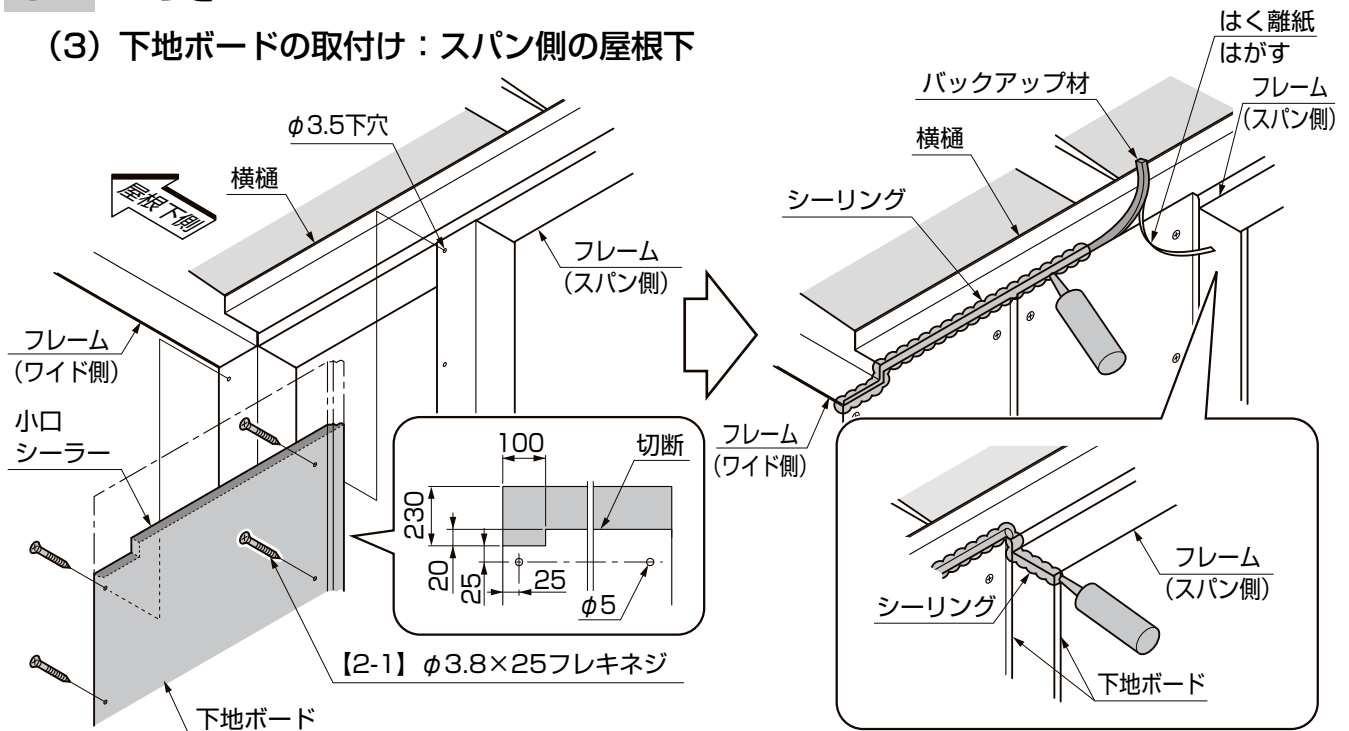


図3-1 天井材なしの場合

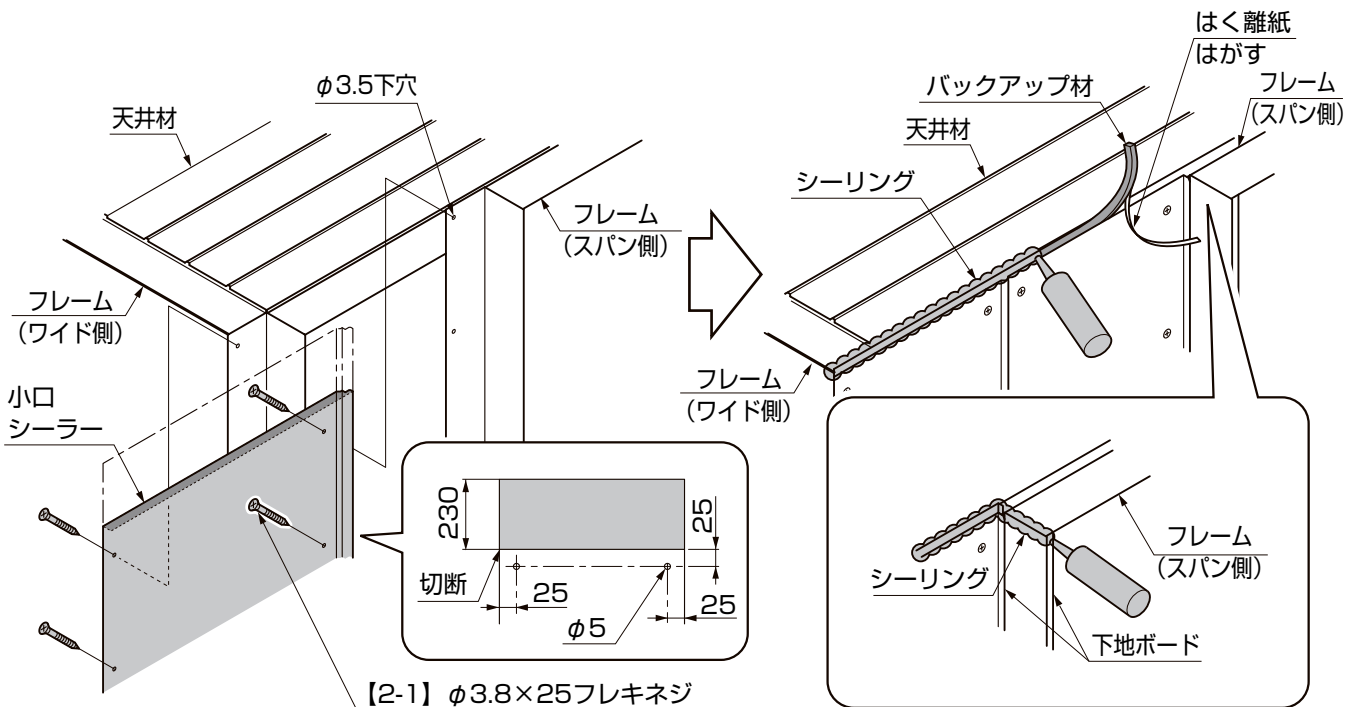


図3-2 天井材付きの場合

- ①下地ボードを加工してください。
- ②切断面に小口シーラーを塗布してください。
- ③柱に下地ボードを仮当てし、 $\phi 3.5$ の穴加工をしてください。
- ④下地ボードを柱に【2-1】で取付けてください。
- ⑤横樋と下地ボードのすき間にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

(4) 下地ボードの取付け：ワイド側の屋根下

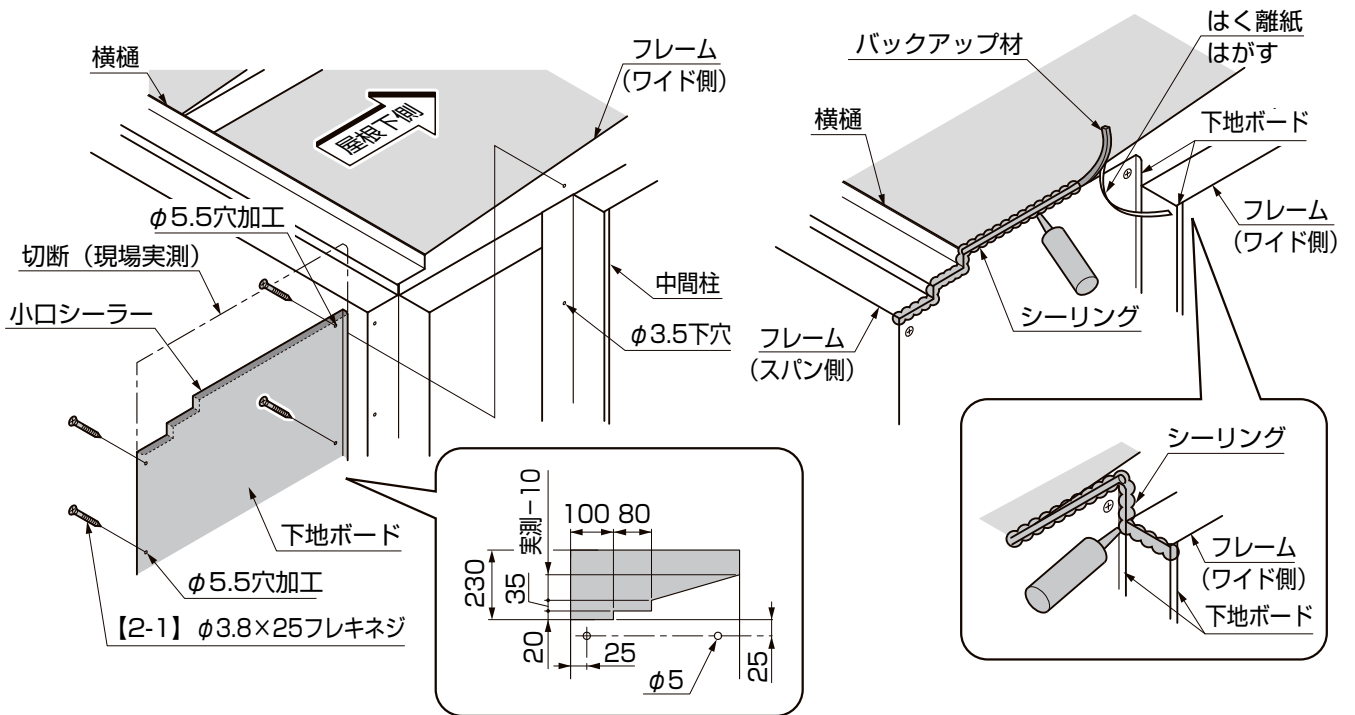


図3-3 天井材なしの場合

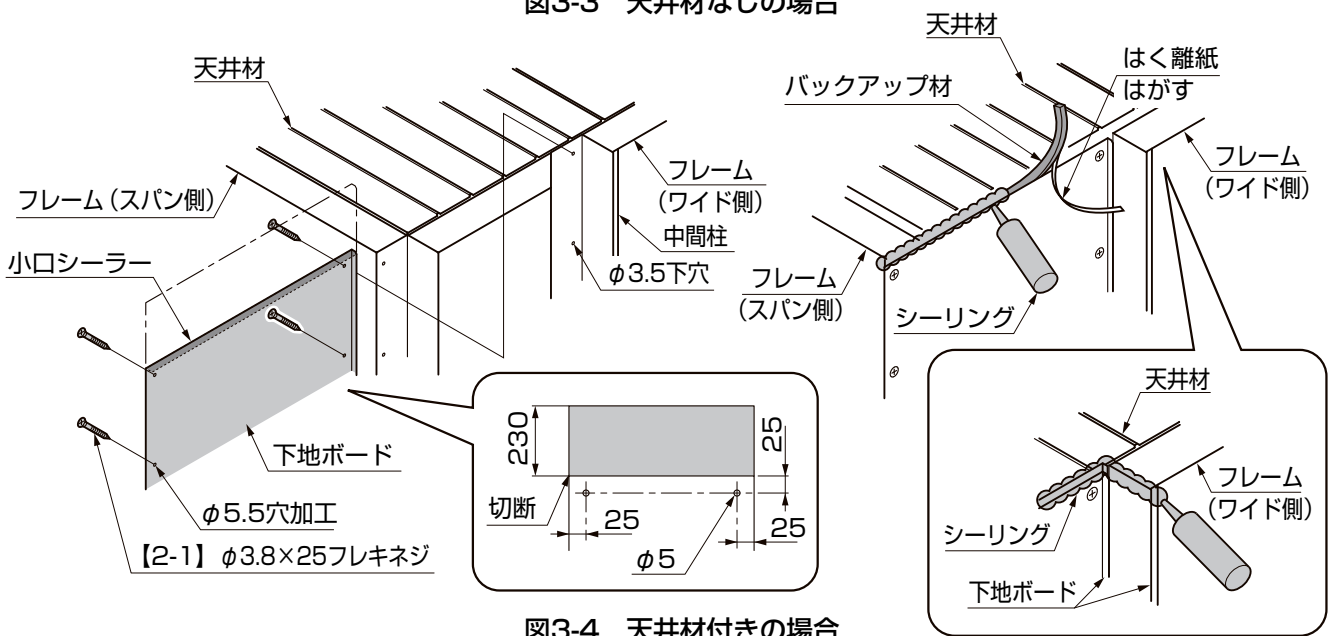


図3-4 天井材付きの場合

- ①下地ボードを現場実測にて加工してください。
- ②切断面に小口シーラーを塗布してください。
- ③柱、フレームに下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ④下地ボードを柱、フレームに【2-1】で取付けてください。
- ⑤下地ボードの上にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

3. (つづき)

3-8 Gルーフ カールタイプに取付ける場合

(1) 下地ボードの取付け：外側

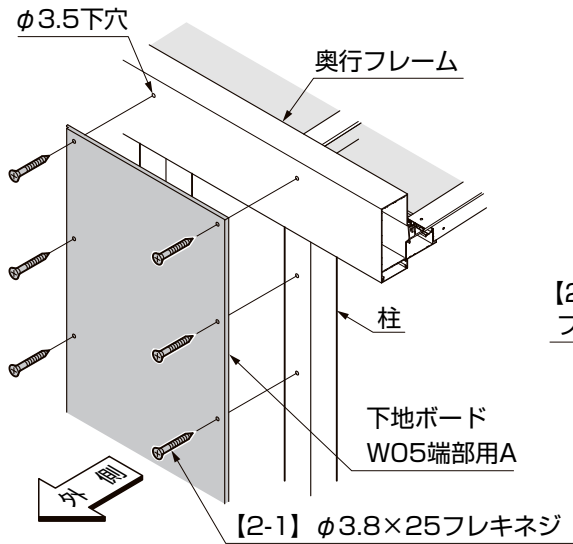


図3-5 奥行フレームに取付けの場合

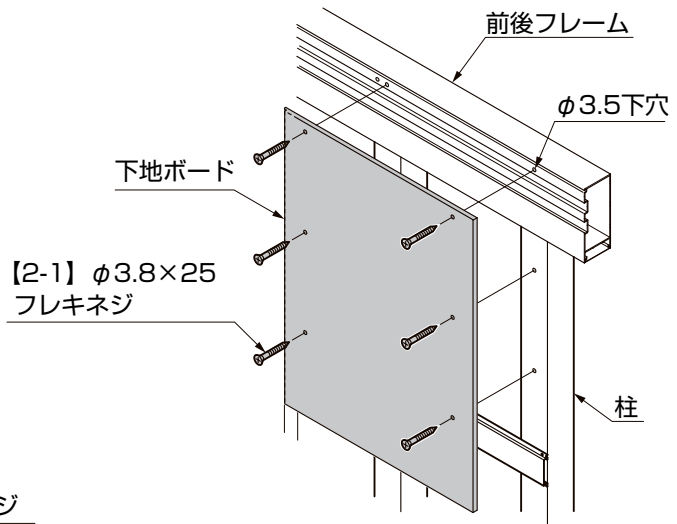


図3-6 前後フレームに取付けの場合

- ① 柱と奥行フレームに下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ② 下地ボードを柱に【2-1】で取付けてください。

(2) 下地ボードの取付け：奥行フレームの屋根下

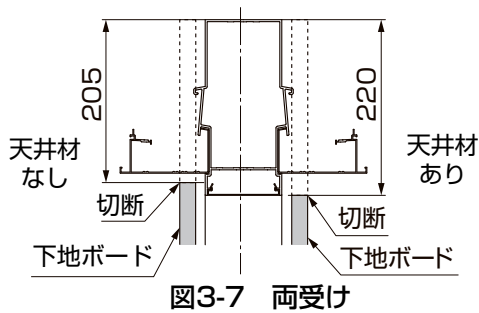


図3-7 両受け

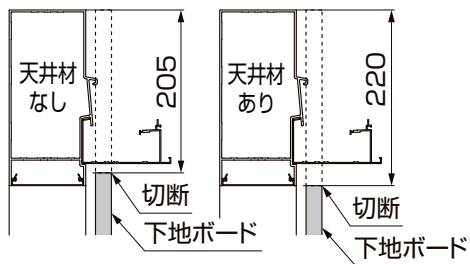


図3-8 片受け

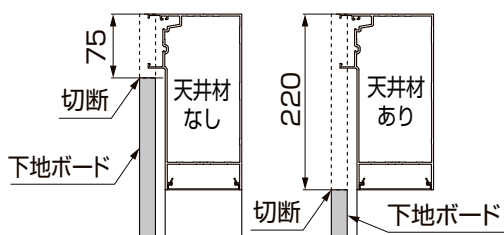
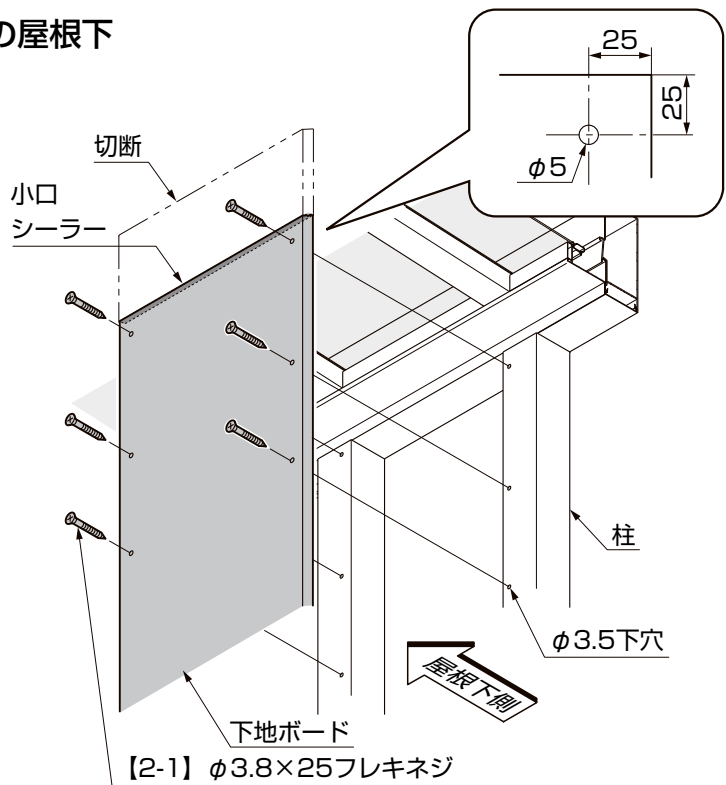


図3-9 片掛け



- ① 下地ボードを取付ける仕様に合わせて切断、穴加工をしてください。
- ② 切断面に小口シーラーを塗布してください。
- ③ 柱に下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ④ 下地ボードを柱に【2-1】で取付けてください。

(3) シーリング：奥行フレームの屋根下

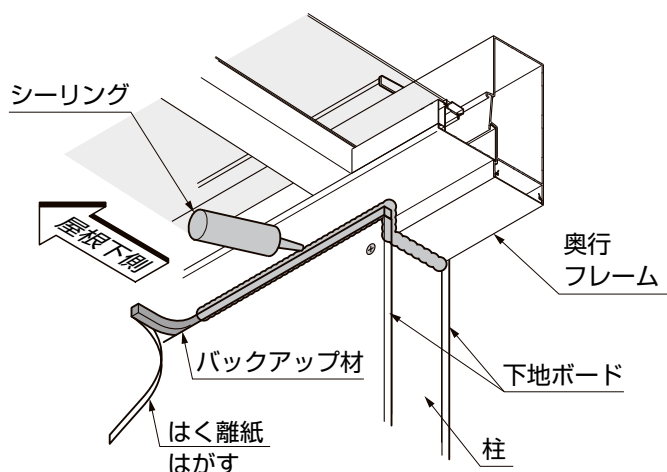


図3-10 両受け、片受け 天井材なし

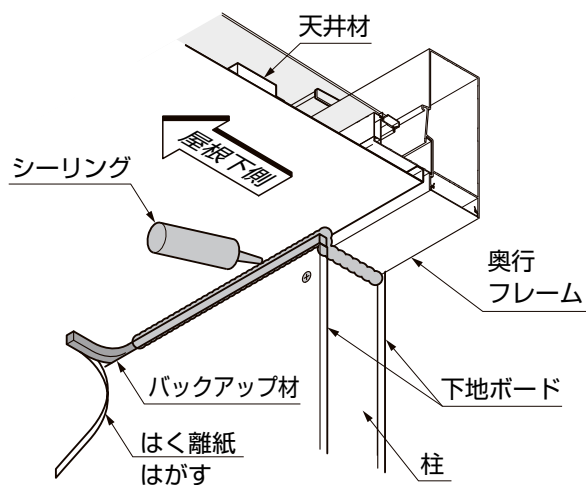


図3-11 両受け、片受け 天井材あり

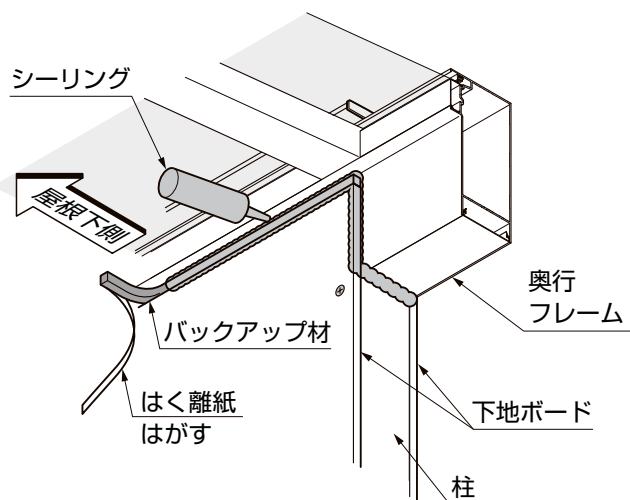


図3-12 片掛け 天井材なし

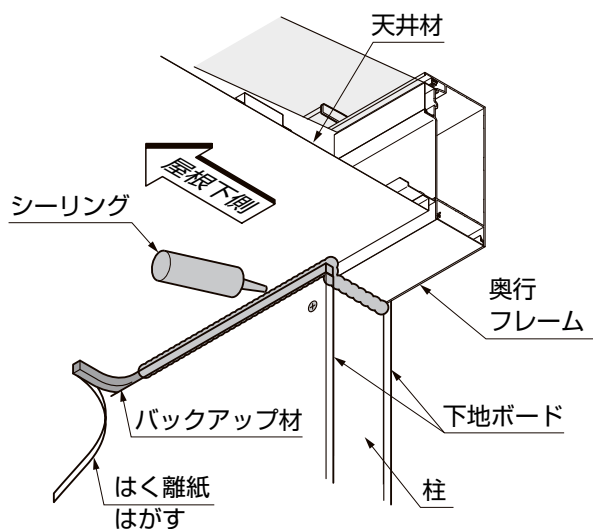
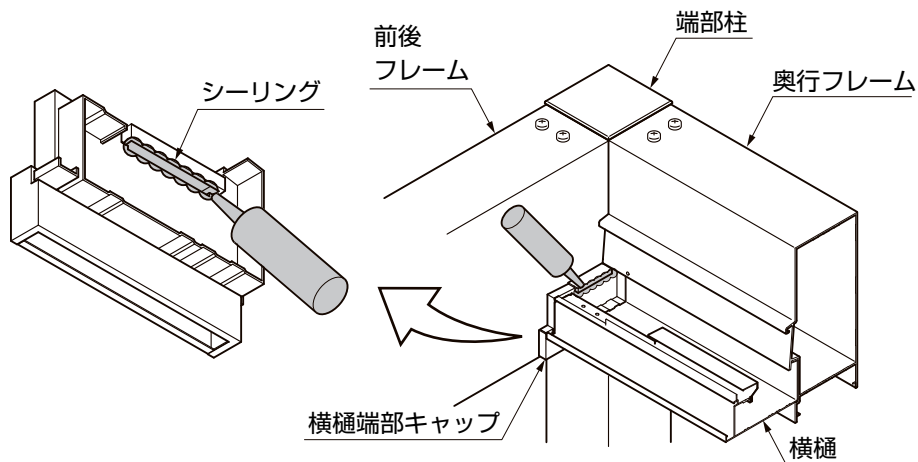


図3-13 片掛け 天井材あり

ポイント



●Gルーフ カールーフタイプで、横樋端部キャップ部分にフリーウォールが取付く場合、排水用の穴をシーリングでふさいでください。

①下地ボードのすき間にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

3. (つづき)

3-8 つづき

(4) 下地ボードの取付けとシーリング：前後フレームの屋根下

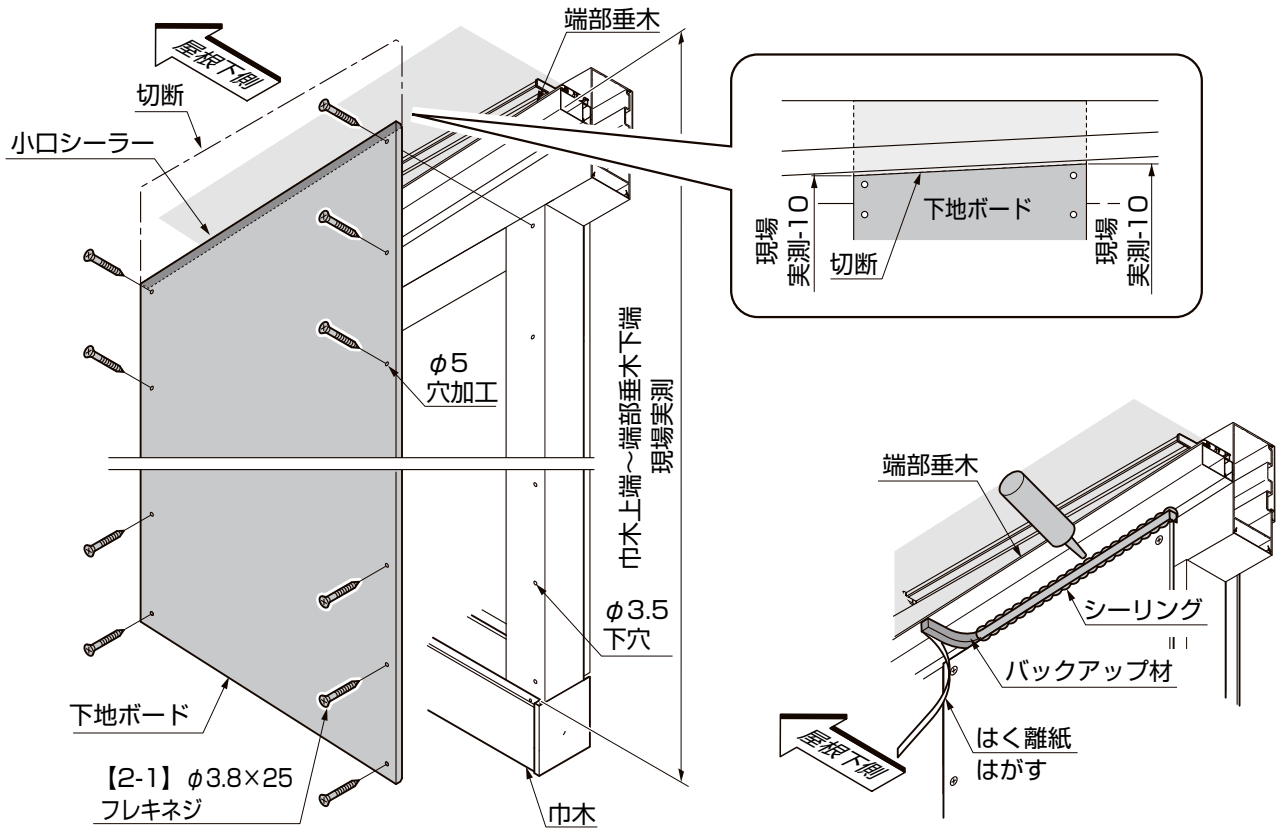


図3-14 天井材なしの場合

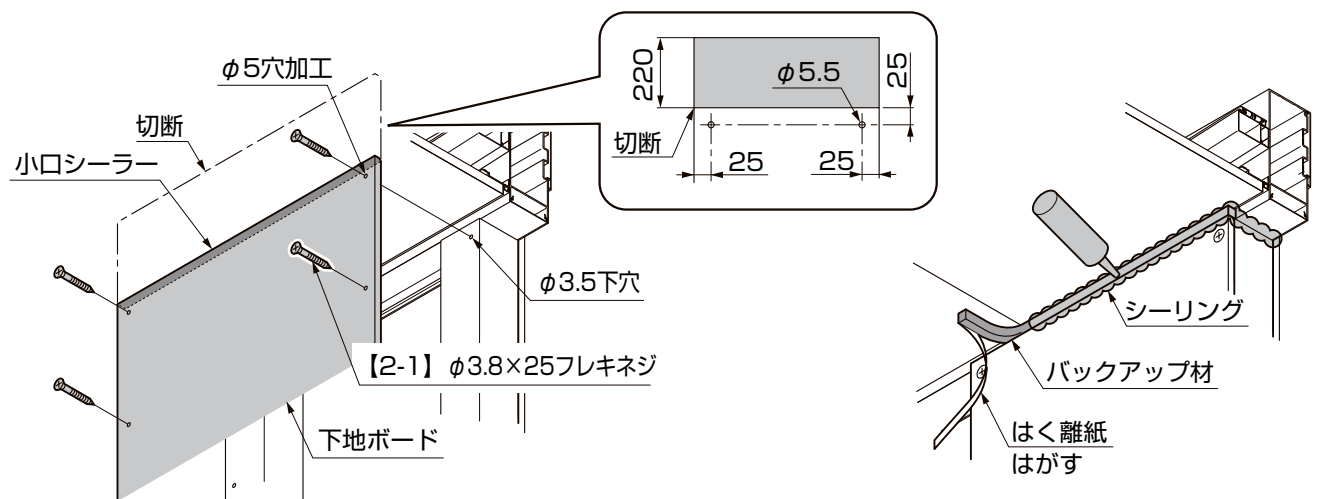
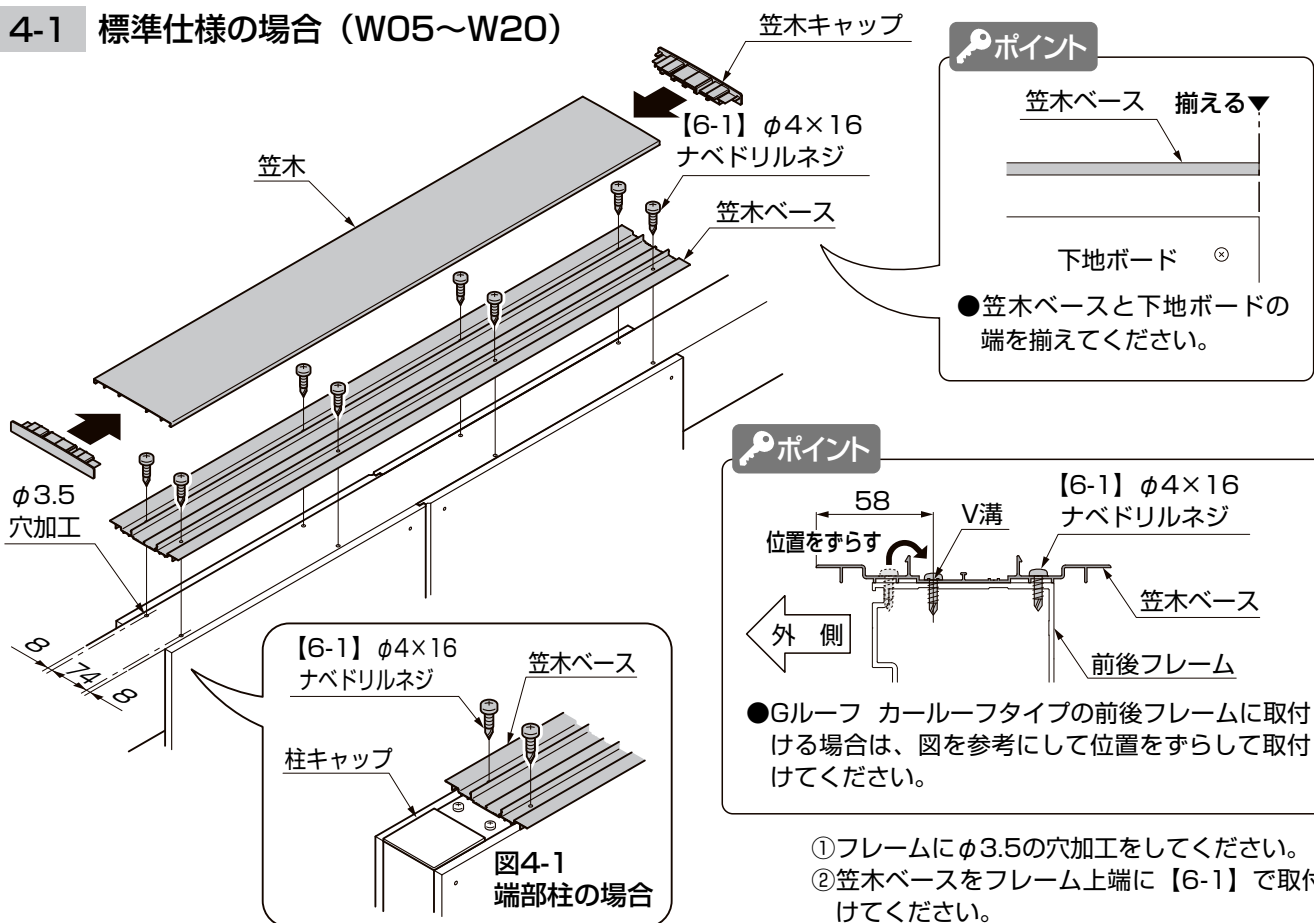


図3-15 天井材付きの場合

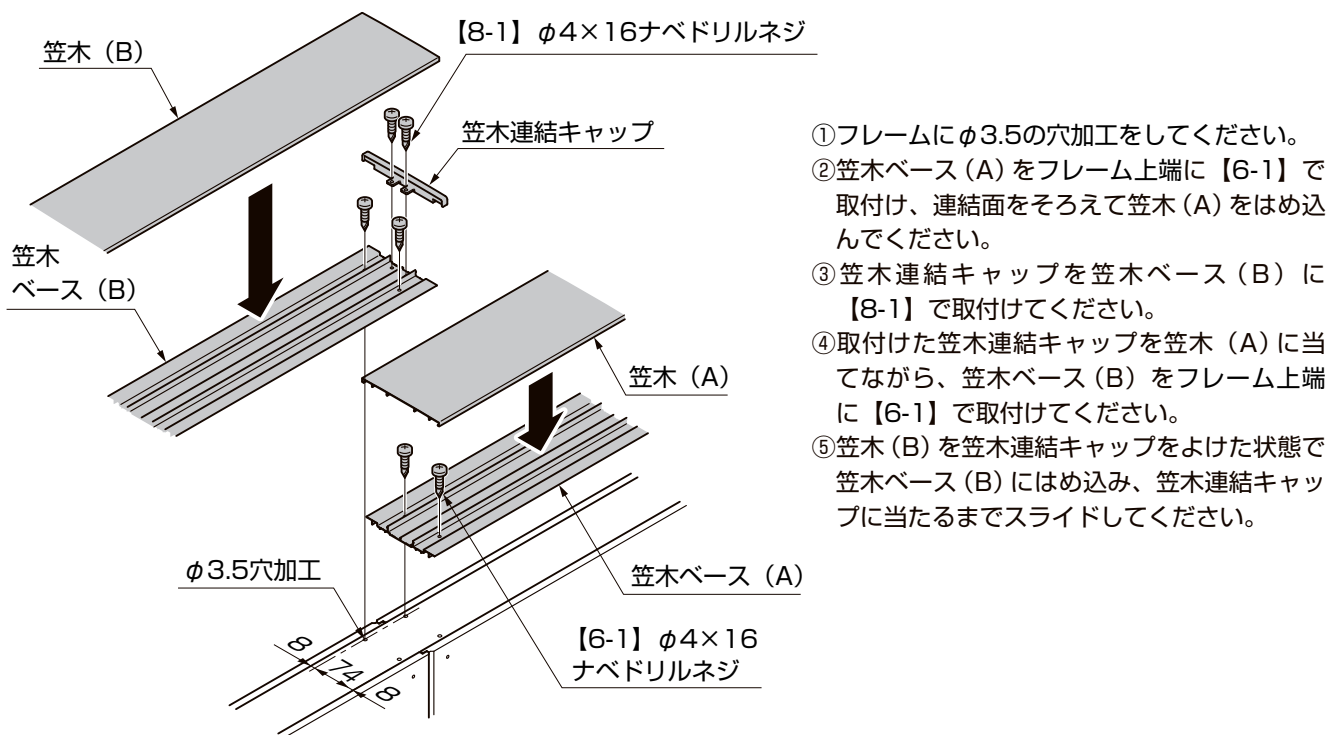
- ① 下地ボードを切断してください。
- ② 下地ボードの切断面に小口シーラーを塗布してください。
- ③ 柱と前後フレームに下地ボードを仮当てし、φ3.5の穴加工をしてください。
- ④ 下地ボードを柱に【2-1】で取付けてください。
- ⑤ 下地ボードのすき間にバックアップ材のはく離紙をはがして貼り付け、シーリングしてください。

4. 笠木の取付け

4-1 標準仕様の場合 (W05~W20)



4-2 標準仕様で笠木を連結する場合 (W30)



4. (つづき)

4-3 L字仕様の場合

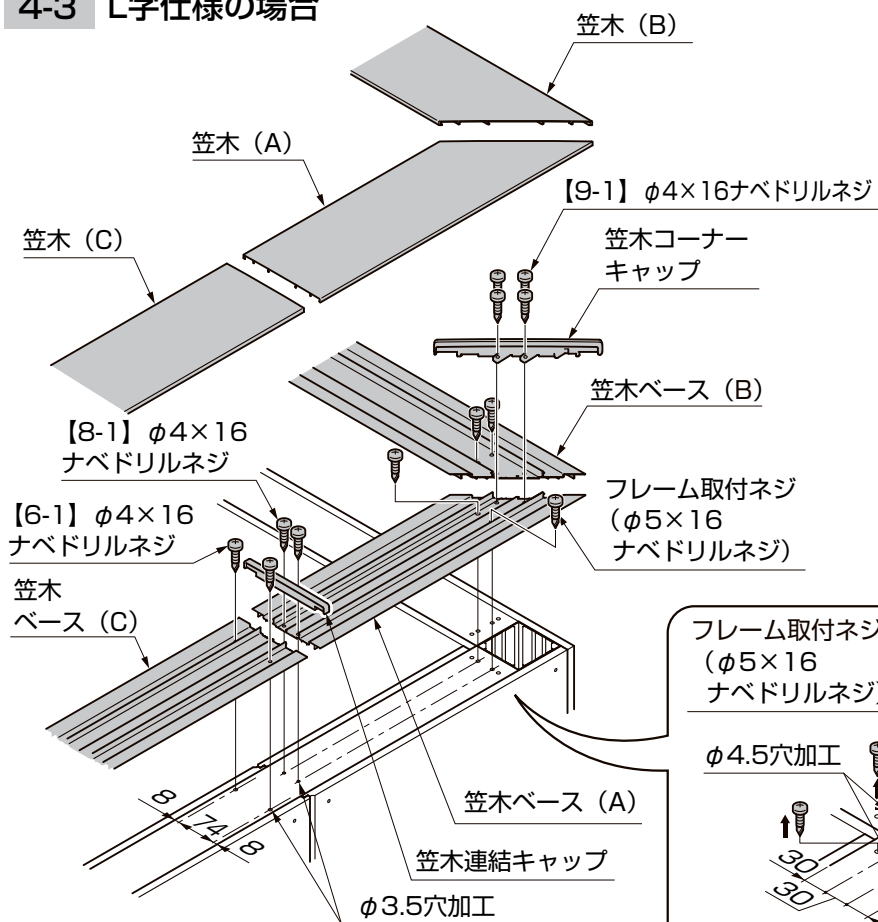


図4-3

- ①「フレーム取付ネジ」を取外してください。(図4-2参照)
- ②フレームにφ3.5とφ4.5の穴加工をしてください。(図4-2、図4-3参照)
- ③笠木コーナークャップを笠木ベースに【9-1】で取付けてください。
- ④笠木ベースをフレーム上端に【6-1】で取付けてください。
- ⑤笠木(A)、(B)をそれぞれ笠木コーナークャップをよけた状態ではめ込み、笠木コーナークャップに当たるまでスライドしてください。
- ⑥連結する場合は「4-2 標準仕様で笠木を連結する場合(W30)」を参照し、笠木(C)を連結してください。

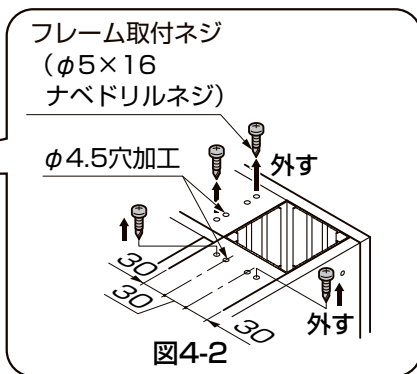
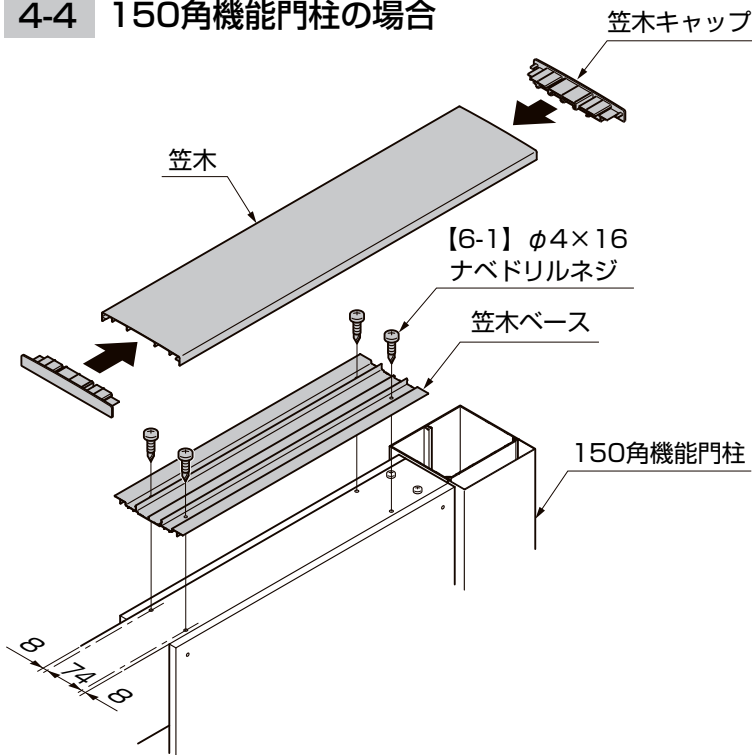
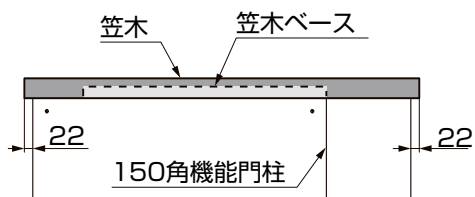


図4-2

4-4 150角機能門柱の場合



ポイント



- 笠木の端部が笠木ベースから22mm出るように笠木の位置を調整してください。

- ①フレームにφ3.5の穴加工をしてください。
- ②笠木ベースをフレーム上端に【6-1】で取付けてください。
- ③笠木を笠木ベースにはめ込んでください。
- ④笠木キャップを笠木にはめ込んでください。

8 仕上げの施工：タイル仕上げ

1. 梱包明細表

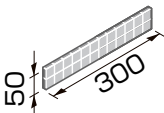
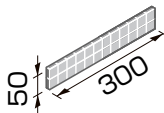
はるかベタイル形状一覧 ※寸法は目地共寸法です。(調整用平のみ実寸法)

商品名	標準平ユニット	出隅用平ユニット	小口面ユニット	調整用平
寂雅楽(さびうた)II 目地幅 縦：2mm 横：2.5mm				
細割りボーダー (標準剖面) 目地幅 縦：2mm 横：2.1mm				
サイモン 目地幅 縦：2mm 横：2.5mm				
センティア 目地幅 縦：2mm 横：2mm				設定がありません
セラヴィオR 目地幅 縦：3mm 横：3mm				
エクセンシア 目地幅 縦：2mm 横：2mm				

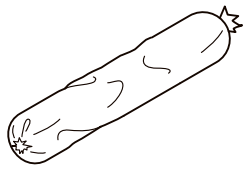
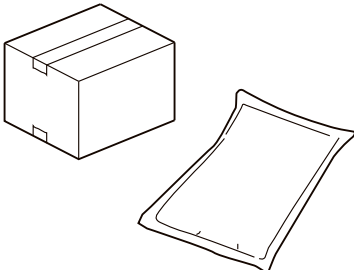
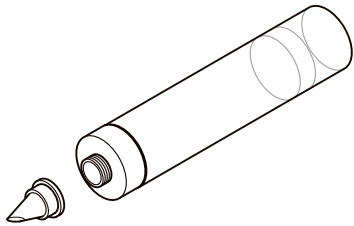
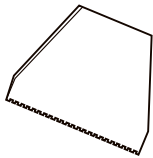
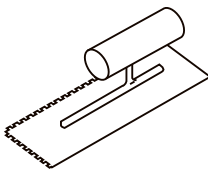
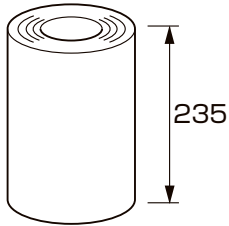
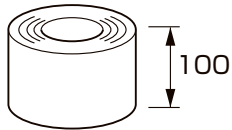
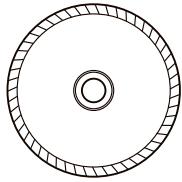
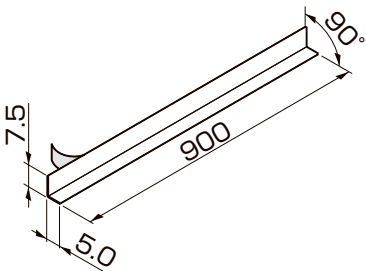
※センティアのみ、出隅用平ユニットではなく90°曲役物になります。

1. (つづき)

モザイクタイル形状一覧 ※寸法は目地共寸法です。

商品名	標準平ユニット	商品名	標準平ユニット
ニュアンス 目地幅 縦：2.5mm 横：2.5mm		シェブレンド 目地幅 縦：2.5mm 横：2.5mm	

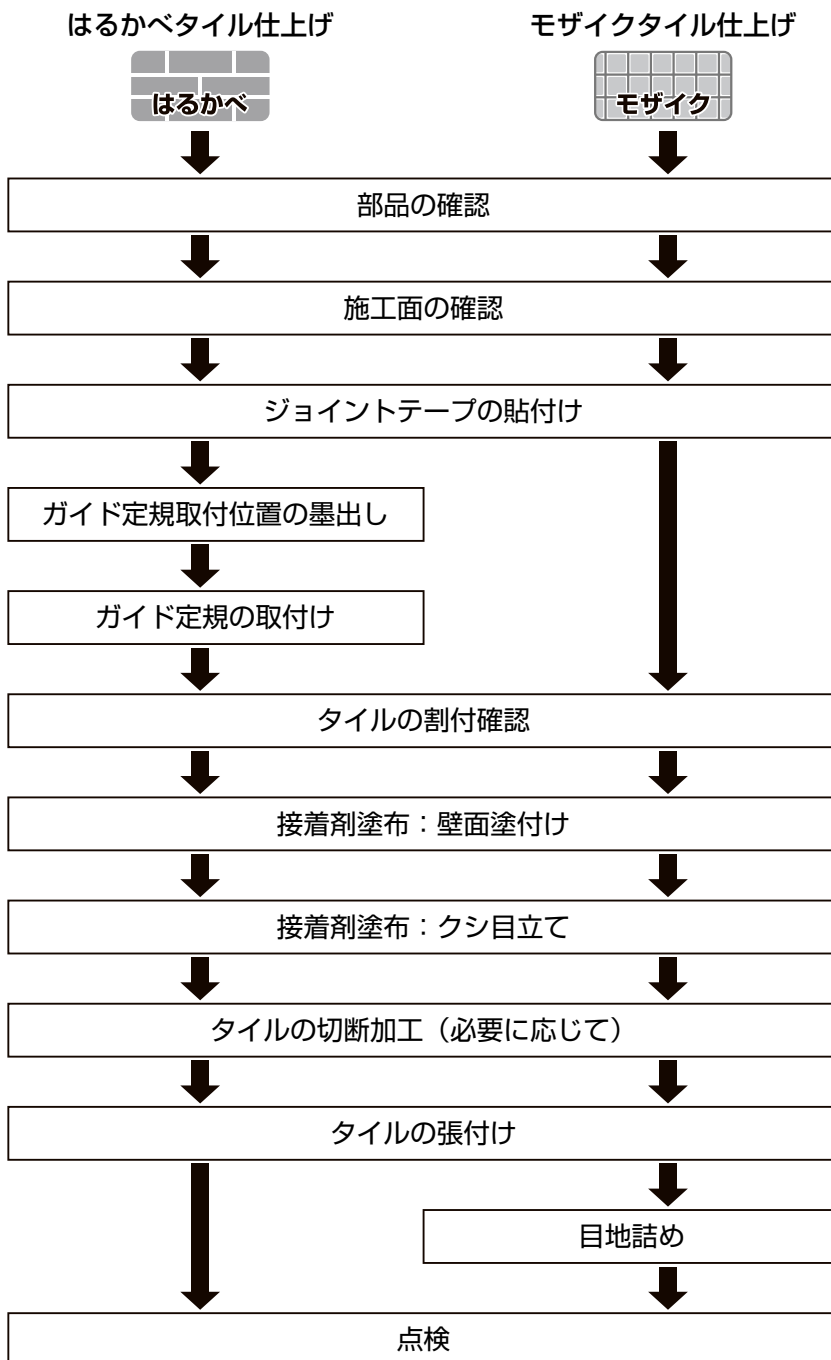
施工部材形状一覧

商品名	外装用弾性接着剤 (VILT)	タイル用目地材 (SS)	接着剤用アダプターノズルセット
材質	変成シリコン系 1kgアルミパック	セメント系 0.5kgPEパック	PE
形状			
商品名	3mmクシ目ヘラ	3mmクシ目コテ	ジョイントテープ (幅235)
材質	PE	ステンレス	ブチルゴム系
形状			
商品名	ジョイントテープ (幅100)	タイル用切断刃 (105F)	ガイド定規
材質	ブチルゴム系	直径：φ105	ガルバニウム鋼板 (ブチルゴム系両面テープ付)
形状			

2. 施工フロー

ポイント

- 仕上げ材には「はるかべタイル仕上げ」と「モザイクタイル仕上げ」があります。仕上げ材の種類により、以下のフローにしたがってください。



ポイント

- 「タイル割付図」を参照してください。

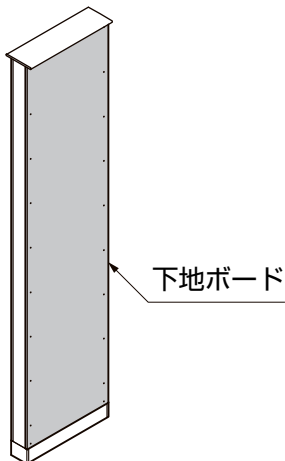
3. 施工面の確認



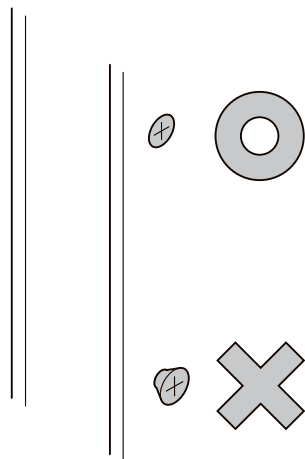
ポイント

●下地ボードが下記の条件になっているか確認してください。
確認できたらを入れてください。

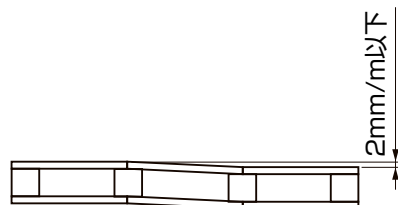
所定の下地ボードが取付いているか？



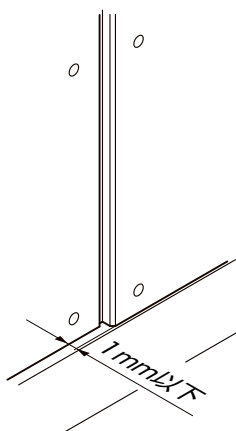
取付ネジ頭が突出していないか？



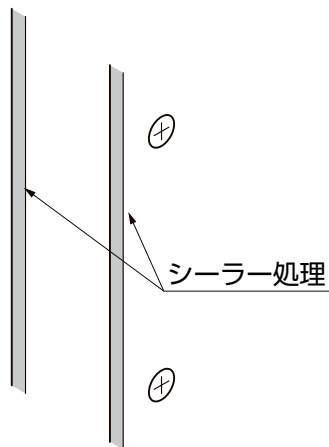
表面の不陸は2mm/m以下か？



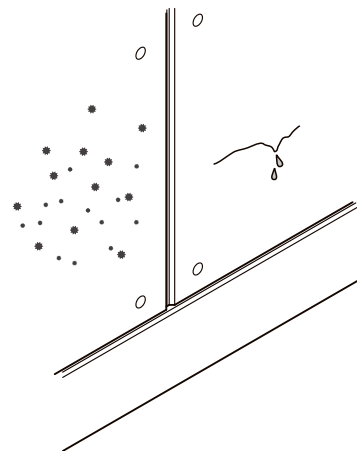
下地ボード間の段差は1mm以下か？



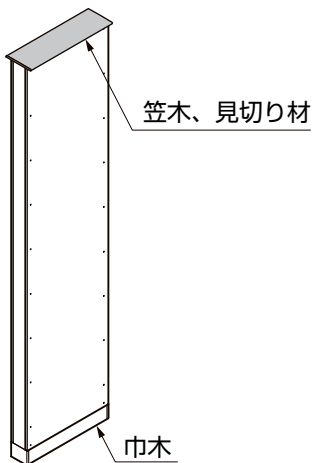
切断小口面はシーラー処理されているか？



表面にゴミやホコリ、水濡れはないか？



取付け部品の施工が完了しているか？
(笠木、巾木、見切り材など)



4. ジョイントテープの貼付け

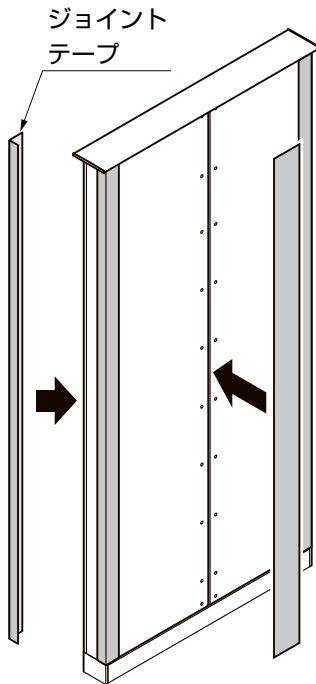
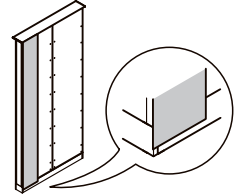
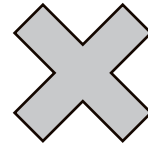
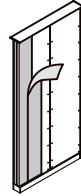
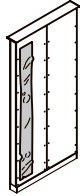


ポイント

●貼付けの際は、シワや空気が入らないようにしてください。

●テープ同士を重ねて貼付けしないでください。

●下地ボードからはみ出さないように貼付けてください。



①ジョイントテープ裏面のリケイ紙をはがした上、貼付けてください。

補足

●あらかじめ高さに合わせてカットしておくとう作業しやすいです。

表4-1 テープ必要数量一覧

		100mm幅		235mm幅	
		必要長さ (m)	235mm (2425mm) カット枚数	必要長さ (m)	235mm (2425mm) カット枚数
H24	W05 (機能付)	4.8 (4.9)	2	—	—
	W05	9.6 (9.8)	4	—	—
	W10	9.6 (9.8)	4	4.8 (4.9)	2
	W20	9.6 (9.8)	4	9.6 (9.8)	4
	W30	9.6 (9.8)	4	14.2 (14.6)	6
H29		必要長さ (m)	2810mm (2880mm) カット枚数	必要長さ (m)	2810mm (2880mm) カット枚数
	W05 (機能付)	5.7 (5.8)	2	—	—
	W05	11.3 (11.6)	4	—	—
	W10	11.3 (11.6)	4	5.7 (5.8)	2
	W20	11.3 (11.6)	4	11.3 (11.6)	4
	W30	11.3 (11.6)	4	16.9 (17.4)	6

※ () 内寸法はGグループ カールーフタイプに取付ける場合です。

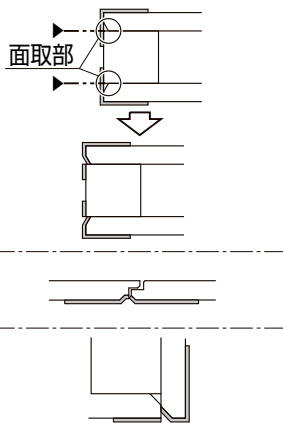
※センチア、モザイクタイルでは235mm幅は使用しません。カット枚数は100mm幅と235mm幅を合計した枚数としてください。

※上記数量は、壁面全面をタイル仕上げする場合の数量です。タイル施工面積により、数量は増減します。

[ジョイントテープ貼付け位置]

—— : テープ幅100mm
 〰〰 : テープ幅235mm

a=30



①カッターナイフでジョイントテープを柱の外面で切ります。
 ②ジョイントテープを面取部に十分押付けてください。



図4-1 W05

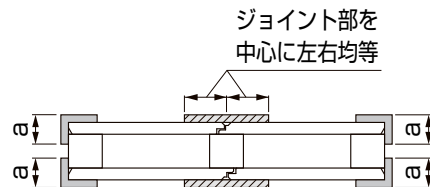


図4-2 W10~W30

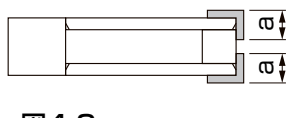


図4-3 W05 150°角機能柱接続

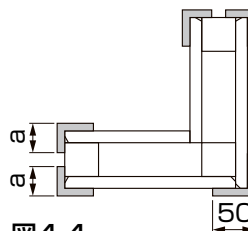


図4-4 L字仕様 W05+W05

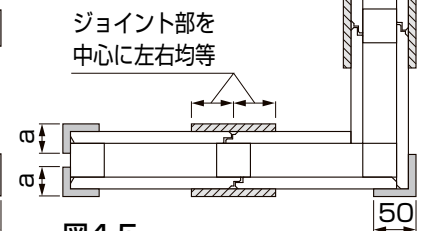


図4-5 L字仕様 W10+W10、W20+W20

5. ガイド定規取付位置の墨出し



ポイント

- W05、L字仕様 W05+W05はガイド定規を取付けません。その場合、タイルユニットの高さ寸法に合わせて墨出ししてください。

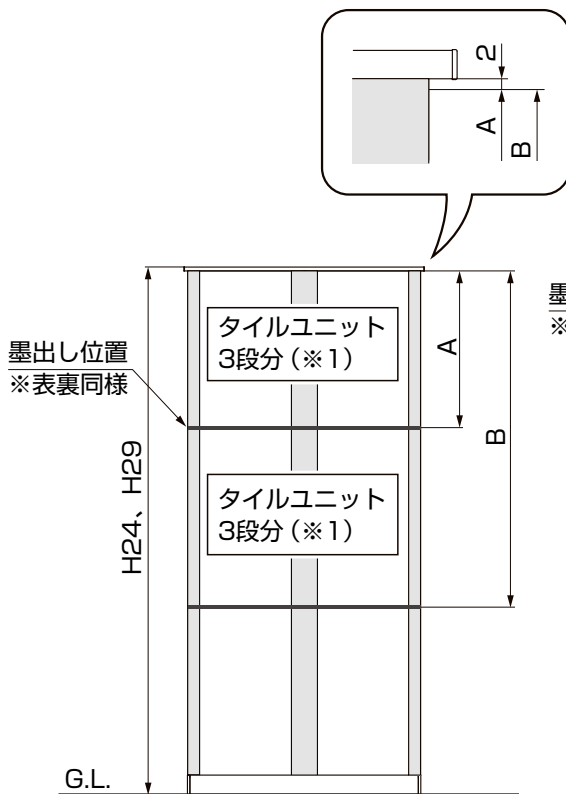


図5-1 W05・W10

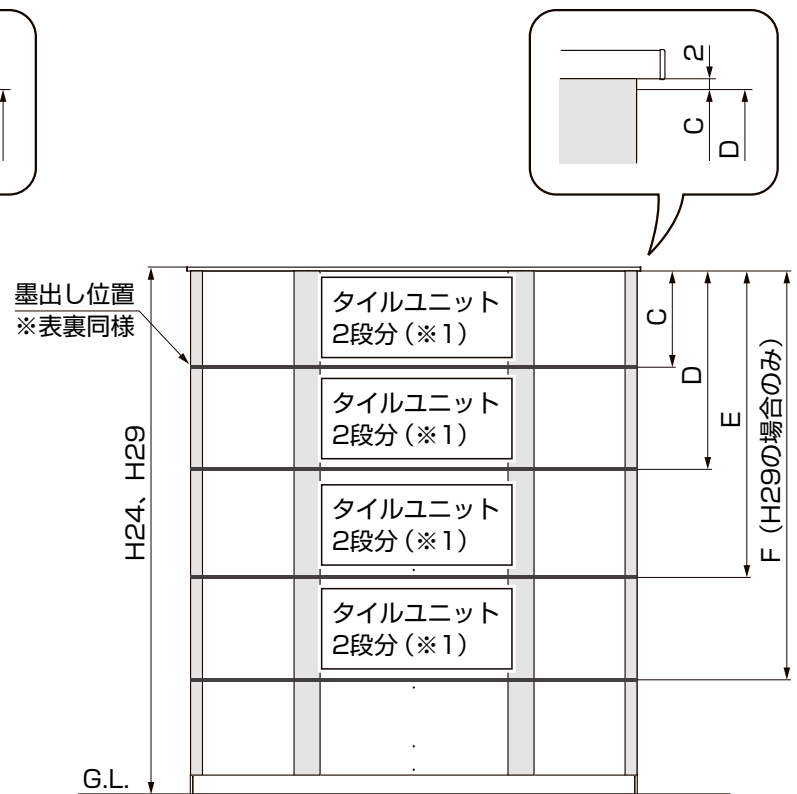


図5-2 W20・W30

表5-1

	ユニット高さ	A	B
寂雅楽Ⅱ	330	982.5	1972.5
細割ボーダー	303	901.5	1810.5
サイモン	300	892.5	1792.5
センティア	300	892.5	1792.5
セラヴィオR	300	892.5	1792.5
エクセンシア	150	892.5	1792.5

表5-2

	ユニット高さ	C	D	E	F
寂雅楽Ⅱ	330	652.5	1312.5	1972.5	2632.5
細割ボーダー	303	598.5	1204.5	1810.5	2416.5
サイモン	300	592.5	1192.5	1792.5	2392.5
センティア	300	592.5	1192.5	1792.5	2392.5
セラヴィオR	300	592.5	1192.5	1792.5	2392.5
エクセンシア	150	592.5	1192.5	1792.5	2392.5

- ①下地ボードに墨出ししてください。

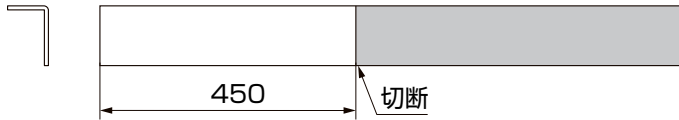
ポイント

- (※1) はエクセンシア以外のタイルユニット段数です。
エクセンシアの場合は、段数を2倍にしてください。(2段分→4段分、3段分→6段分)

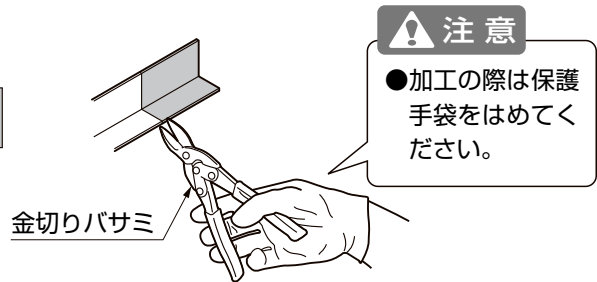
6. ガイド定規の取付け



6-1 ガイド定規の切断 ※W05の場合の作業です。



①ガイド定規を切断してください。



6-2 ガイド定規の取付け

注意

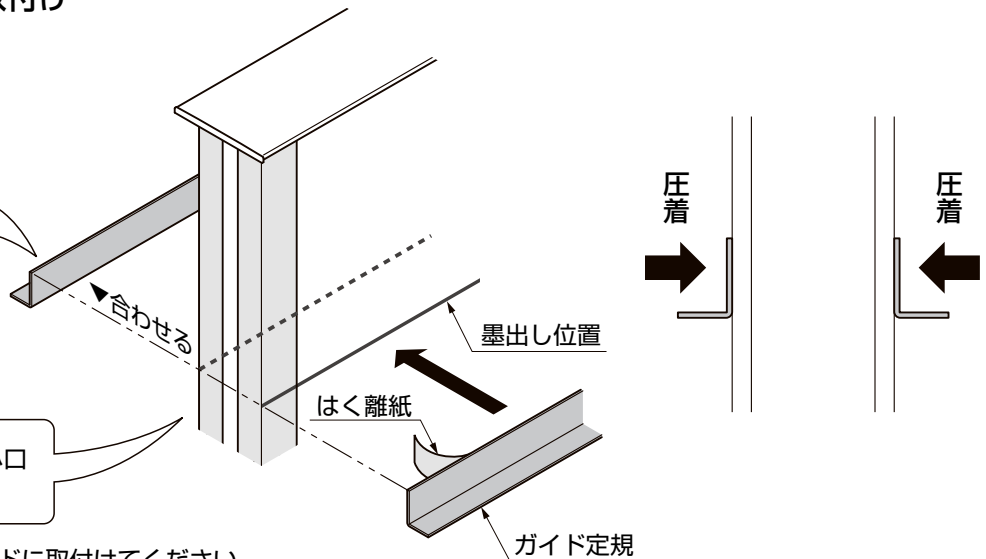
小口面

●小口面には触れないでください。ケガをするおそれがあります。

ポイント

●ガイド定規は袖部小口に取付けしません。

①ガイド定規を下地ボードに取付けてください。



7. タイルの割付確認



はるかべ を施工の場合…図の割付例を参考にタイル割付をしてください。

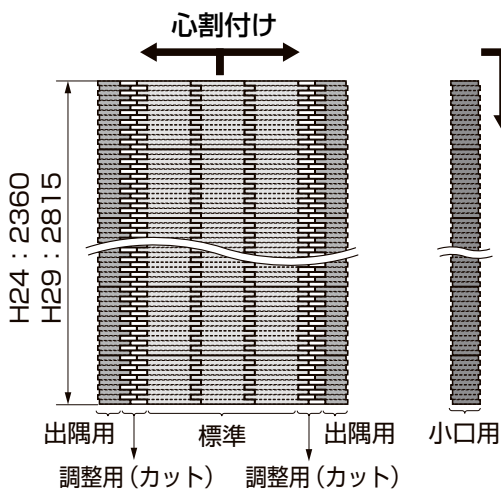


図7-1 機能なしの場合

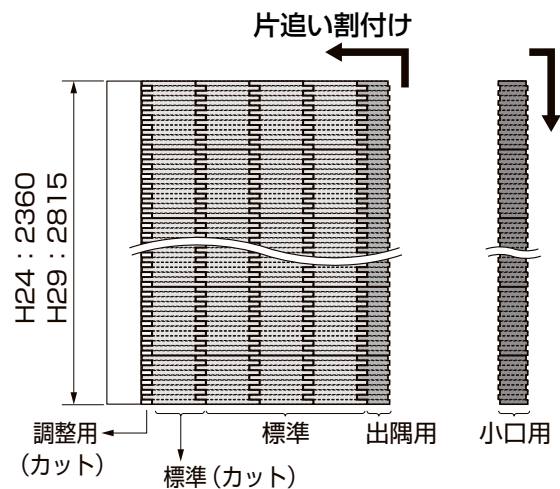


図7-2 機能ありの場合

モザイク を施工の場合…現場ごとにタイルの施工位置を決定し、タイル張り位置を確認してください。

8. タイルの張付け



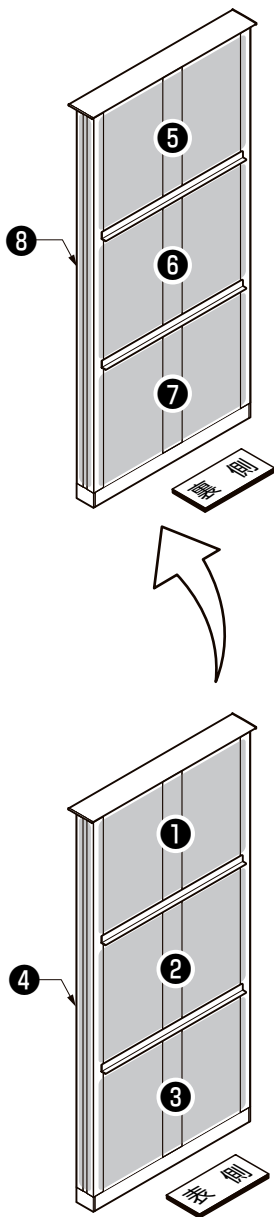
8-1 接着剤、タイル張付け順序の確認

ポイント

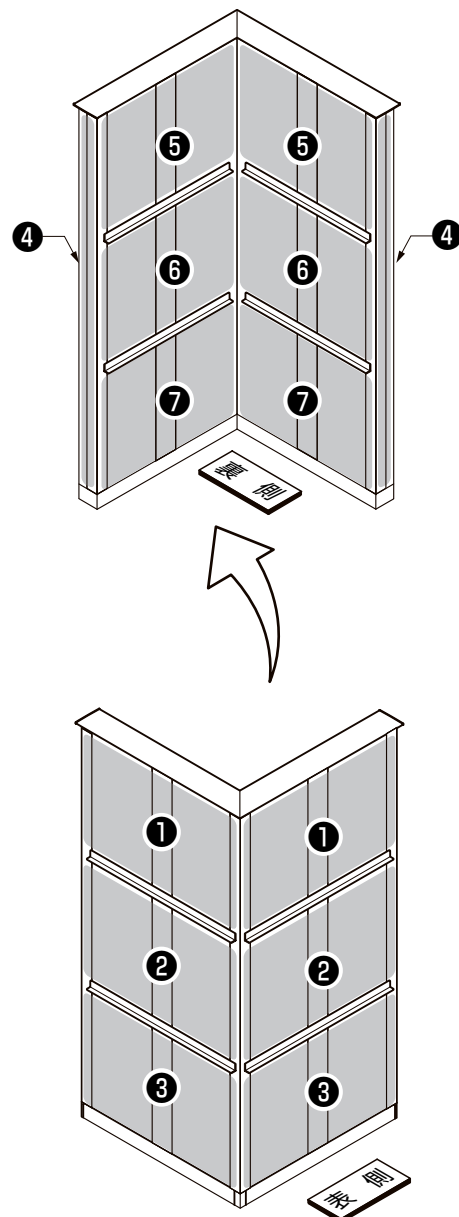
●記載されている順番ごとに「接着剤の塗布」「タイルの張付け」を行なってください。

順番	①	②	⑦	参照ページ
行程	接着剤塗布 タイル張付け	接着剤塗布 タイル張付け	接着剤塗布 タイル張付け	→「8-3 接着剤塗布」参照 (P.60) →「8-5 タイルの張付け」参照 (P.62)

[W05~W30]



[L字仕様]



①接着剤とタイルの張付け順序を確認してください。

8-2 接着剤塗布～タイル張付け・目地直しまでの作業時間

ポイント

- 接着剤を塗布してからタイルの張付け・目地直しまでの作業は下記の時間内に行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。

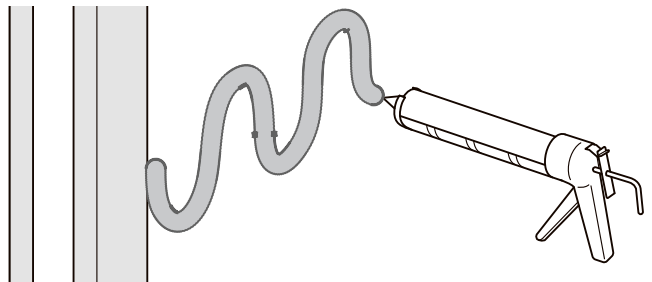


30min



60min

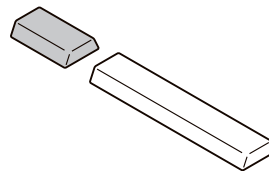
接着剤塗布：壁面塗付け



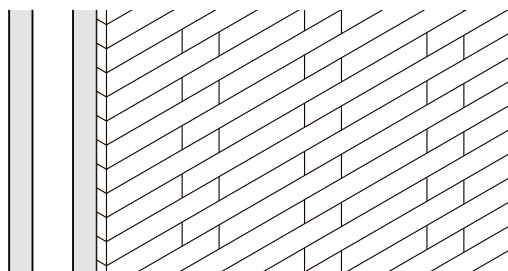
接着剤塗布：クシ目立て



タイルの切断加工（必要に応じて）



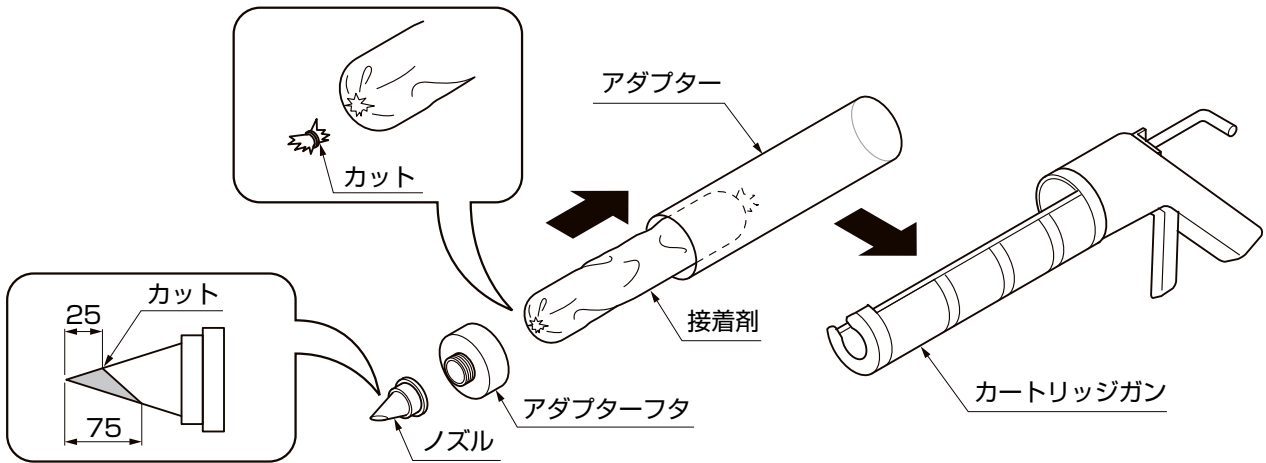
タイルの張付け・目地直し



8. (つづき)

8-3 接着剤塗布

(1) カートリッジガンの準備



- ①ノズルの先端をカットしてください。(上記寸法は目安です。)
- ②接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめてください。
- ③アダプターをカートリッジガンに取付けてください。

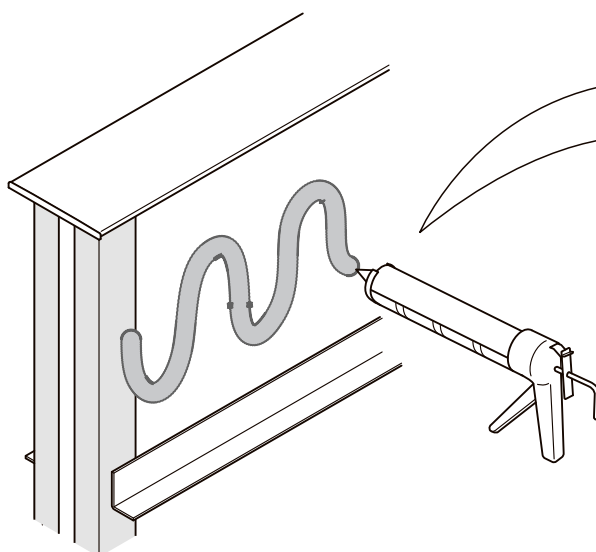
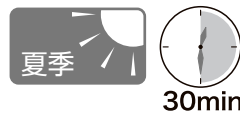
(2) 壁面塗付け

⚠ 注意

- 作業時には、手袋・長袖等を着用して皮膚を保護してください。
- ※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。

🔑 ポイント

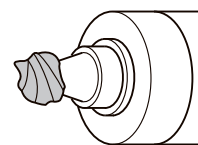
- 接着剤塗布からタイルを張付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行ってください。



🔑 ポイント

- ビード状に塗布してください。
・使用量目安:0.75㎡/本(1.5kg/㎡)
- ノズルの開口面を壁面に密着させながら接着剤を塗布してください。

✎ 補足



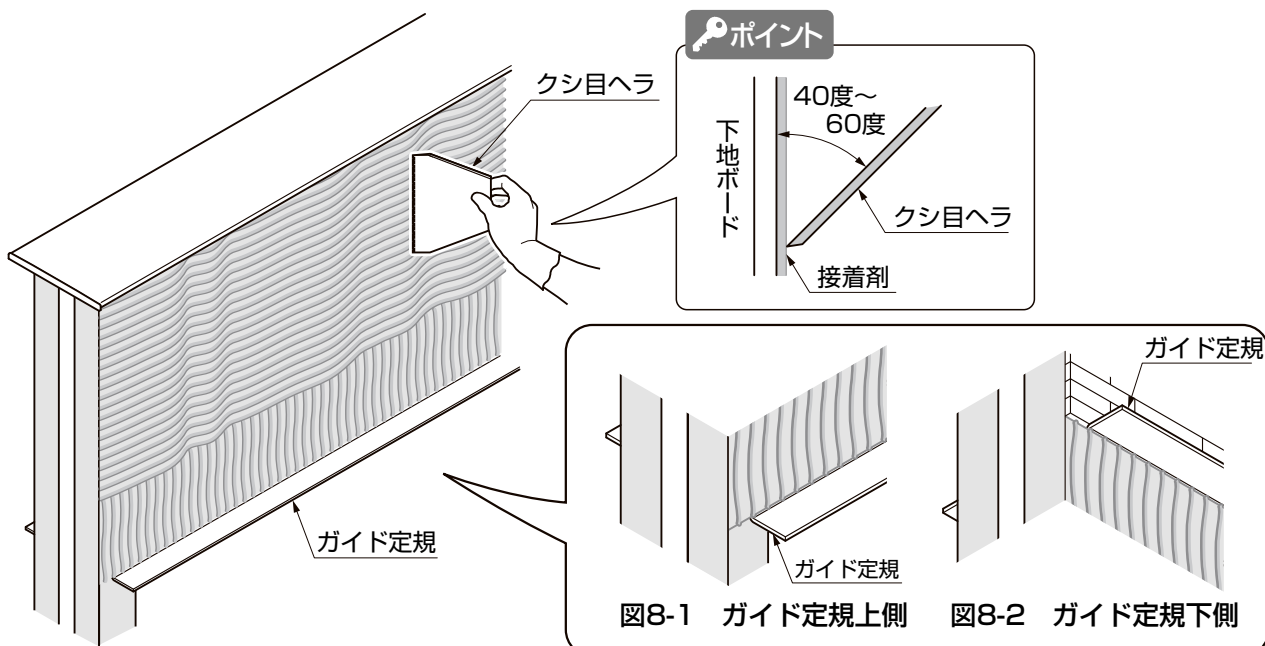
- 作業を中断する場合、ノズル先端の接着剤をふき取り、ビニールテープなどで覆ってください。

- ①接着剤を下地ボードに塗布してください。

(3) クシ目立て

ポイント

- 他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。
- クシ目はかならず3mmのクシ目ヘラを使用してください。
3mm以上のクシ目を立てると、接着剤の量が多くなり接着不良の原因となります。



①クシ目ヘラ（またはクシ目コテ）を使用し、接着剤面をかき取るようにしてクシ目を立ててください。

ポイント

- かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

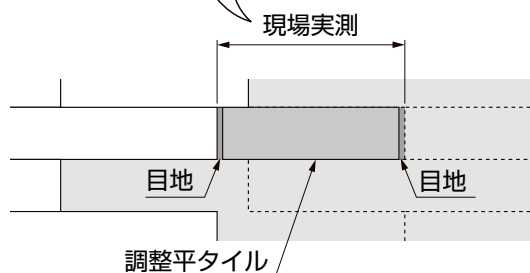
8-4 タイルの切断加工 ※加工が必要な場合の作業です。

ポイント

- 「タイル割付図」に記載の「タイル切断目安寸法」も併せて参照してください。

ポイント

- タイル同士の目地幅、他部材とのすき間（1～2mm）を含め実測してください。

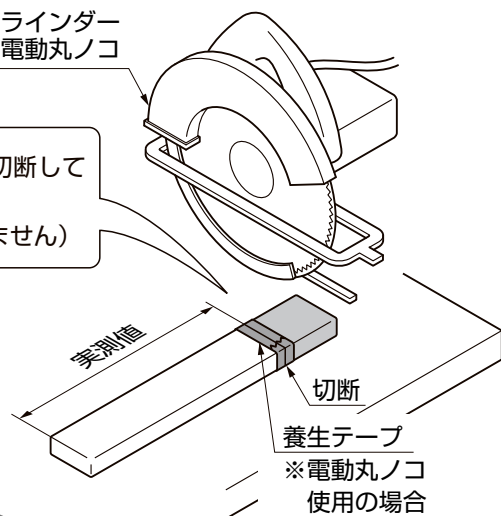


①加工が必要な場合はタイルを切断してください。

電動グラインダー
または電動丸ノコ

ポイント

- 乾式切断で切断してください。
(水湿しはしません)



注意

- タイルの切断面は鋭利になっているので触れないでください。ケガをするおそれがあります。

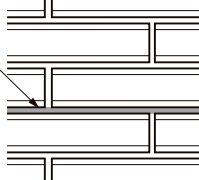
8. (つづき)

8-5 タイルの張付け

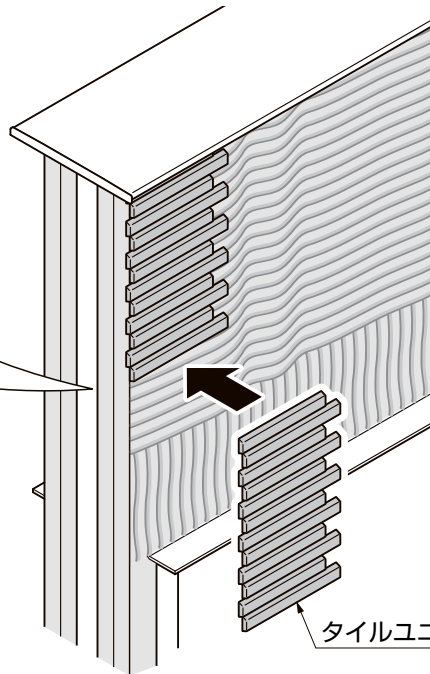
(1) タイルの張付け

ポイント

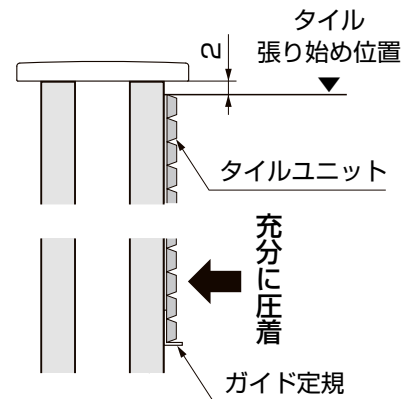
目地



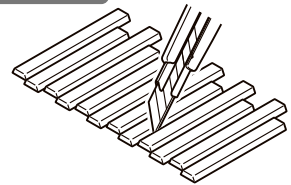
- タイルユニットごとに目地幅を確保して張付けてください。



タイルユニット



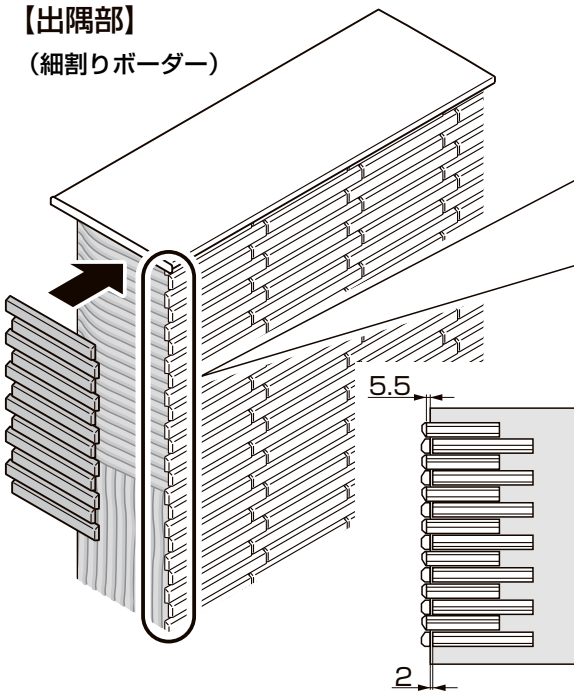
ポイント



- タイル段数の少ないユニットを施工する場合、目地部より裏連結ネットをカットしてください。

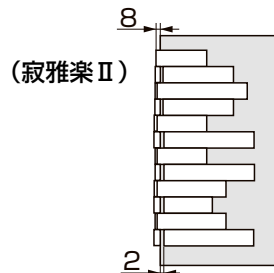
【出隅部】

(細割りポーター)

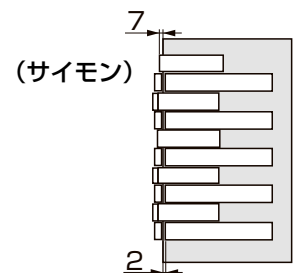


補足

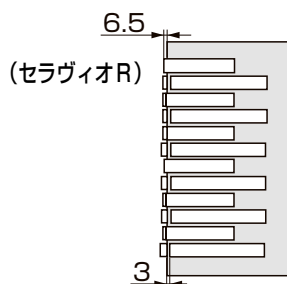
- タイルが突き付けにならないように目地幅を確保して張付けてください。
- センチアは90°曲役物を張付けます。



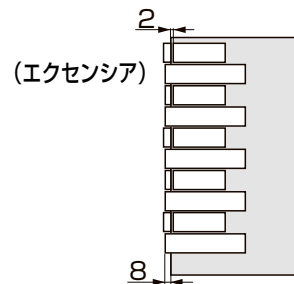
(寂雅楽II)



(サイモン)



(セラヴィオR)



(エクセンシア)

- ①タイルユニットを張付けてください。

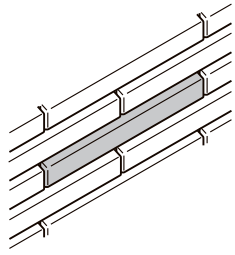
ポイント

- タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は、接着剤の塗りすぎであるため再度クシ目ヘラ (コテ) でかき取ってください。
- 下地ボードの面取部にも接着剤を十分に充填してください。
- やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。
- ガイド定規を使用してP.51記載の推奨品以外のタイルを施工する場合、厚さの小さいタイルではガイド定規付近で不陸が目立つ場合がありますので、施工の際には接着剤の塗り厚や圧着方法に十分注意してください。

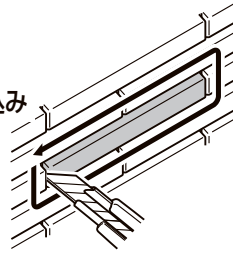
(2) 目地直し

ポイント

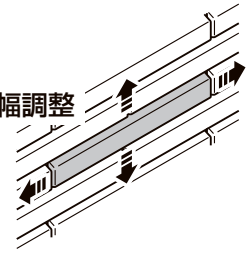
●指定の作業時間内で作業を完了させてください。



切り込み



目地幅調整



- ①タイル周囲の目地に切り込みを入れてください。
- ②タイルの目地幅を調整してください。

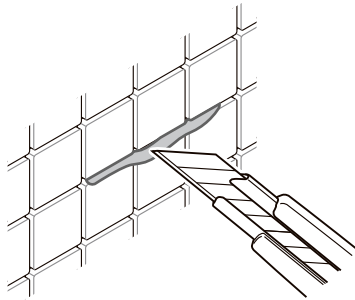
9. 目地詰め



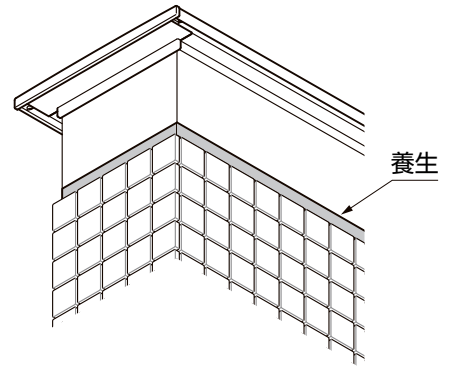
ポイント

●接着剤が硬化したことを確認の上、作業を行なってください。

9-1 接着剤の除去と養生



- ①タイル目地部の接着剤のはみ出しを除去してください。

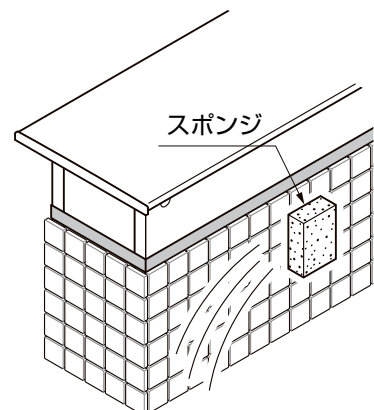


- ②目地詰めする周囲を養生してください。

9-2 目地詰め



- ①ゴムコテにて目地材を詰めてください。



- ②目地詰め後、スポンジで拭き仕上げをしてください。

10. 点検・仕上げ



はるかべ



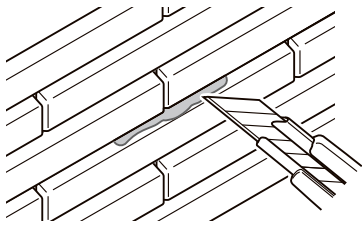
モザイク

ポイント

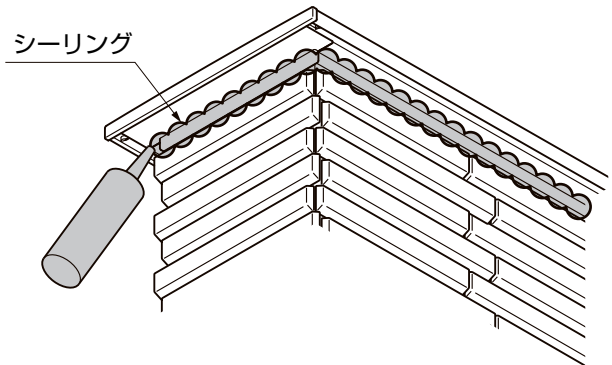
- 接着剤・目地材が硬化後、仕上がりの点検を行なってください。

はるかべ を施工の場合

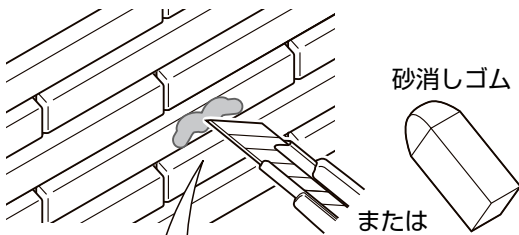
- タイル目地部からの接着剤のはみ出しを除去する



- 必要箇所にシーリングする



- 表面に付着した接着剤を除去する



砂消しゴム

または

取れない場合は…



溶剤

(アセトン・シンナー)

ポイント

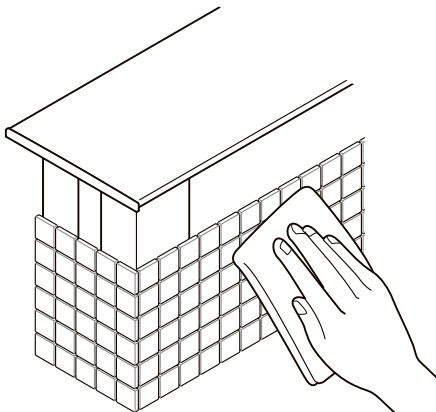
- 表面をキズ付けないようにしてください。

ポイント

- 他部材に使用する際は、事前に変色・変質確認をしてください。
- 溶剤の取扱いには十分に注意してください。

モザイク を施工の場合

- タイル表面の汚れをふき取る



ポイント

- ウェスなどで乾拭きしてください。

9 仕上げの施工:塗り仕上げ

1-1 塗り仕上げの工法および推奨材料

- ※工法は本取説の内容にしたがってください。
- ※推奨材料は「エスケー化研(株)ベルアート」です。

⚠ 注意

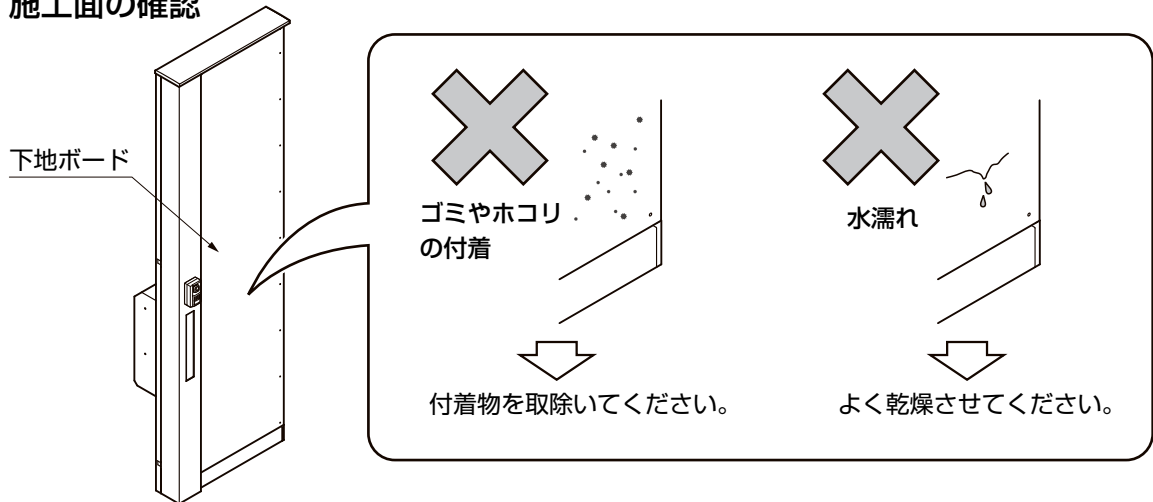
- 推奨材料以外は使用しないでください。コーナー部などにクラックが発生するおそれがあります。

1-2 塗り仕上げの手順

※使用する材料については、すべて現場手配となります。使用材料は下記のとおりです。

- ジョイント部処理：SK弾性コークN (SK弾性プライマー同梱)
SKハードクロス#50
- ベルアート塗り：SK水性弾性シーラー
ベルアート

(1) 施工面の確認



- ①下地ボードの表面を確認してください。

(2) マスキング処理

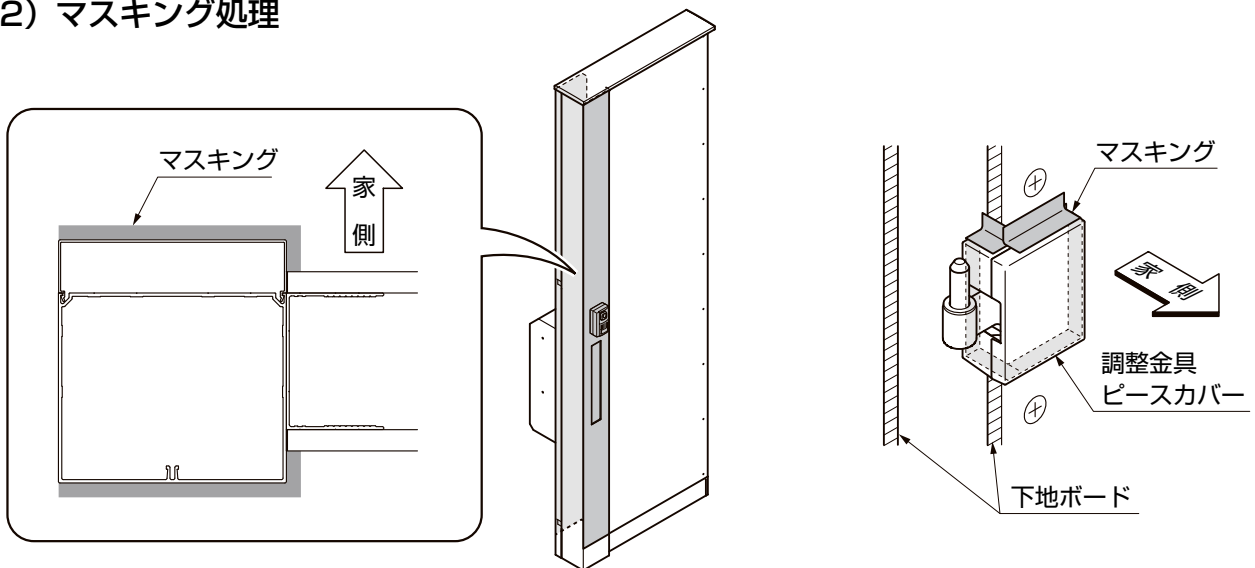


図1-1 150角機能門柱部

図1-2 調整金具ピースカバー部

- ①図を参照し、マス킹処理をしてください。

(3) 塗り仕上げ ※ベルアート塗りの詳細については「エスケー化研(株)」の施工要領書をご覧ください。

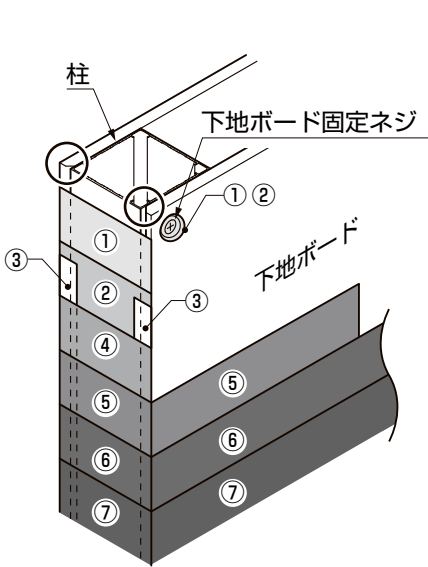
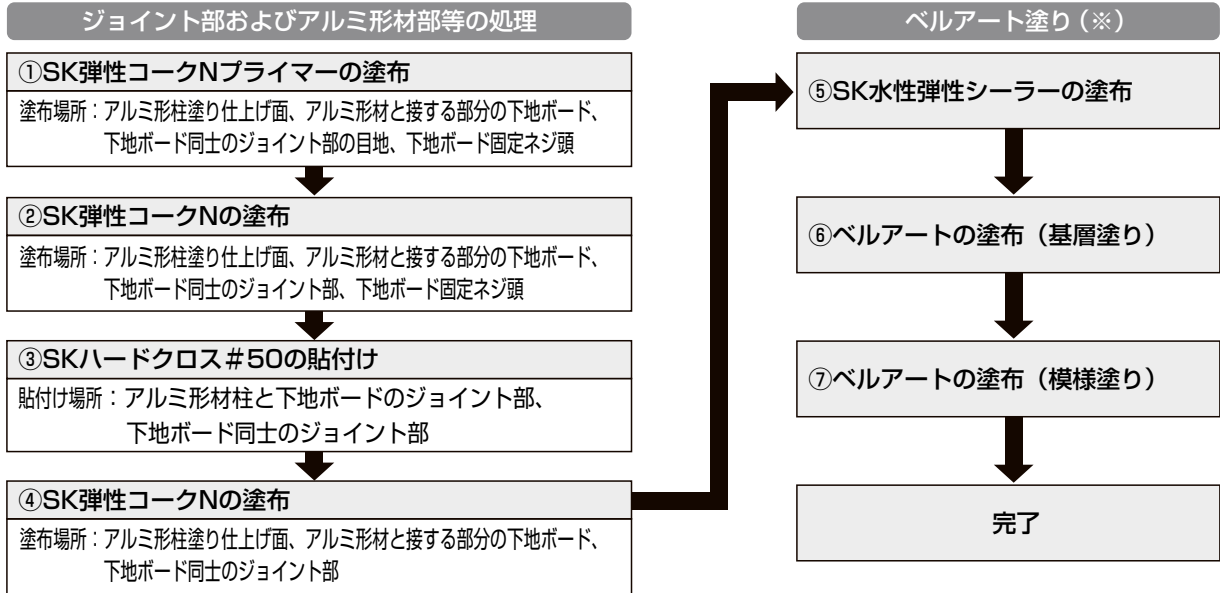


図1-1 アルミ型材柱部

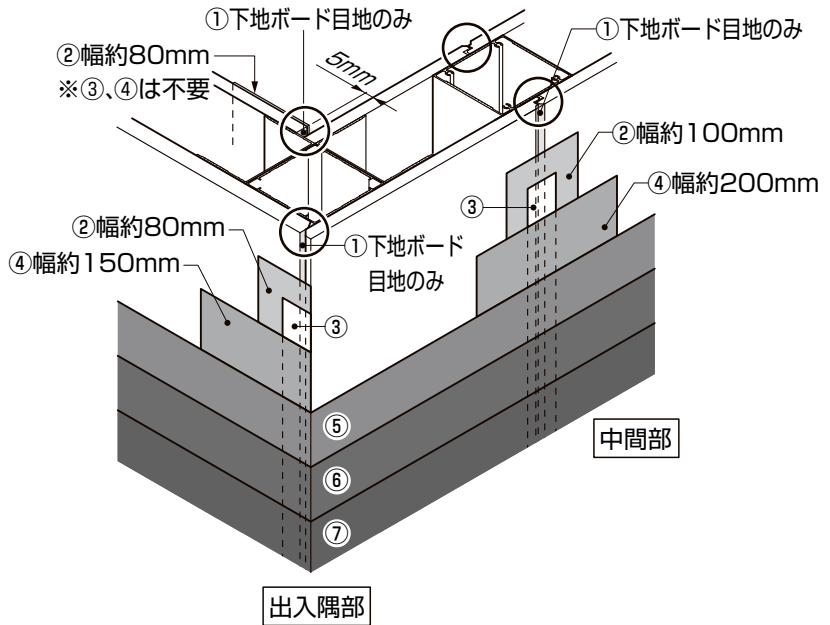


図1-2 下地ボード同士のジョイント部

ポイント

●イラストの○部には「①SK弾性コークNプライマー」と「②SK弾性コークN」を十分に塗布してください。

①塗り材を施工してください。

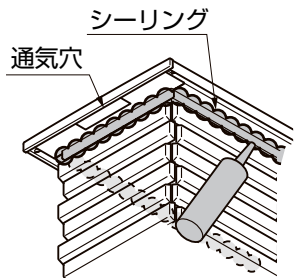
10 門扉の吊込み

※門扉を取付ける場合の作業です。

ポイント

- タイルの施工、塗り仕上げが完了した後に、門扉の吊込みを行なってください。
- 門扉の吊込み手順、調整金具の調整方法は、門扉に付属の取付説明書をご確認ください。

ポイント



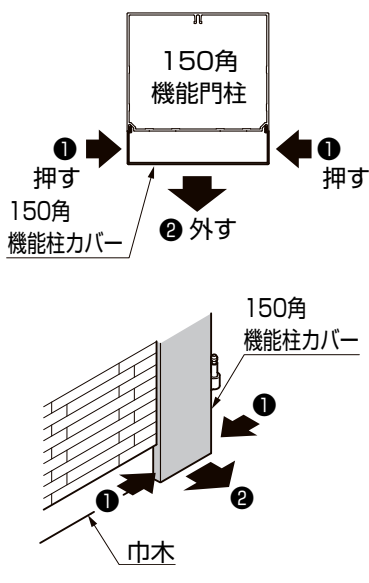
- 笠木端部キャップの通気穴は塞がないでください。

ポイント

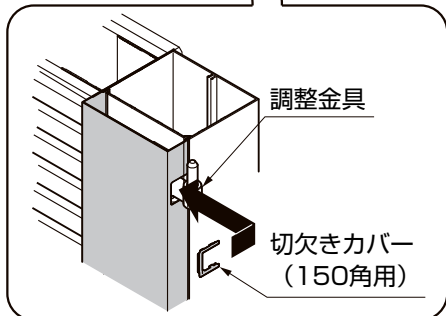
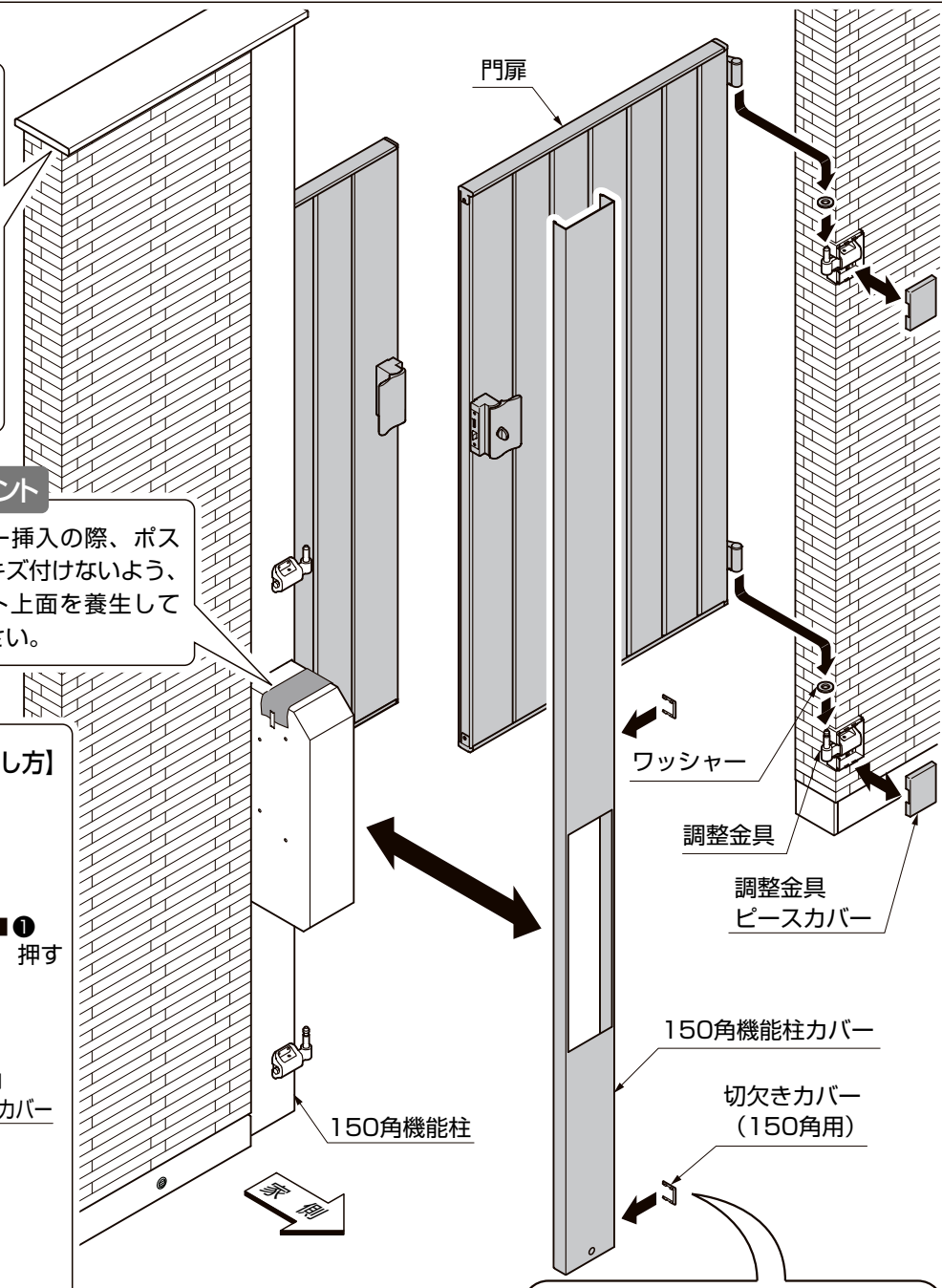
- カバー挿入の際、ポストをキズ付けないよう、ポスト上面を養生してください。

ポイント

【150角機能柱カバー取外し方】



- ① 150角機能柱カバー、調整金具ピースカバーを外してください。
- ② ワッシャーを調整金具に取付け、門扉を吊り込んでください。
- ③ 調整金具を調整してください。
- ④ ①で外したカバーを取付けてください。
- ⑤ 切欠きカバー（150角用）を150角機能門柱に取付けてください。
- ⑥ 笠木ベースの指定の箇所をシーリングしてください。

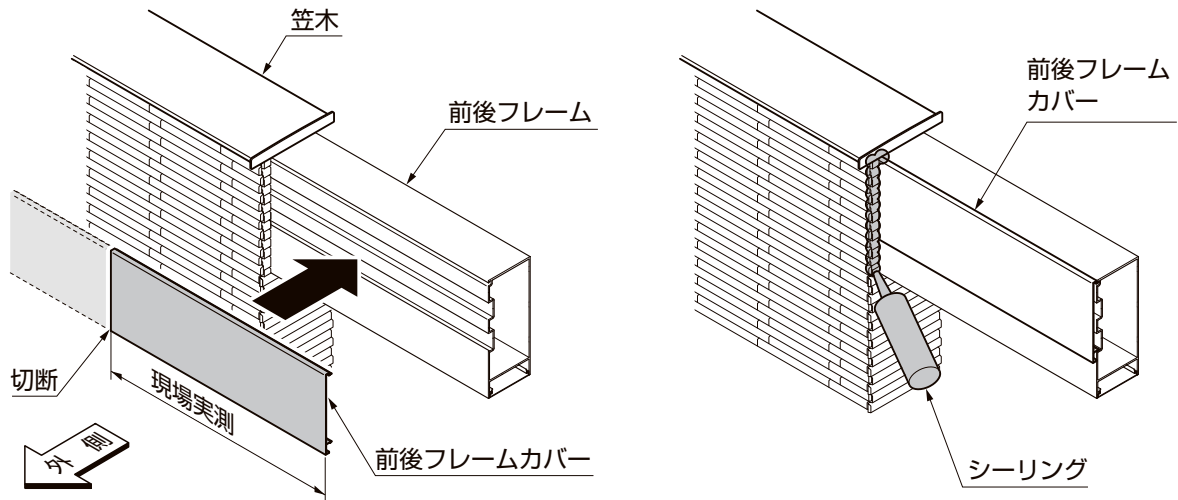


11 カバーの取付け

※Gルーフ カーラータイプの場合の作業です。

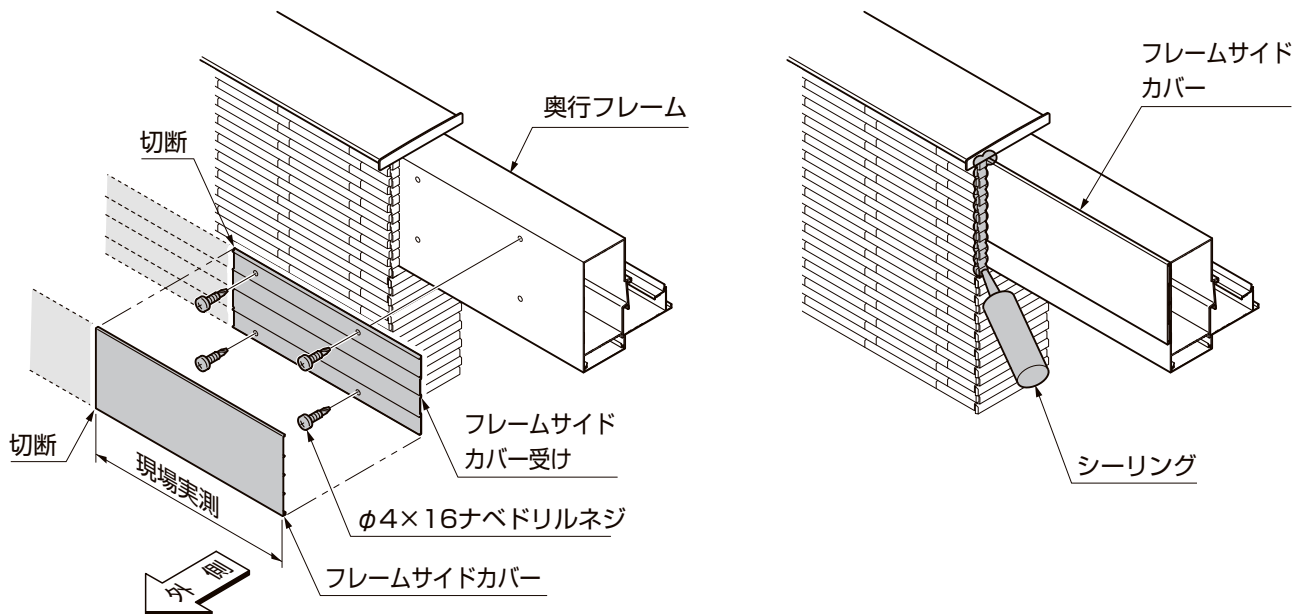
※詳しい取付け方法は「Gルーフ カーラータイプ 取付説明書 (E399)」を参照してください。

1-1 前後フレームカバーの取付け



- ①前後フレームカバーを現場に合わせて切断してください。
- ②前後フレームカバーを前後フレームに取付けてください。
- ③前後フレームカバーにシーリングをしてください。

1-2 フレームサイドカバーの取付け



- ①フレームサイドカバーとフレームサイドカバー受けを現場に合わせて切断してください。
- ②フレームサイドカバー受けを奥行フレームに「φ4×16ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ③フレームサイドカバーをフレームサイドカバー受けにはめ込んでください。
- ④フレームサイドカバーにシーリングをしてください。

取説コード

C445

JZZ626842A
201405A_1039
201607B_1047